より かわいく描ける!

女の子キャラデッサン

ユニバーサル・パブリシング 編著

基本の構造と
しぐさを押さえ、
女の子をもっと
かわいく魅せるコツ、
完全マスター!!

COSMIC MOOK

より かわいく描ける！

女の子キャラデッサン

ユニバーサル・パブリシング 編著

基本の構造としぐさを押さえ、女の子をもっとかわいく魅せるコツ、完全マスター!!

COSMIC MOOK

よりかわいく描ける！女の子キャラデッサン

ユニバーサル・パブリシング 編著

はじめに *Introduction*

絵を描く際は、**無意識に描きたいモチーフの理想を想像して描く**ものです。ただ、それは感覚によるところが大きく、イメージした理想を目指して描いてみても上手く表現できないことがほとんどです。

では、**きちんと計画的に計算・構成し、演出する術（すべ）**を身につけられたら、ある程度の完成度は保証されるのではないでしょうか？　そんな考えから企画したのが本書です。

「**かわいい**」を言語化するのはとても難しく、それこそ「**感覚**」**で描いてしまいがち**なものです。

女の子の「かわいい」を抽出し、さながら方程式に当てはめていくように、頭の中で明確な演出を加えていく――。

そういったことができるようになれば、「**感覚**」**というあやふやなものに頼らずに**、「**よりかわいい女の子**」**を描けるようになる**でしょう。

本書では「**どうすれば女の子をよりかわいく表現できるのか**」を考察し、**女の子をよりかわいく描くための要素を抽出**しました。本書で解説する**基本の構造・しぐさ**を押さえ、**かわいさをより引き出すための演出**を加えれば、女の子をよりかわいく描くことができるようになります。

本書が、少しでも「女の子をよりかわいく描く」ことの一助となれば幸いです。

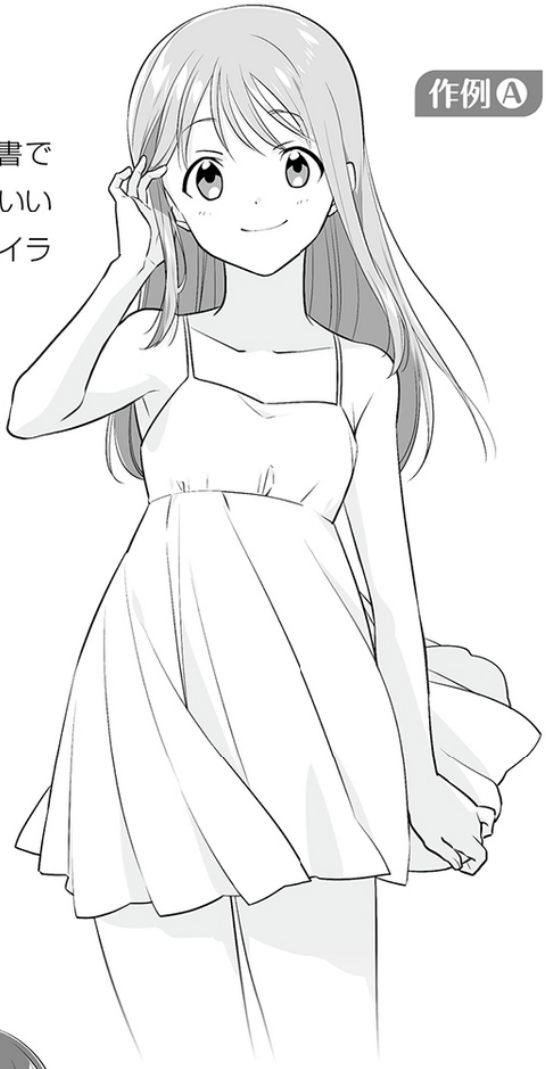
ユニバーサル・パブリシング

女の子を「かわいく」描くには？

「かわいい女の子」って？

「かわいい」は、人によって定義がさまざまです。しかし、絵として多くの人に評価される「かわいい女の子」には、ある程度法則があります。そこで本書はその法則にもとづき、「かわいい女の子」を「年齢 15～19 歳、女性らしい透明感があふれる、青春まっさかりの美少女」と定義し、その範疇にいる女性をどうすれば、より「かわいい女の子」として描けるかを検証していきます。

作例Ⓐ



作例Ⓐが、本書で定義した「かわいい女の子」の作例イラストです。

作例Ⓑ

作例Ⓑは綺麗な大人の女性の作例イラスト。美少女というより美女であり、本書で定義した「かわいい女の子」とは違っています。

作例Ⓒ

作例Ⓒは幼い少女の作例イラストです。本書の「かわいい女の子」の定義には当てはまらない女の子です。

どうしたら「よりかわいい」女の子が描ける？

女の子を「よりかわいく」描くために大切な要素は、大きく分けて２つです。その２つの要素を押さえないと、せっかく女の子を描いても「かわいさ」が表現できず、魅力的な絵にはなりません。下のイラストは、歩く女の子を「よりかわいく」描いた作例です。

２つの要素を押さえれば、
女の子キャラを……

「よりかわいく」
描ける !!

《「よりかわいく」描くための要素》

❶ 美少女として誰もが納得する、**理想的な人体構造**を正確に描く（以降、「構造」と表記）。

❷ 美少女が自らを演出する、または自然に出る**女の子らしいしぐさ**（以降、「しぐさ」と表記）の瞬間を描く。

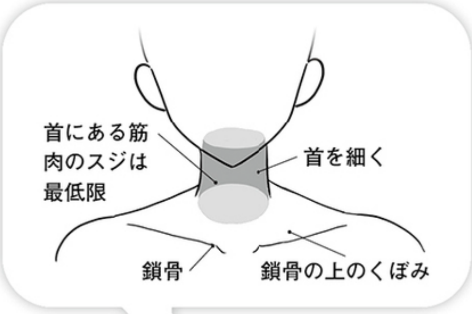
この２つの要素を押さえて、「よりかわいい」女の子を描くためのポイントを学んでいきましょう。

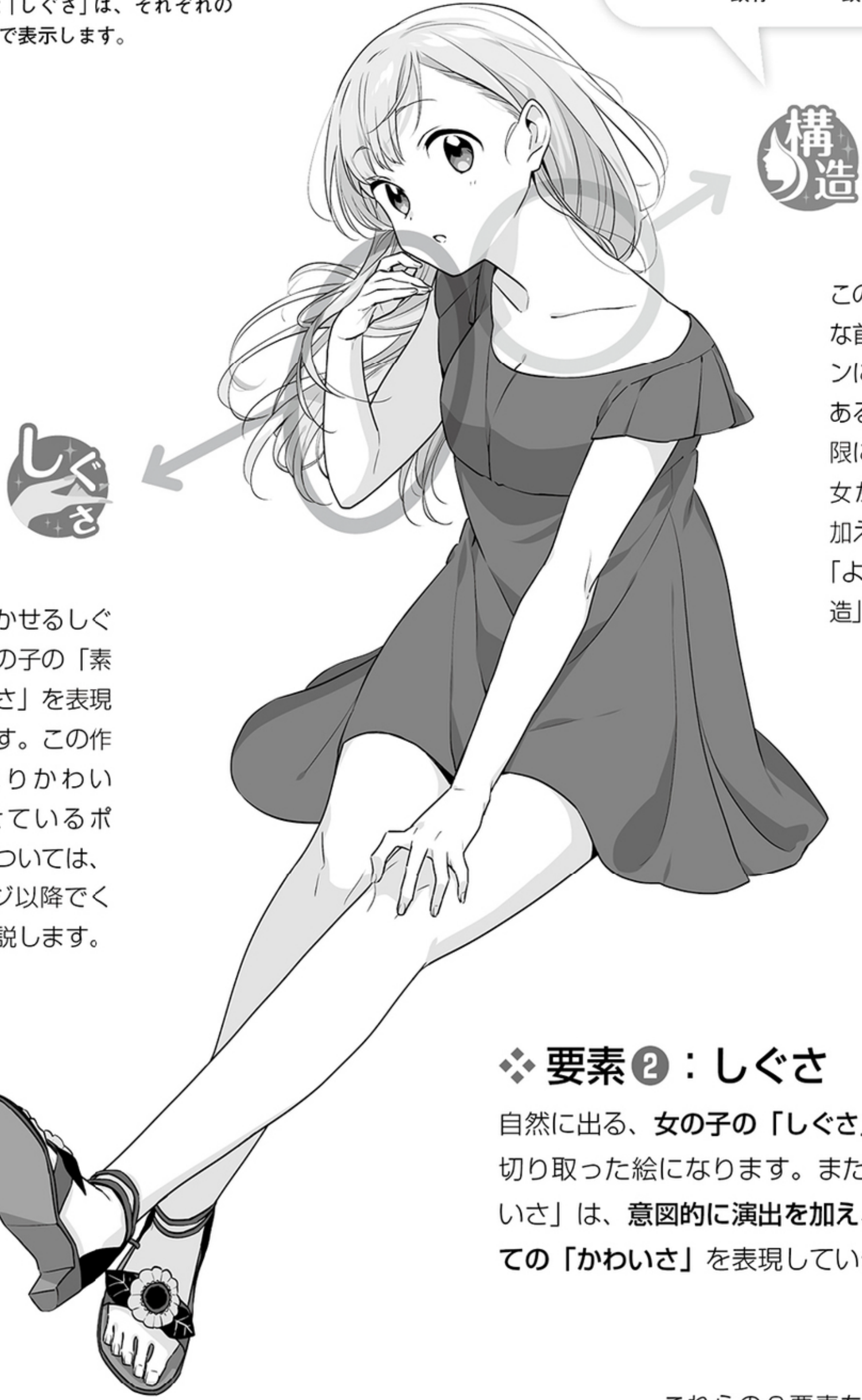
２つの要素を次ページでくわしく！

❖ 要素❶：構造

美少女の理想的な人体構造は、**個人差によるバリエーションをなくした基本的な人体構造**に、**美少女がもつ特色**をつけ加えたものです。

＊「構造」と「しぐさ」は、それぞれのアイコンで表示します。





この作例では、基本的な首・鎖骨・肩のラインに、「細い首」「首にある筋肉のスジは最低限にする」などの美少女がもつ特色をつけ加え、リアルだけど、「よりかわいい人体構造」にしています。

髪をなびかせるしぐさで、女の子の「素のかわいさ」を表現しています。この作例を「よりかわいく」見せているポイントについては、18ページ以降でくわしく解説します。

❖ 要素❷：しぐさ

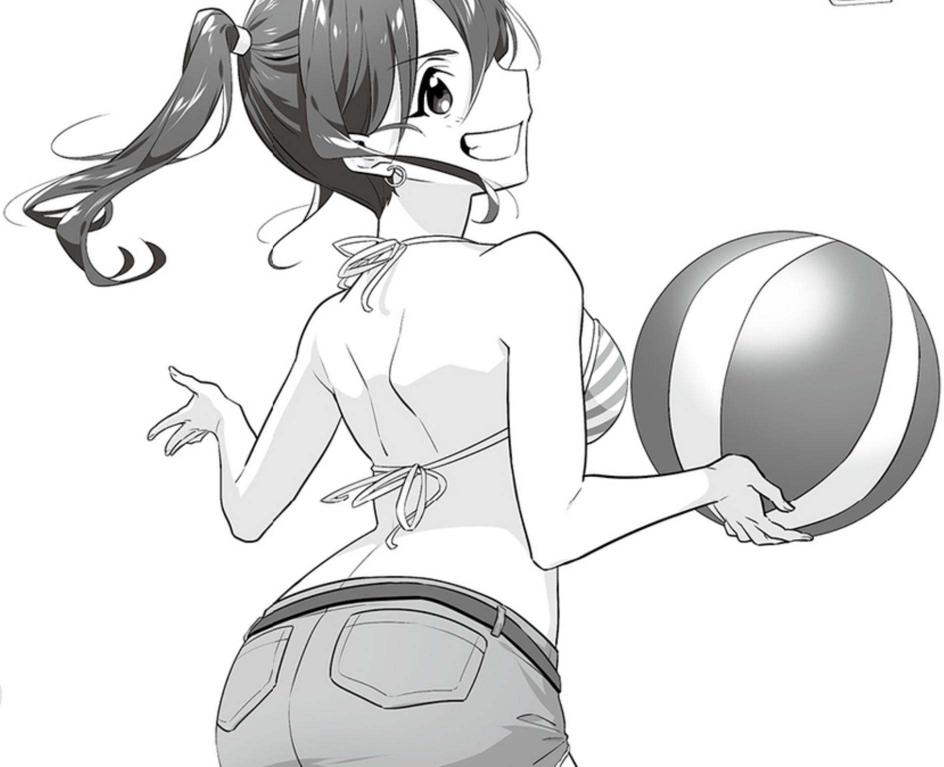
自然に出る、**女の子の「しぐさ」**は、その一瞬を切り取った絵になります。また、「作られたかわいさ」は、**意図的に演出を加え、工夫して絵としての「かわいさ」**を表現していきます。

これらの２要素を検証し、本書では「よりかわいく」女の子を描くためのポイントを解説していきます。

❖ Chapter 1では……

Chapter 1では、女の子を「よりかわいく」描くための「構造」を中心に解説していきます。

＊「構造」と「しぐさ」は完全には切り離せないため、Chapter1では「構造を中心」、Chapter2では「しぐさを中心」としています。



❖ Chapter 2では……

Chapter2では、女の子を「よりかわいく」魅せる「しぐさ」や「表情」を中心に、ポイントを押さえます。

Chapter 3では……

Chapter3では、女の子のかわいさをより引き出す「アイテム・コスチューム」を扱ったテクニックを解説します。

❖ Chapter 4では……

「静」の中の構造としぐさを見てきましたが、Chapter4では「動」の中にある女の子のかわいさを見つけていきます。

ここでは、「複数人のかわいさ満載アクション」として、女の子どうしのかわいい動作・ポーズも紹介します。

よりかわいく描ける！
女の子キャラデッサン　目次

カラー作例　岡谷 …… 1
カラー作例　りんく …… 2
カラー作例　杉谷エコ …… 3
カラー作例　すずがえる＊ …… 4

はじめに　6

イントロダクション

00　女の子を「かわいく」描くには？ …… 7

「かわいい女の子」って？ …… 7
どうしたら「よりかわいい」女の子が描ける？ …… 8

Chapter 1　女の子のかわいさを引き出す　顔・からだ　17

01　「よりかわいい人体構造」(顔・首・肩まわり) …… 18

第一印象は「顔」で決まる！ …… 20
「よりかわいい」女の子の髪には風が吹く …… 26
デコルテラインを綺麗に見せる …… 31
さまざまな角度から見る「よりかわいい女の子」全身のポイント …… 33

02　「よりかわいい人体構造」(体幹・脚まわり) …… 36

傾く体の魅力 …… 38

脚・足――丸み・柔らかさと骨ばった部分とのメリハリ 38
女の子の特徴である胸（乳房） 45
すべすべで柔らかなお腹（胸から腰までの流れ） 49
骨盤の存在を意識する（お腹から腰、脚までの流れ） 51

03 **体の流れをとらえて描く** 52

背中はＳ字ラインで魅せる！（首から背中、腰までの流れ） 54
かわいいお尻には「弾力と丸み」が最重要！ 57
肩はなだらか＆すくめ気味に（肩・ワキについて） 60
腕は微妙な曲線でなめらかに 62
手――しなやかさと柔らかさの相乗効果がカギになる 65

Chapter **2** 女の子のかわいさを引き出す **表情・しぐさ** 73

04 **より魅力的な表情・しぐさ** 74

表情で魅せる❶ 表情の基本「喜怒哀＋驚」をかわいく！ 76
表情で魅せる❷ 感情表現のバリエーションを増やすコツ 80
よりかわいいしぐさ❶ 髪にまつわるしぐさ 83
よりかわいいしぐさ❷ 手が中心のしぐさ 85
よりかわいいしぐさ❸ 季節にまつわるしぐさ 90

05 **しぐさ・動作をよりかわいく** 92

しぐさ・動作をよりかわいく❶ 座る 94
しぐさ・動作をよりかわいく❷ 寝る 99
しぐさ・動作をよりかわいく❸ しゃがむ 103
しぐさ・動作をよりかわいく❹ 振り向く 104
しぐさ・動作をよりかわいく❺ 寄りかかる 106

Chapter 3 女の子のかわいさを引き出す **アイテム・コスチューム** 107

06 **アイテム・コスチュームによる演出** 108

アクセサリー（装身具）で女の子を引き立てよう 110
王道のかわいいコスチューム❶ 制服 113
王道のかわいいコスチューム❷ 季節の衣装 117
王道のかわいいコスチューム❸ メイド・ウエイトレス 119
王道のかわいいコスチューム❹ ゆったりした衣装 120
王道のかわいいコスチューム❺ 動物の耳・しっぽ 121
コスチュームの「動き」で素のかわいさを引き出す 123
ベーシックなコスチュームの魅力 124
かわいさを意図的に演出するアイテム 132

Chapter 4 女の子のかわいさを引き出す **アクション** 137

07 **動いているポーズ** 138

基本アクションにかわいさをプラスしよう！ 140
基本アクション❶ 歩く 142
基本アクション❷ 走る 144
基本アクション❸ 転ぶ・ジャンプする 146
基本アクション❹ まわる（ターンする） 148

08 **浮遊する／複数人のポーズ** 150

「絵になる」応用アクション❶ 落下する 152
「絵になる」応用アクション❷ 後方宙返り的ポーズ 156
複数人のかわいさ満載アクション（絡みポーズ） 158

イラストレーター紹介 162

Chapter

1

女の子の
かわいさを引き出す

顔・からだ

基本の人体構造に、美少女特有の魅力をつけ加えた、理想的な「構造」を中心に解説します。本章で、女の子をよりかわいく描く際の基本を押さえましょう。

01

作例❶ 杉谷エコ

「よりかわいい人体構造」（顔・首・肩まわり）

まずは、女の子を「よりかわいく」描くために必須な「構造」を中心に解説していきます。「構造」の基礎を押さえたうえで、そこに美少女の特色を加え、魅力的な女の子を描くための一歩を踏み出しましょう。

作例❶ は、夏っぽいワンピース姿の女の子が、座って片脚を伸ばしているイラストです。各部分の詳細な「よりかわいく」描くポイントやコツについては、ふきだし内に記載されているページで解説しています。

❖ 作例❶メイキング——アタリから描く

01. ポーズのアタリをとる

描きたい女の子のキャラクターやポーズを考えたら、簡単なアタリをとります。

02. 衣装と髪型を具体的に描く

イメージしていたキャラクターに合う衣装と髪型を、アタリよりも具体的に描き、徐々に形にしていきます（下描き①）。

03. 人体構造の確認・描き込み＋着彩のアタリ

人体構造を確認しつつ、手の指先や後ろ髪など、少しでも女の子のかわいさをアップさせるように細部を描き込みます（下描き②）。

後ろ髪の流れをふわっとなびかせ、下描き①よりかわいく見せます。

04. ペン入れ→着彩・仕上げ

下描き②を整えながら線を修正（上図）し、着彩・仕上げをすれば完成（前ページ参照）です。

Cute Point

今回は下描き②→ペン入れで大幅な変更・修正はしていませんが、夏っぽい雰囲気に合わせてサンダルのデザインを変えました。

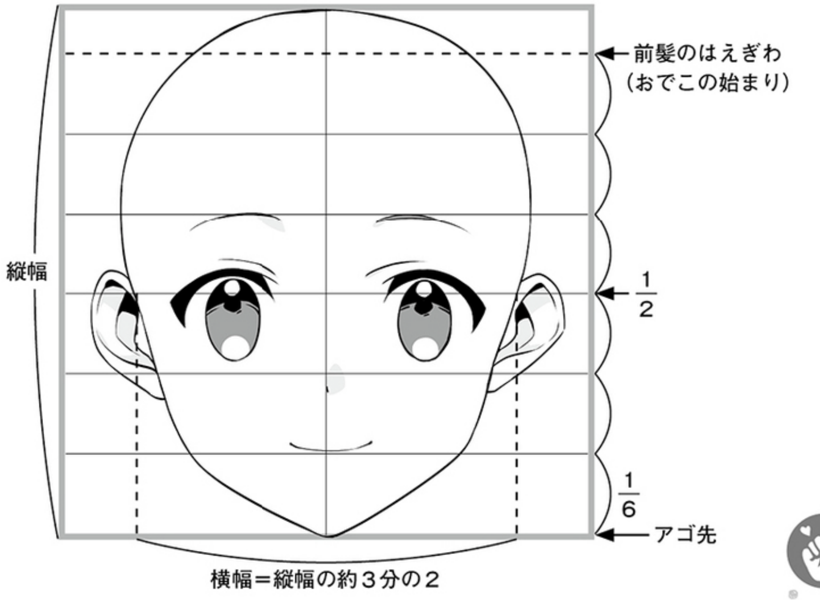
第一印象は「顔」で決まる！

現実でも人物の第一印象が顔で決まるように、絵としてキャラクターを描くときでも顔による印象がかなりの比重をしめます。顔の輪郭線が１ミリずれるだけで、人相は大きく変わります。よりかわいい女の子を描くためにも、まずは頭部中心に基礎をマスターしていきましょう。

❖「よりかわいい顔」ってどんな顔？

《よりかわいい顔の比率》

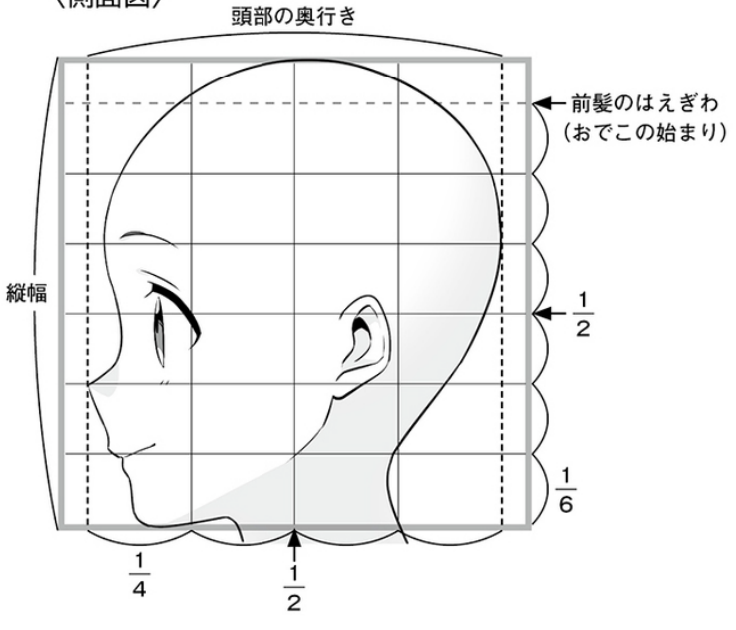
〈正面図〉



前髪のはえぎわからアゴ先までの距離を、６等分します。

- **鼻**：下から約３分の１
- **口**：下から約６分の１
- **目**：目頭は約２分の１、下まぶたは鼻より上
- **眉**：上から約３分の１
- **耳**：上部は眉と目頭の間、耳たぶは鼻とほぼ同じ位置

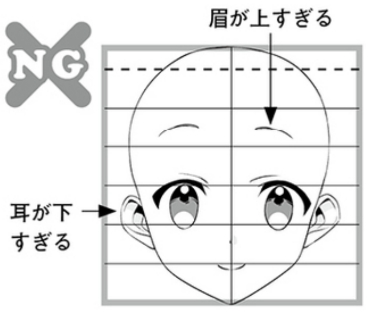
〈側面図〉



頭部の奥行き（鼻の頭から後頭部までの距離）を４等分したとき、耳は２分の１の位置よりも後ろに描きます。

チェック！

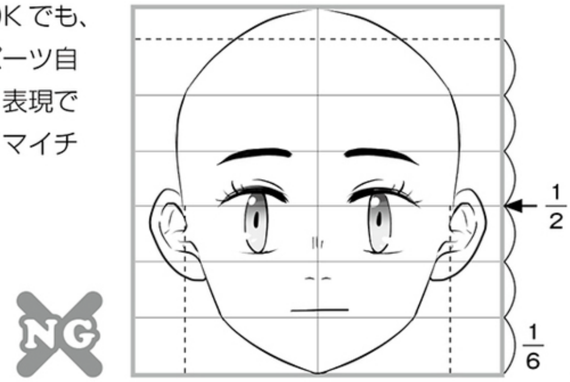
〔比率でおちいりやすい間違い〕



▲目・鼻・口が全体的に下がっているため、幼い顔になる。

〔横顔でおちいりやすい間違い〕

顔の比率はOKでも、おもな顔のパーツ自体をかわいく表現できないと、イマイチな顔に……



おもなパーツのポイントをふまえ、**「よりかわいい」**顔を描こう!!

❖顔（頭部）のおもなパーツ❶ 目・眉

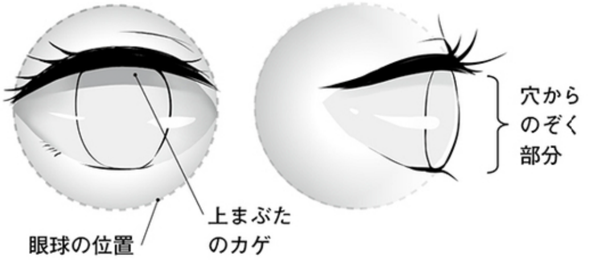
《目をよりかわいく描く基本のポイント》

顔のパーツの中でも特に目は好みや個性が出る部分ですが、ベースとなるポイントは次の４つです。

❶ 瞳に入れるハイライトを、大きめにする。
❷ 白目の割合を低く、黒目（瞳）の割合を高くする。
❸ 眼球の立体感を陰影で表現する。
❹ 目のフチどり部分は太め、まつ毛はハッキリ。

チェック！

〈立体で考える〉



目は「眼球を穴からのぞかせている」状態です。球のつもりで陰影をつけると、立体感が出ます。

Cute Point

上まつ毛→目尻＋下まつ毛

上まつ毛→下まつ毛連結

目のフチどりをどこまでとるかも、個性の出る部分です。フチどり範囲が大きいほど、目のインパクトは上がります。

《さまざまな目》

さまざまな色で光を入れ、つやつやさせた目です。

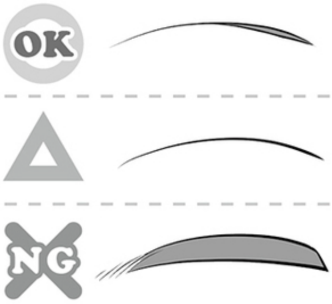
目のフチをぼやけさせ、目をうるませるイメージ。

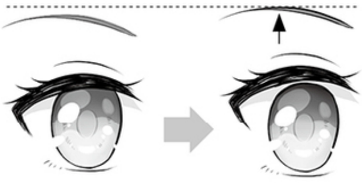
光彩を光のように薄い色で入れると、目がキラキラします。

瞳孔とカゲを一体にして、柔らかな印象を与えます。

《眉をよりかわいく描く基本のポイント》

眉頭（眉間に近いほう）から眉尻にかけて細くします。ただの線では味気ない眉になるので、太さの強弱を意識。

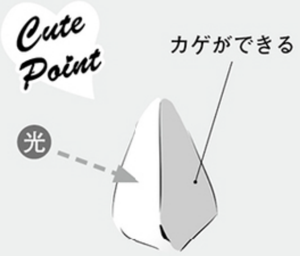




目を大きく開けると、そのぶん眉は上がります。

❖ 顔（頭部）のおもなパーツ❷ 鼻

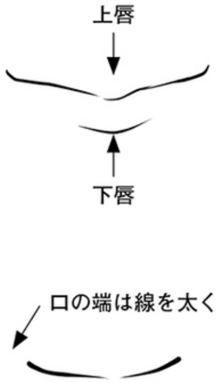
鼻はあまり詳細に描かないのがポイント。リアルに描けば描くほど、かわいさから遠ざかってしまいます。



鼻は点でもよいですが、「鼻の頂点」であることを忘れずに陰影を入れて立体感を出すと「よりかわいく」なります！

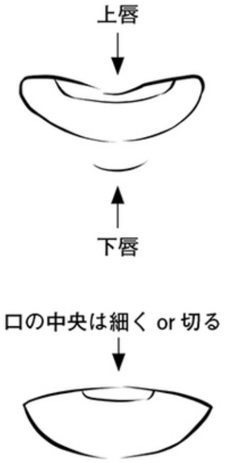
❖ 顔（頭部）のおもなパーツ❸ 口

《口を閉じる》



唇の形を線に表した上段は柔らかい印象。下段はシンプルな線の強弱だけで表現しています。

《口を開く》



上段は舌の部分と口内の色を塗り分けています。歯は少し見えるくらいがGood。

口は一見簡単に思えますが、工夫すると格段に魅力がアップするパーツです。次の３つのポイントを押さえて描きます。

❶ 線の強弱をつける。
❷ 歯を適度に省略する。
❸ 開閉する口の形をデフォルメする。

リアルすぎてNG な例。

線に強弱がなく、魅力のない口。

❖ さまざまなタイプの顔

さまざまなタイプの目・眉・鼻・口を組み合わせて、自分好みの「よりかわいい」女の子キャラを作りましょう。

《下がり眉＋たれ目＋あひる口》

おっとりした女の子の顔立ちです。眉尻を下げる（下がり眉）ことで、優しいイメージに。

《ツリ目＋ツンとした鼻＋八重歯（やえば）》

ツンデレ・気が強い女の子という印象を与えます。八重歯は猫などの、動物イメージのキャラにも使えます。

《まろ眉＋丸い目＋下まつ毛アリ》

まろ眉は人ではない女の子キャラにピッタリの眉毛。目のフチどりを下まぶたに届くほど伸ばすことで、目がくっきり＆大きく見えます。

《伏せ目＋鼻スジ＋下唇アリ》

目を伏せると上まつ毛の長さを強調でき、女の子らしい目に。鼻スジをつける＋下唇の線で、おとなしそうな女の子キャラになりました。

下まつ毛は、まつ毛が多くなるぶん女の子らしく、目が大きく見えるのが魅力です。

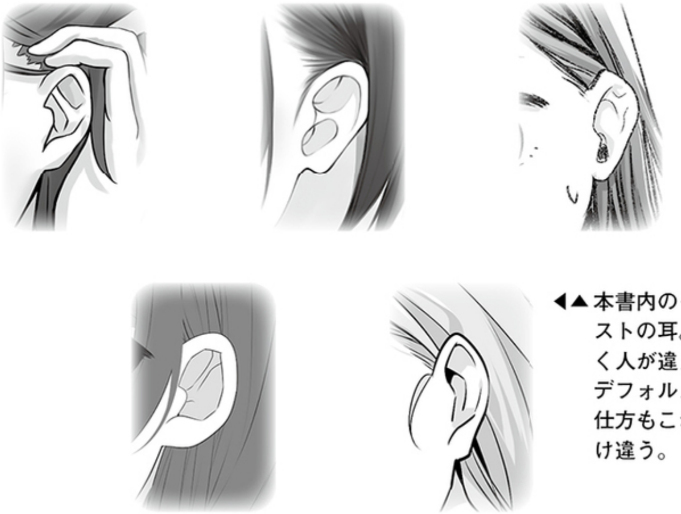
❖ 顔（頭部）のおもなパーツ❹ 耳

耳も鼻と同じで、描き込みすぎるのはＮＧ。以下の必須パーツ以外は適度に省略します。

❶ 耳たぶ
❷ 耳輪（じりん）（耳のふちの部分）
❸ 耳珠（じじゅ）（顔側にある出っぱり）

チェック！

描き込みすぎるとかわいさが減少しますが、反対にデフォルメしすぎるとミニキャラの耳に。本書で扱う、6頭身の女の子キャラには不向きです。

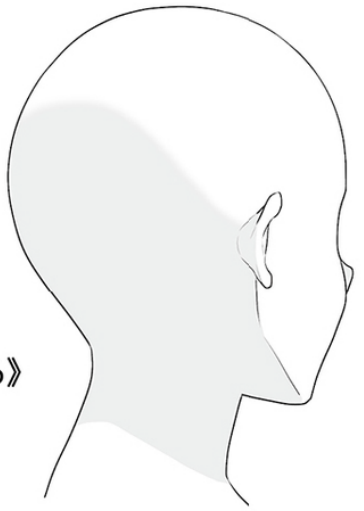


◀▲本書内のイラストの耳。描く人が違えば、デフォルメの仕方もこれだけ違う。

❖いろいろなアングルから見てみよう

20ページの「よりかわいい顔」をベースにした頭部を、いろいろなアングルで見ていきます。工夫できる「かわいいポイント」はそのアングルによってさまざまですが、顔の比率やパーツの位置自体が変わることはありません。

《斜め前》



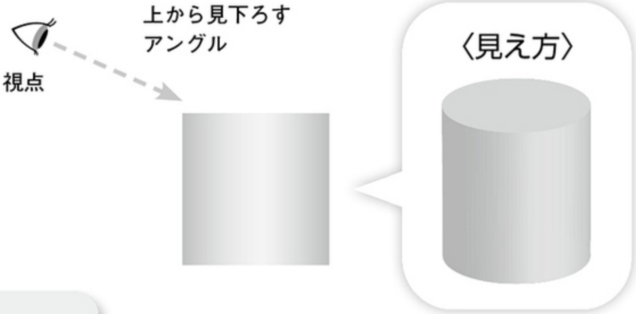
《斜め後ろ》

斜めのアングルだと顔に立体感が出るうえ、まつ毛の長さや上まぶたの溝の凹凸が強調され、より印象的な目になります。

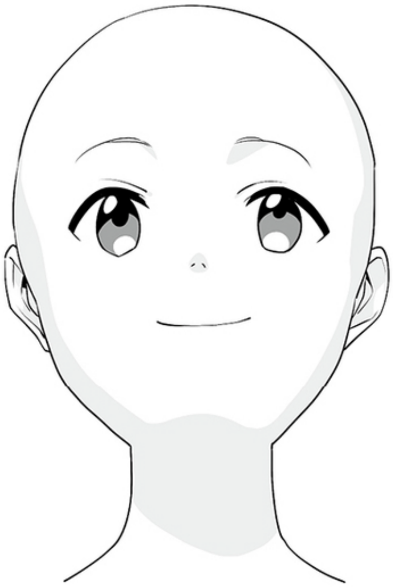
斜め向きの場合、目の大きさのバランスに注意します。

《フカン》

フカンは対象を上から見るアングルです。頭部をフカンで見ると頭頂部は大きく、アゴ先にいくにつれ小さくなるのが特徴です。耳は上のほうに見え、首は頭部に隠れてほとんど見えなくなります。



フカンは女の子との身長差や、上目づかいといったかわいさを引き出すことができます。

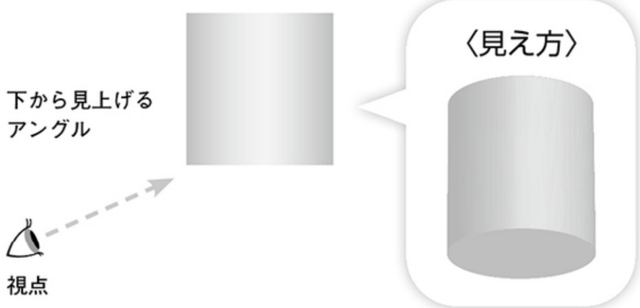


《アオリ》

アオリはフカンとは逆で、対象を下から見るアングル。頭頂部は見えない代わりにアゴ裏が見え、耳は下のほうについているように見えます。体の曲線ラインや、まつ毛の長さを強調することができる構図です。

チェック!

アゴ付近の輪郭線は入れないのが、アオリアングルをかわいく見せるコツ。陰影だけで表現しましょう。



「よりかわいい」女の子の髪には風が吹く

　ただ髪をまっすぐ描くだけでは、女の子の魅力がうまく表現できません。基本のポイントでより魅力あふれる髪を、応用としてプラスアルファで髪に風を吹かせ、さらなるかわいさのステップアップを目指します。

❖ 髪をよりかわいく見せる基本ポイント

つむじからの流れを束にして流すイメージです。

❶ つむじの位置を決める。
❷ ある程度の束を作る。
❸ 数本わざと束から外し、ばらけさせる。
❹ 目にかかる場合は透過させる。

これらのポイントを押さえると、よりかわいい髪が描けます。次は応用として、髪に風を吹かせるポイントを学びましょう。

同じ太さの束ばかりではメリハリが出ません。

❖ 女の子の髪をもっとかわいく見せる「風」のポイント

髪に風を吹かせることで髪はふわっと広がり、より女性らしい印象を与えることができます。

❶ 風の吹く方向を決める。
❷ 大きな流れを作りつつ、それに逆らって流れる髪も数束・数本描く。
❸ 頭部のどのあたりから生えている髪なのか、立体でとらえる。

まずはざっくり線で流れを描き、それを立体的にしていくと描きやすいです。

❖ さまざまなかわいい髪型

ベースとなる髪には、さまざまなスタイルがあります。女の子の髪型と、それぞれを描くコツを見ていきます。

《ストレート・ミディアム》

肩についた髪をたまに外向きに跳ねさせると、かわいくなります。

《ストレート・ロング》

ロングは清楚なイメージかつ、風になびかせるのにピッタリ！

ウェーブは、髪の束の裏表を交互に見せるイメージで描きます。

《ストレート・ショート》

毛先を少し遊ばせます。うなじが見やすい髪型です。

《ウェーブ・ミディアム》

髪の束を立体でとらえ、毛先に向かうとともに波打たせます。

《ウェーブ・ショート》

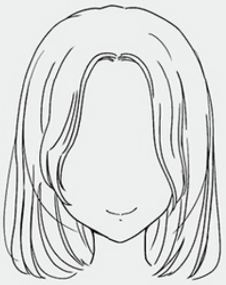
ウェーブは耳を基準にして、そこから波打たせるのがポイントです。

《ウェーブ・ロング》

ロングヘアのウェーブは、髪が長いぶん波を多く作れます。

Cute Point

《前髪について》



〈センター分け〉
おでこがあらわになり、顔がスッキリと見えるのがポイントの前髪です。

〈片方に流す〉
前髪のまとまりと、おでこと片眉のチラ見えによって、明るくふんわりした印象を与えます。

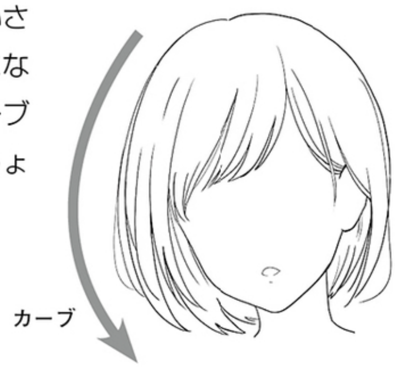
〈パッツン〉
見える顔の面積が小さく、そのぶん目が強調される前髪。幼さ・あどけなさを感じられます。

〈立ち上げて流す〉
前髪の根もとを立ち上げて流します。大人っぽい雰囲気とロイヤル感が出るのが特徴です。

《サイドダウン》

《ボブ》

丸みがかわいさのポイントになります。カーブを意識しましょう。



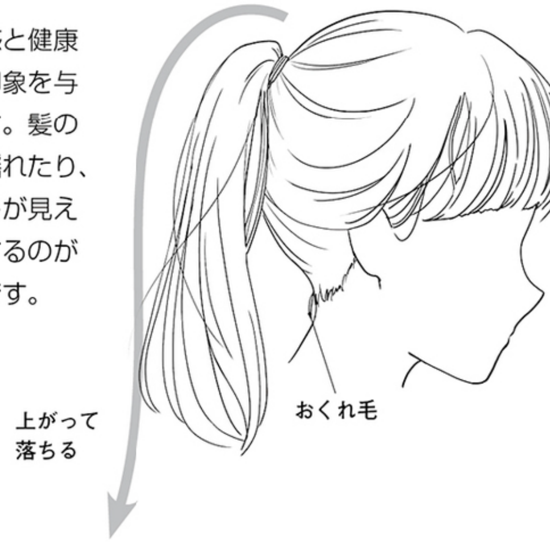
《外ハネ》

耳付近の髪だけは外に跳ねさせずに下ろすとかわいくなります。

気づき！
片側に髪を流すサイドダウンは、片側の首があらわになり、曲線の流れが生まれます。

《ポニーテール》

清潔感と健康的な印象を与えます。髪の束が揺れたり、うなじが見えたりするのが魅力です。



《ツインテール》

ツインテールは少女にピッタリのガーリーな髪型です。どの角度からも見えるぶん、ポニーテールより動きが強調されます。

《サイドアップ》

顔の横で髪をまとめ上げることで、前から見てもかわいいのが特徴です。

《アップ》

後ろで髪をまとめ上げたアップは後ろ姿を上品かつ華やかに見せます。

《ハーフアップ》

下ろした髪とくくった髪のよさが両方味わえます。後頭部へ集まる髪の線を入れましょう。

《二つ結び》

ツインテールと違い、耳よりも下の位置で結ぶことで、おとなしい印象を与えます。

《三つ編みおさげ》

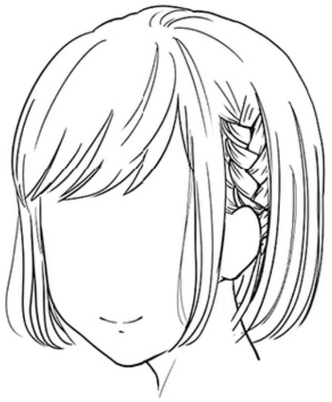
三つ編みは毛の束を「y」に見立て、線を入れていくのがオススメです。

《お団子》

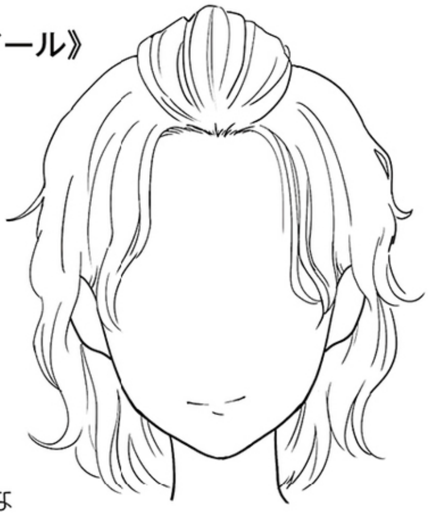
お団子結びは数種類ありますが、バラの形をイメージして描くと、女性らしさと華やかさを表現できます。

《サイドに編み込み》

三つ編みを応用し、サイドで編み込んだスタイル。さりげなく見えるのがかわいいポイントです。



《ポンパドール》

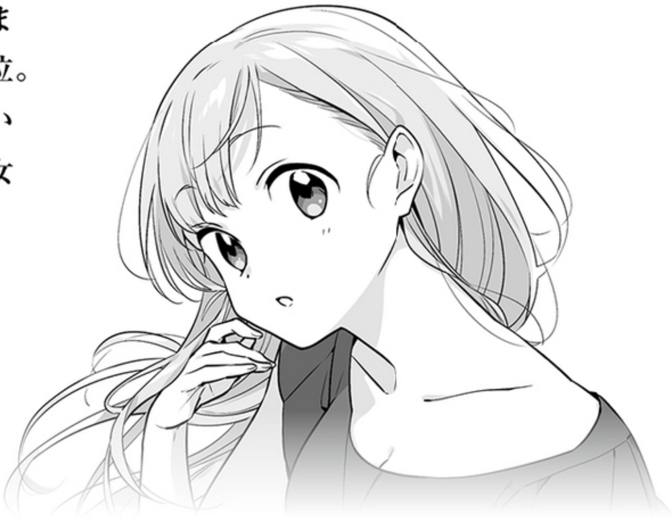


明るく活発なかわいさを表現できます。

ポンパドールは、前髪のふんわりした丸みがかわいさのポイントになります。

デコルテラインを綺麗に見せる

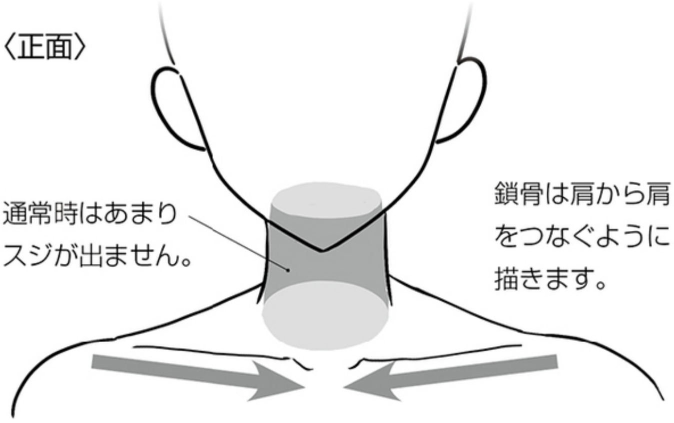
デコルテライン（首もとから鎖骨、胸もとまでのライン）は華奢で女性らしさを感じる部位。手グセで描いてしまいがちですが、案外間違いやすくもあります。「構造」を正しく描き、女の子のかわいさ・魅力をアップしましょう。



《デコルテラインのポイント》

❶ 必要最低限の線でスジを表現する。
❷ 僧帽筋（そうぼうきん）（首から肩につながるライン）をなだらかに描く。
❸ 鎖骨の間の凹みを描く。
❹ 第７頸椎（けいつい）の存在を忘れずに表現する。

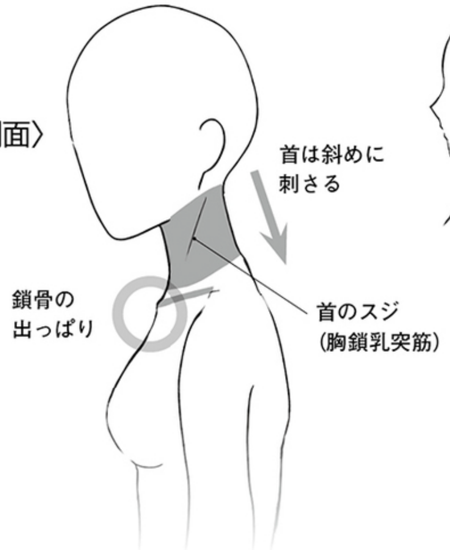
〈正面〉



〈背面〉

第７頸椎の出っぱりを描くのがポイント！　背面や側面を描く際は忘れずに。

〈側面〉

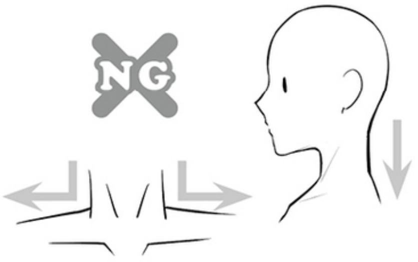


チェック！

ひし形に円柱が斜めに刺さるのをイメージするとわかりやすいです。

チェック！

首から肩のラインを一直線につなげたり、直角に描いたりしないよう注意しましょう。



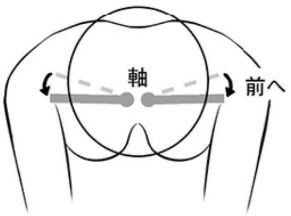
腕を上げ下げしたり、背を反らしたり丸めたりしても、鎖骨の形そのものは変形しません。多少傾く程度です。

肩を内に寄せることで、鎖骨のラインがよりいっそうくっきりと浮き出ます。

《背を丸める》

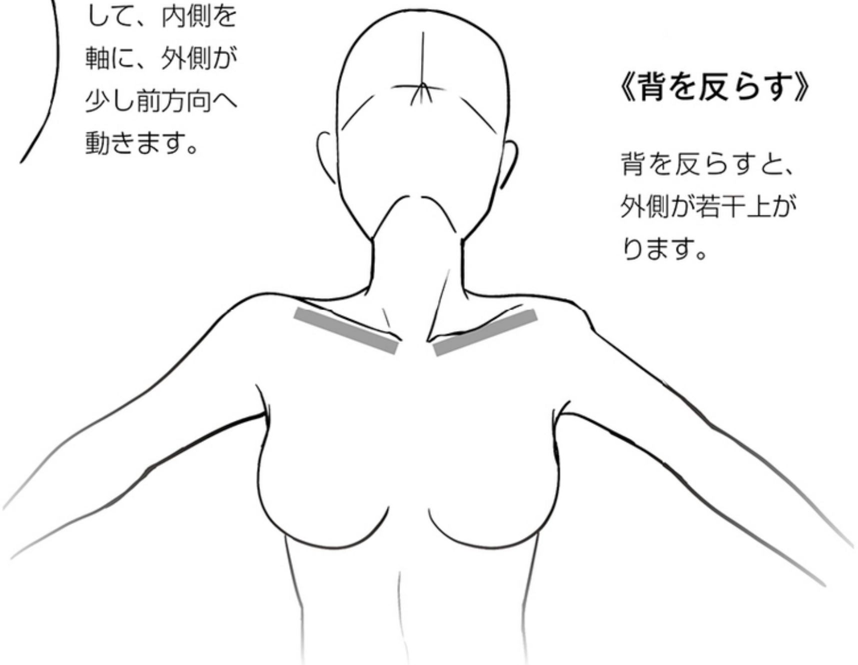
腕を前に出すと鎖骨も連動して、内側を軸に、外側が少し前方向へ動きます。

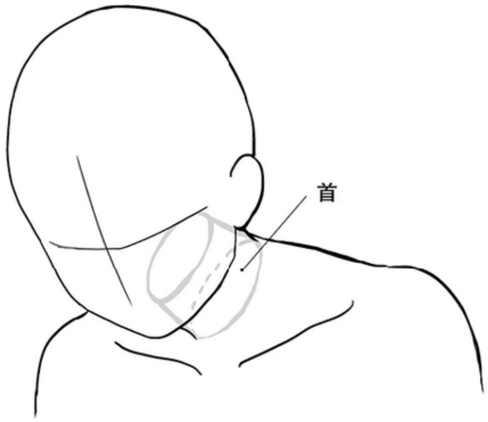
〈上からの図〉



《背を反らす》

背を反らすと、外側が若干上がります。

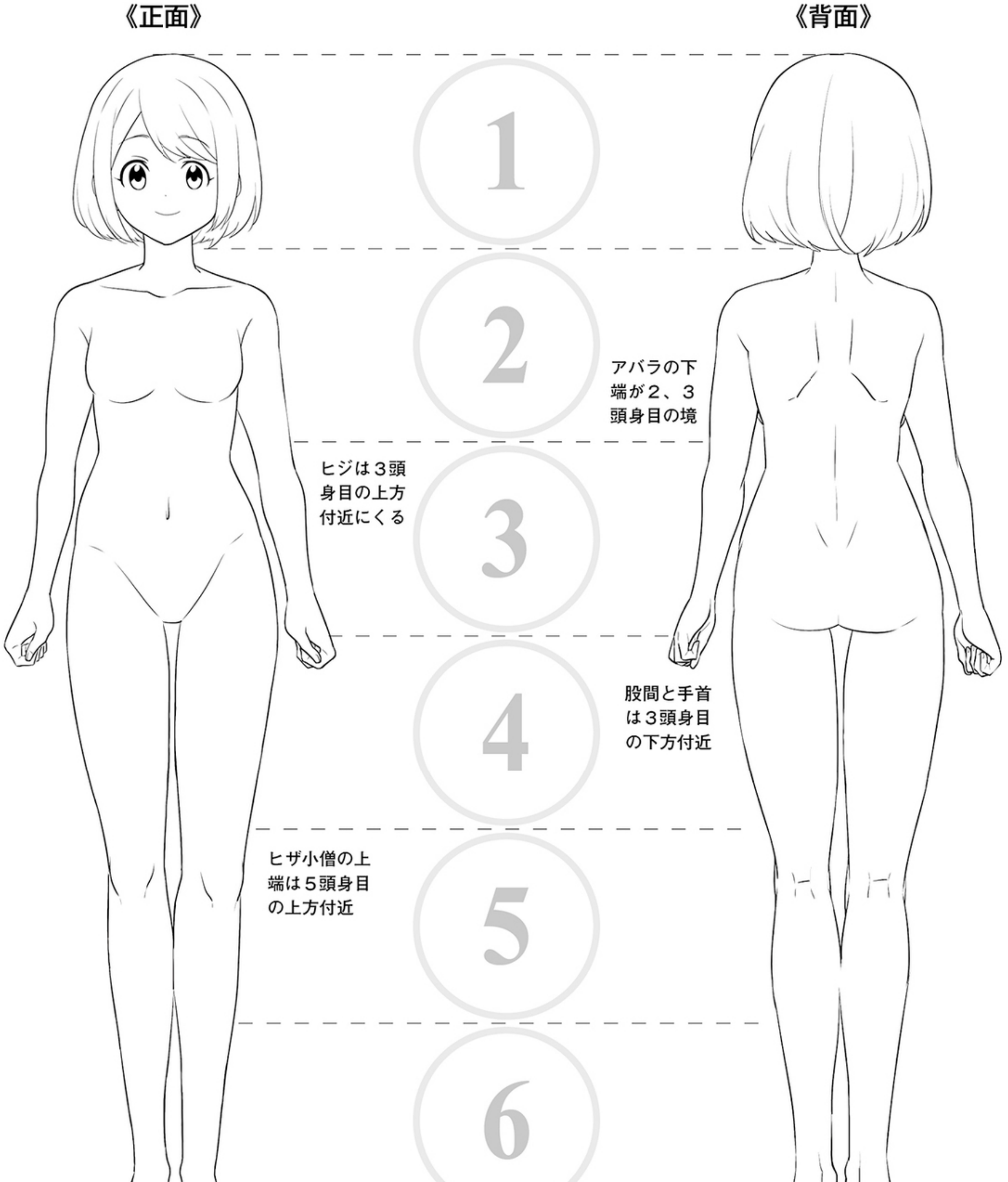




また、頭部を前に倒すと（「背を丸める」の図参照）、首は隠れて見えなくなります。頭部から肩にそのままつながるように見えますが、首がないわけではありません。斜めから見ると左図のような状態になっています。

さまざまな角度から見る「よりかわいい女の子」全身のポイント

おもに顔・首・肩まわりの部位について「よりかわいくする」という視点で見てきました。次項以降の部位説明をする前に、全身でのポイントを見ていきましょう。



本書の「かわいい女の子」＝約６頭身。
頭身が高いと「美少女」よりも「美女」に近くなり、本書の定義からは外れます。

《側面》

胸板に乳房がのっていることを示す線を入れます。

肩から腕への流れ（腕のつき方）を描くのが難しいアングルです。

《斜め前》

《斜め後ろ》

足首からかかとまでの縦ラインを描いてから、足の先を作画するのがオススメ。

斜めアングルは、手前と奥に見える各部位の大きさのバランスがとりにくいです。特に奥側にある腕が描きにくくなっています。

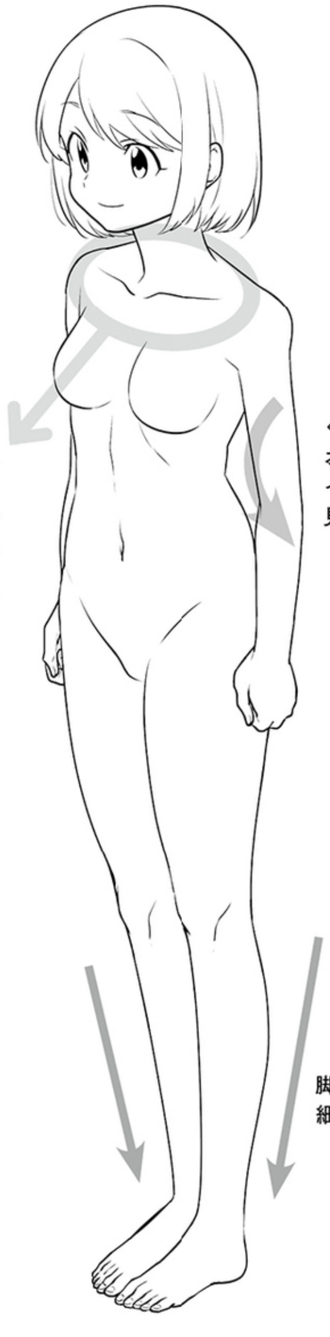
ヒザ裏のくぼみの線を描くことで華奢な感じが表現できます。

《アオリ》

乳房の下側（下乳）やアバラの出っぱりが強調されて見えます。脚が長めに見えるアングルです。

乳房の「たゆん」とした柔らかさ、肋骨の骨っぽさ・華奢な部分のギャップで、かわいくなります。

《フカン》



デコルテラインをアピールしやすいアングルでもあります。

肩の角度や腰の見え方がくるいやすいので、隠れる部分もアタリをとると、比較的楽に描けます。

チェック！

手前に見えるものの部位を、奥に見える部位に食い込ませて描くと、遠近感を出せます。

作例❷ 杉谷エコ

02 「よりかわいい人体構造」（体幹・脚まわり）

キャラ絵はしばしば顔まわりが描きたくて、そればかりを練習しがちですが、それ以外の箇所の構造を理解して描けるようになれば、より表現の幅が広がります。

作例❷ は、登校前に急いで靴を履いている女の子のイラストです。

Cute Point

あわてているので、左右の靴下のデザインをバラバラにしています。こういった工夫で、キャラクターの性格面のかわいさを表せます。

❖ 作例❷メイキング――全体のフォルムから描く

01. 全体のフォルムをとらえる

まずは描きたい人物全体のフォルムをラフとして描き、形（シルエット）をざっくりとらえます。

02. キャラクターづけをする

ラフに自分好みの服装や髪型をつけたして、キャラクターを考えます。ここでは自分が描きたい「かわいい要素」を入れ込むことが重要です。自由につけたしましょう。

03. 人体構造の確認・描き込み

描きたい要素が固まったら、人体構造を確認しつつ、描き込んでいきます。

右手も右足も奥に伸びているので、小さめに描いて遠近感をつけるのがポイント。立体感が生まれ、絵の魅力が増します。

04. 衣装などの作画・着彩のアタリ

靴の見え方とスカートの広がり方に注意。立体として形をとらえましょう。

清書・着彩・仕上げをしたら、完成（前ページ参照）。

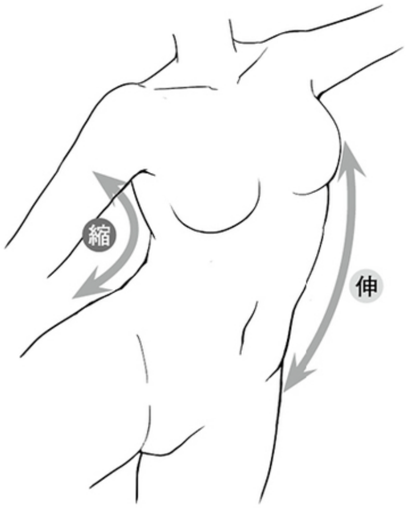
チェック！

一度衣服を外した状態で、構造をしっかり描き込むのが大切です。

傾く体の魅力

▲ 作例❷ の体

バランスのとれたシンメトリックな構図より、重心の傾きによって今にも動き出しそうなアンバランスな構図のほうが、魅力的な絵になります。



体が傾くことで大きな曲線の流れが生まれ、女性らしくしなやかな印象に。傾くことでずり落ちそうになる衣服も、女の子キャラの魅力を引き立てます（くわしくは Chapter 3参照）。

脚・足——丸み・柔らかさと骨ばった部分とのメリハリ

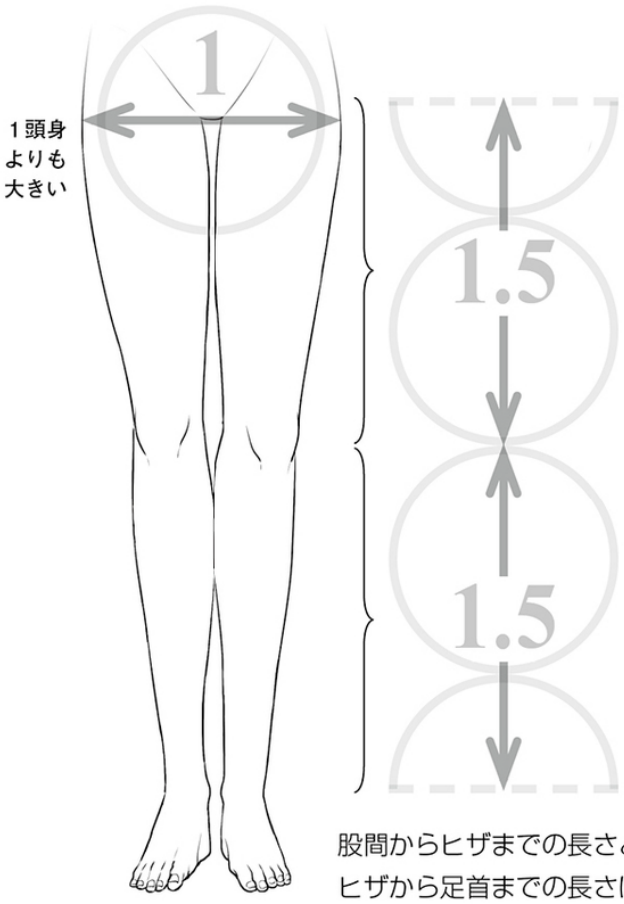
脚や足がしっかり描けると、絵全体に安定感が増します。おろそかにしないようポイントを説明します。

太ももやふくらはぎなどの脂肪の柔らかさと、ヒザや足首などの骨ばった華奢な部分とのギャップが、女の子をよりかわいく魅せます。

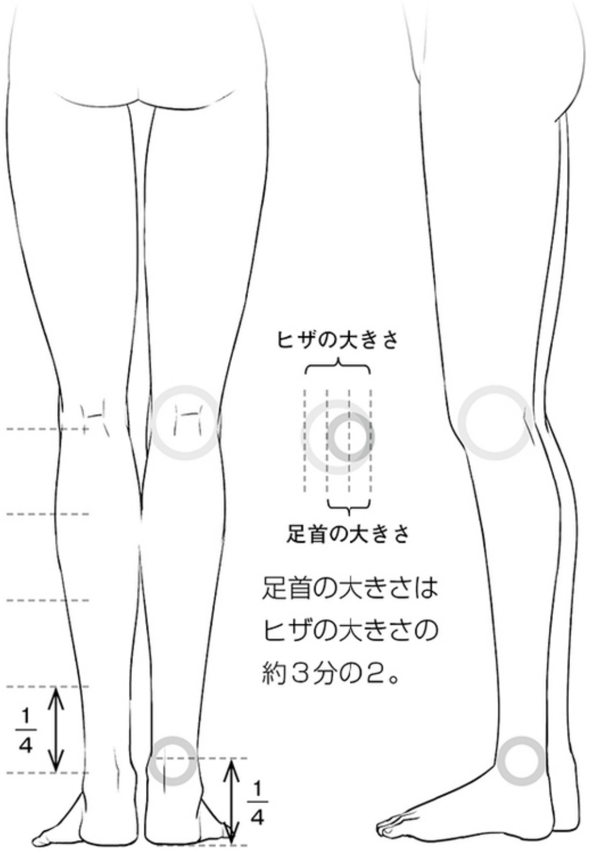
❖ 脚がよりかわいく描ける比率

股間を中間点にした両脚の横幅は、**1頭身分よりひとまわりくらい大きく**なります。

先に、脚をよりかわいく描ける、基本の比率を覚えておきましょう。



股間からヒザまでの長さと、ヒザから足首までの長さは同じで、**約 1.5 頭身分**です。



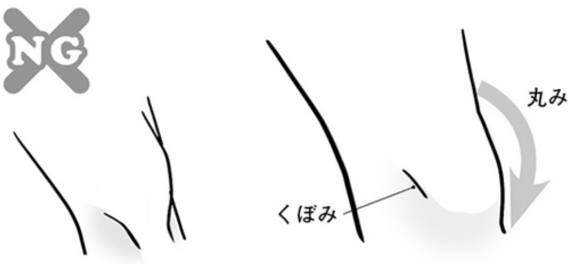
足首の大きさはヒザの大きさの約3分の2。

足首からかかとまで＝ヒザから足首までの長さの約4分の1

❖ 脚をよりかわいく描く基本ポイント

脚を描くには、線の省略・なめらかさと、関節部分を細くすることで生まれるメリハリが肝(きも)になります。

《ポイント❶ ヒザの丸み・華奢なさま》

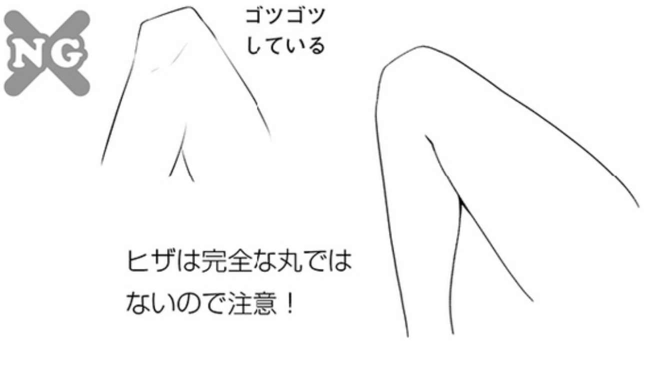


ヒザをゴツゴツさせると、かわいく表現できません。

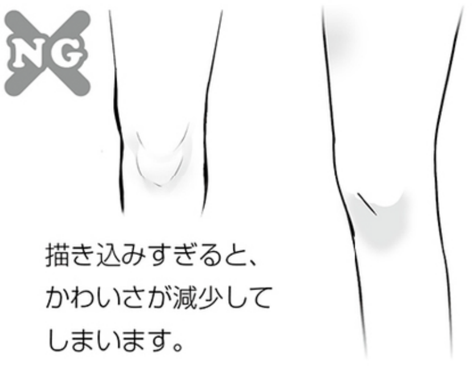
丸みとキュッとしたくぼみが最大のポイントです。

◀ 作例❸ の脚
(52ページ参照)

ヒザ裏は「H」、もしくは2本の縦線で表現すると、華奢な感じが出ます。



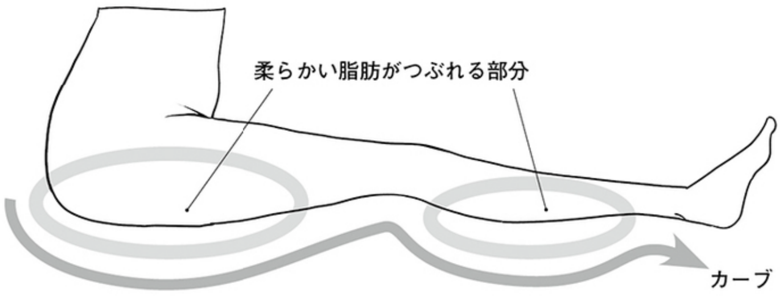
ヒザは完全な丸では
ないので注意！



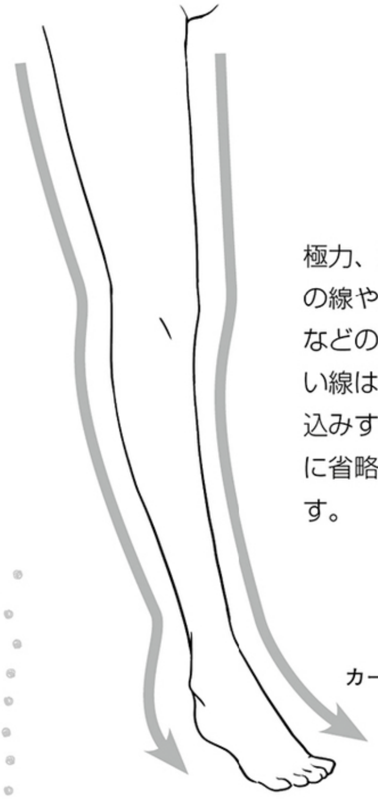
描き込みすぎると、
かわいさが減少して
しまいます。

《ポイント❷ まっすぐな棒にしない》

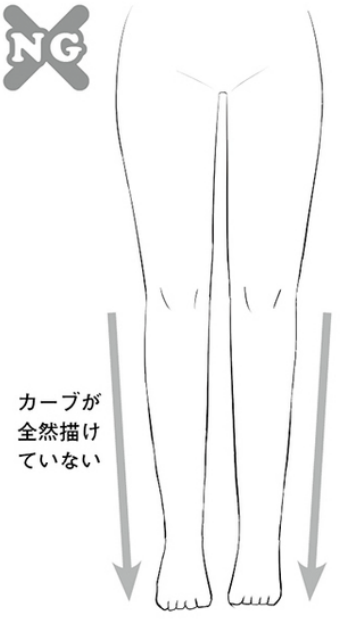
脚を棒のようにまっすぐ描いてしまうと、女性らしい曲線美が表現できません。しなやかさのあるカーブのラインを意識して描きます。



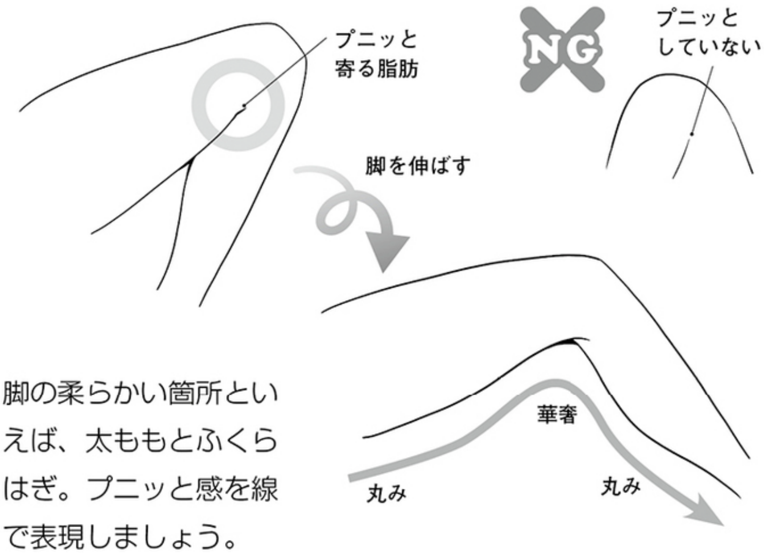
スネは直線で描かずに、わずかにカーブさせましょう。微妙な曲線が大切。



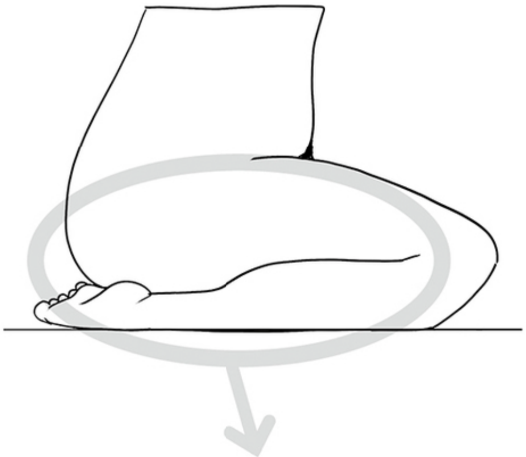
極力、筋肉の線や血管などの細かい線は描き込みすぎずに省略します。



《ポイント❸ 太ももとふくらはぎの脂肪》



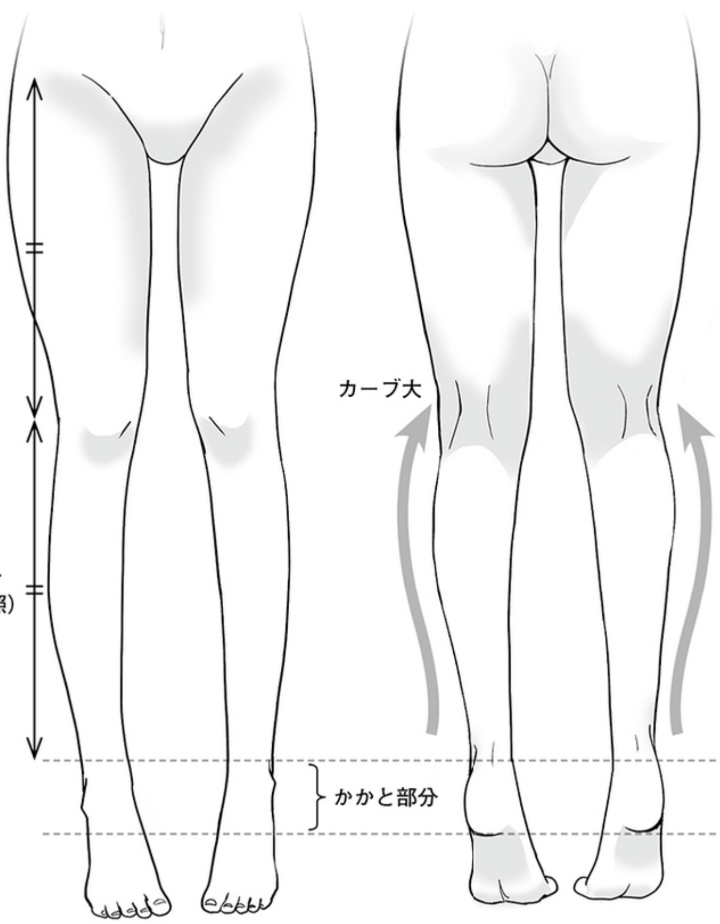
脚の柔らかい箇所といえば、太ももとふくらはぎ。プニッと感を線で表現しましょう。



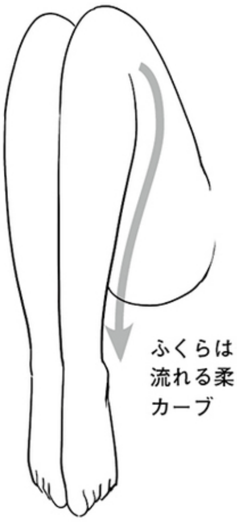
正座は体重がかかるぶん、柔らかい脂肪が余計につぶれることを線の丸み・強弱で表現します。

脚の裏側どうしをくっつけるように曲げるほど、太ももの脂肪は横に広がります。

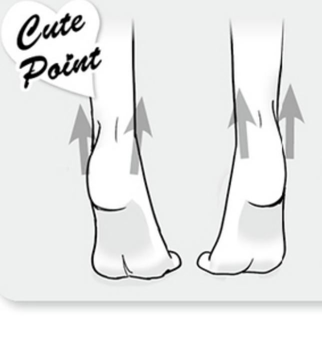
つま先立ちをすると、通常に立っているよりもふくはらぎのふくらみが浮き出て、キュッと上がります。そのためカーブも大きくなりますが、前から見た場合それほど変化は感じられません。



脚を曲げたとき、太ももの内側に出る線を忘れずに！



脚を曲げると、ふくらはぎの脂肪（特にヒザ付近）も横に広がります。



アキレス腱がグッと浮き出ます。この必死感が庇護(ひご)欲をくすぐるかわいさに。

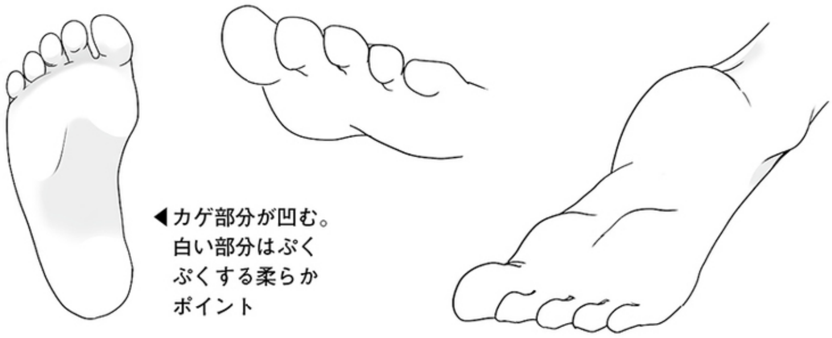
❖ 足をよりかわいく描く基本ポイント

《ポイント❶ 指の形・長さ》

形は「すらっと丸く」を意識しましょう。角をけずるイメージです。また、足の指を長くしすぎると、「美少女」よりも「美人」の印象が強まり、かわいさが減少してしまいます。

小指から指の長さを逆算して描いていくのがオススメ。

《ポイント❷ 足の裏のぷくぷく感》

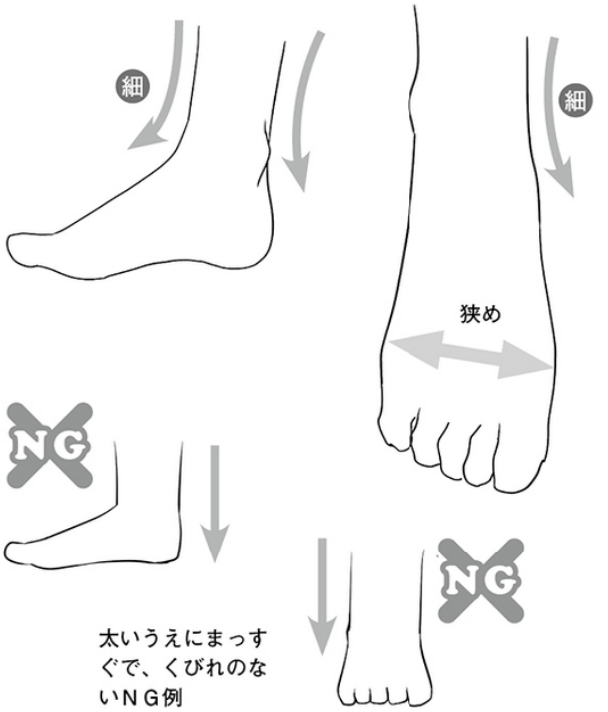


気づき！

足にはあまり脂肪がつかないため、かかとの丸みや足の裏の脂肪が、貴重な柔らかポイントです。ぷくぷく感が大切！

《ポイント❸ 足首や足の甲の華奢なさま》

足首・くるぶしのキュッとした細さや、足の甲の狭さは、見る人に華奢だと感じさせます。ズドンとまっすぐで象のような足では、かわいさは表現できません。



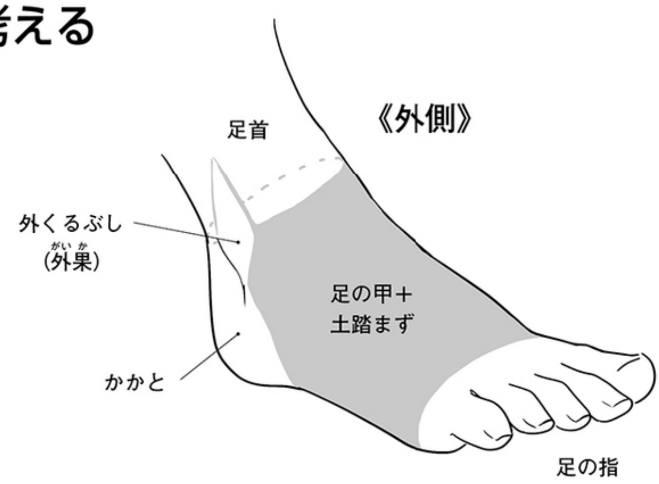
チェック！

足の甲を広く、指を四角く描いてしまうと、左図のようにゴツゴツした足に……。

❖ 足を５つのパーツに分けて考える

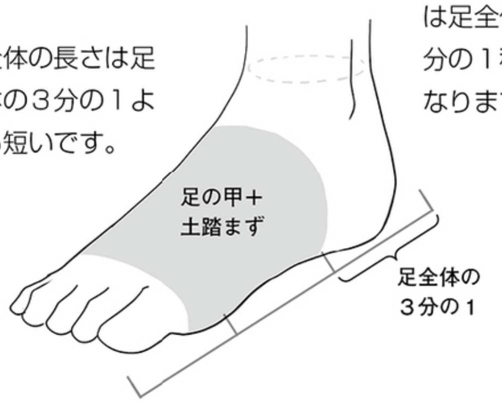
よりかわいく描くための基本ポイントを盛り込みながら、足を５つのパーツに分けて考えると、さらに「構造」を把握しやすくなります。

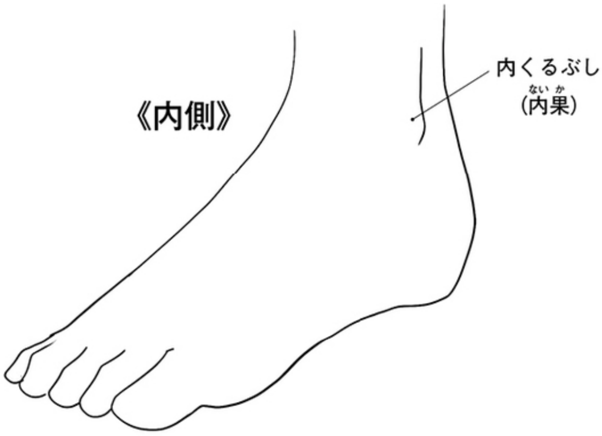
❶ 足首
❷ くるぶし（外・内）
❸ かかと
❹ 足の甲＋土踏まず
❺ 足の指

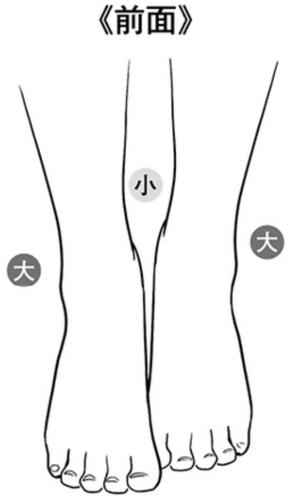


指全体の長さは足全体の3分の1よりも短いです。

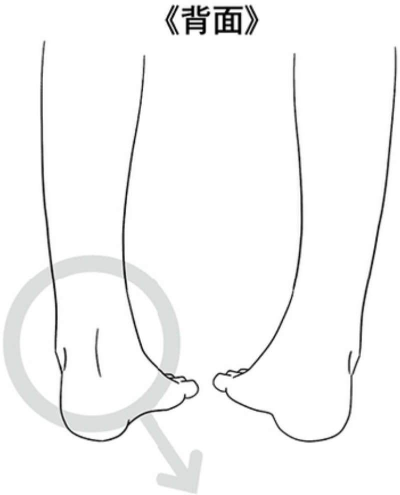
足首、かかとは足全体の３分の１程度になります。





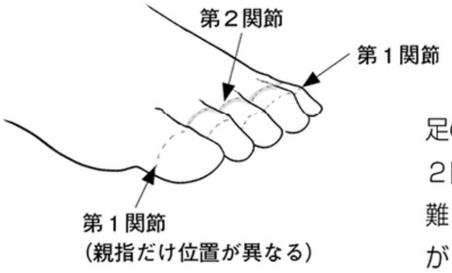


くるぶしは内側より外側のほうが出っぱります。



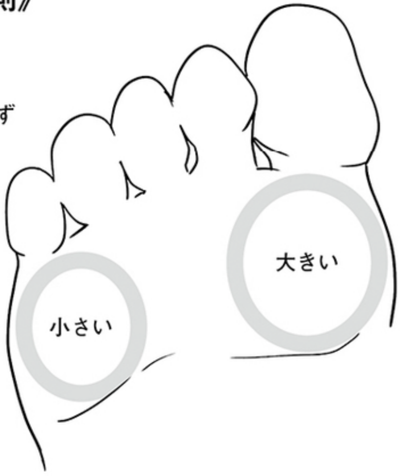
アキレス腱の線を描いて足首の華奢度合いをアップさせます。

足の指は、それぞれの指先が中指に向かうように描くと、かわいく表現できます。



足の指は第１関節・第２関節だけ曲げるのが難しく、両関節とも曲がってしまいます。

《足の指・裏側》



足の裏のふくらみは、親指側のほうが大きくなります。

チェック！

着地している足は、足跡をベースにして、5つのパーツを組み上げていくと地に足がついた絵になります。

かわいく見せる足の表情

手よりは可動部が少ない足ですが、足の指を動かしたり、足をくっつけたりすることで、かわいい表情を見せることができます。

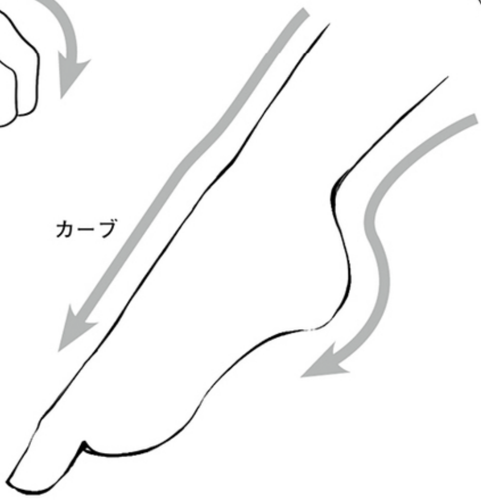
《指を開く》

《足の指をキュッと丸める》

指と一緒に足の甲も丸まります。

《親指だけ立てる》

手と同様に、指をばらけさせてみるのもGood。



《足をピンと伸ばす》

《足をそろえる》

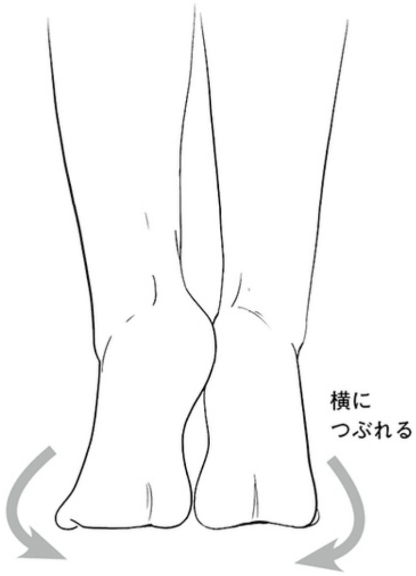
Cute Point

足首のくびれや、甲のラインのなめらかさで、女性らしさを強調します。足先までこだわるのがポイントです。

《指をモジモジさせる》

足の指どうしを絡ませて、片足の指の間から、もう片足の指をのぞかせるのがポイントです。

《つま先立ち》



足の裏側のふくらみを横に広げ、体重でつぶされている感じを表現します。

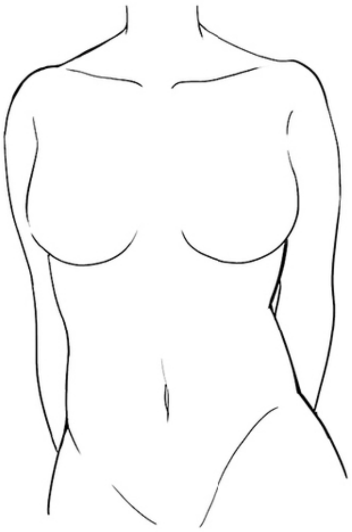
女の子の特徴である胸（乳房）

ただ胸にある球状のものととらえるのではなく、ワキとのつながり、鎖骨からの位置など、押さえるポイントはたくさんあります。

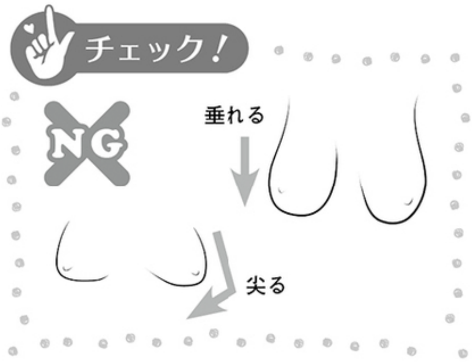
❖ 胸をよりかわいく描くには？

体幹で、鎖骨下からアバラまでの前面部分が胸です。その中でもっとも目立つ、女の子の乳房をよりかわいく表現していきましょう。ポイントは大きく３つに分けられます。

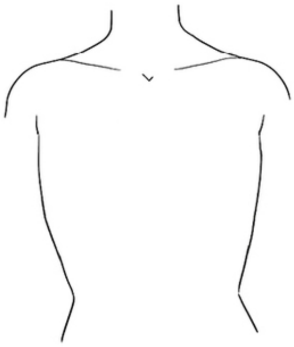
《ポイント❶ 乳房の形（丸み）》



乳房の形はさまざまなタイプがありますが、本書では**ベーシックで綺麗な丸みをおびた乳房を、理想の形としています。**垂れたり尖ったりした乳房よりも**女性らしい丸みが強調される**ためです。

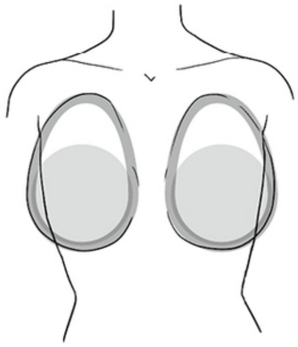


01. 胴体を描く



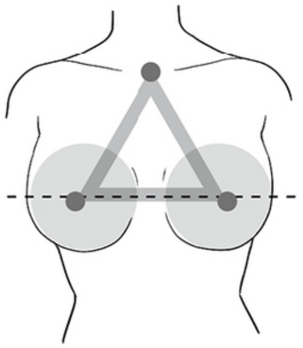
まずは乳房を描かずに、胸部分を描きます。アバラを意識することが大切です。

02. 卵型をイメージし乳房をつける



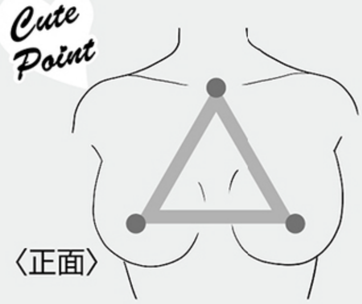
卵のような形で、乳房を胸板に描き込みます。正円を鎖骨へ向かって引き伸ばすイメージです。

03. 乳首の位置を決める

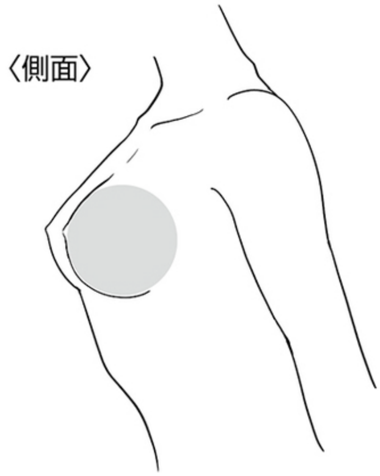


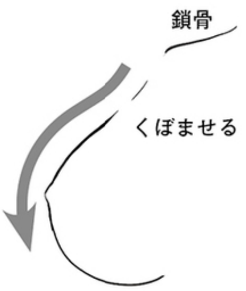
頂点が鎖骨の間、底辺が乳房の正円の真ん中にくる正三角形を描き、乳首の位置を決めます。

Cute Point



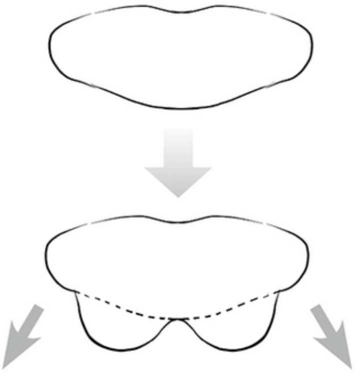
鎖骨の間と両方の乳首をむすんだとき、ほぼ正三角形になるのが理想です。



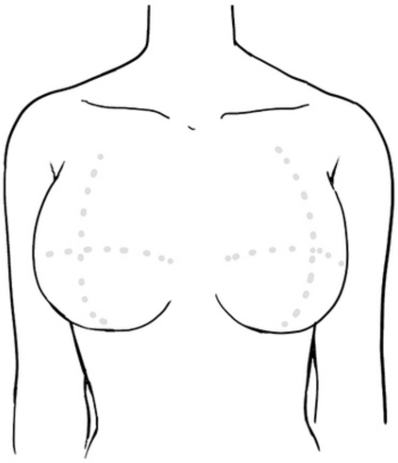


鎖骨の下あたりをわずかにくぼませ、乳房の正円につながるように線を引きます。

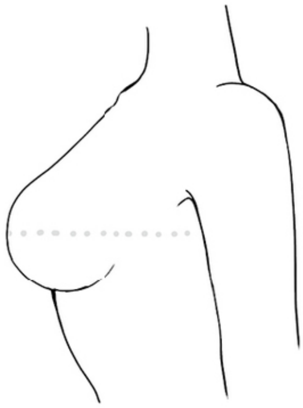
《ポイント❷ 乳房・トップの角度》



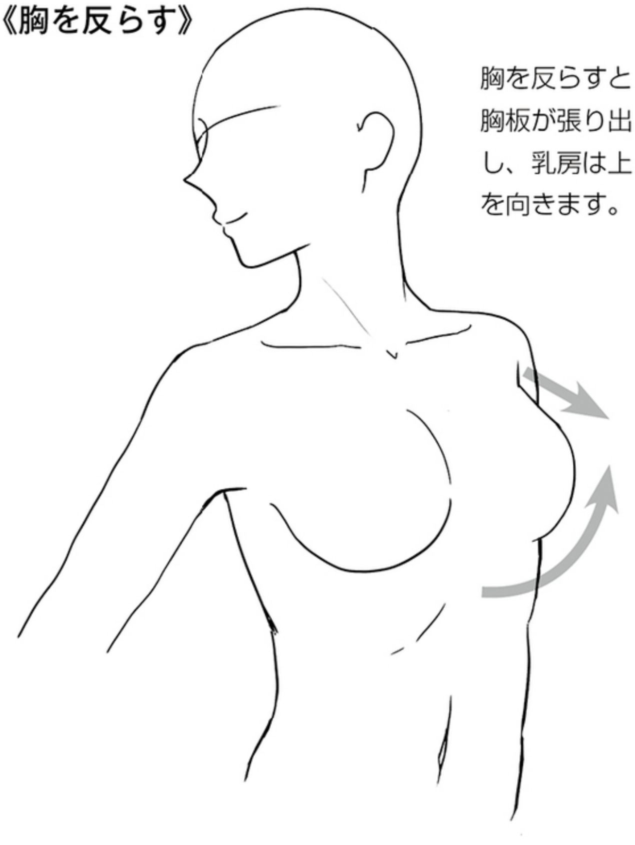
胸板はカーブを描いています。そのため、乳房・トップは外側を向きます。胸板の角度に合わせましょう。



外側に向かって張り出すイメージで、十字線のアタリを入れると描きやすいです。

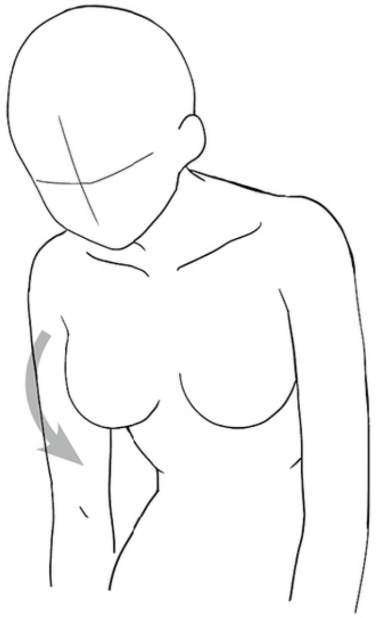


《胸を反らす》



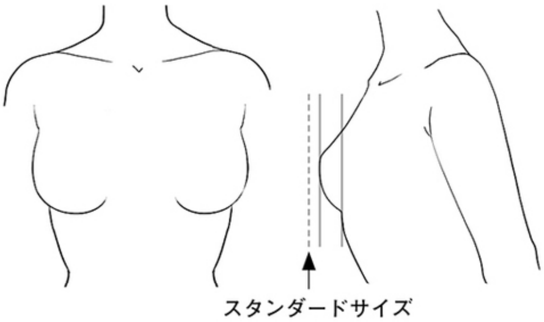
胸を反らすと胸板が張り出し、乳房は上を向きます。

《背を丸める》



胸板のカーブが下弦になるので、乳房は下を向きます。

❖ 乳房の大きさ

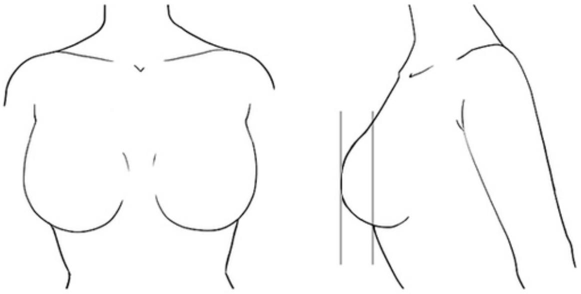


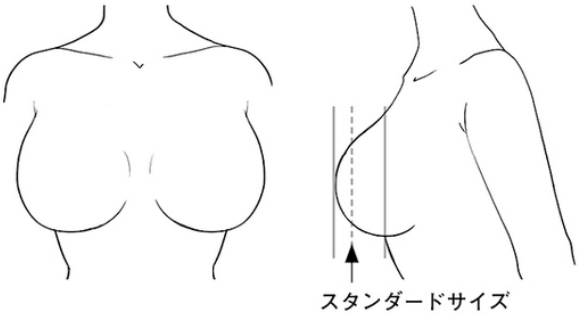
《微乳》

ひかえめにふくらんだ乳房です。胸板と乳房のトップとの距離がそれほどないため、鎖骨の下あたりのくぼみもほとんどなくなります。

《スタンダード》

平均的なサイズの乳房です。胸の間に少し谷間ができます。



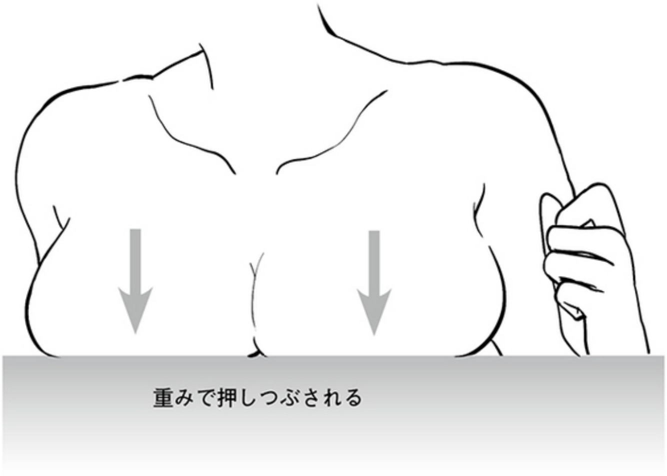


《巨乳》

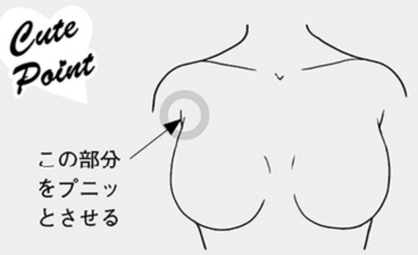
巨乳の場合、胸板と乳房のトップとの距離が大きくなります。また、アタリでの正円も大きめに描くのがポイントです。

《ポイント❸ 弾力・柔らかさの強調》

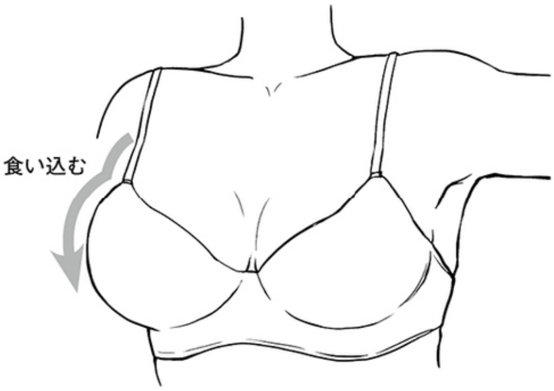
ふにゃんとした乳房の柔らかさは、特に目立つ女の子の特徴です。体の重みでつぶれた状態や水着などの締めつけを描くと、乳房の弾力・柔らかさを強調できます。



Cute Point



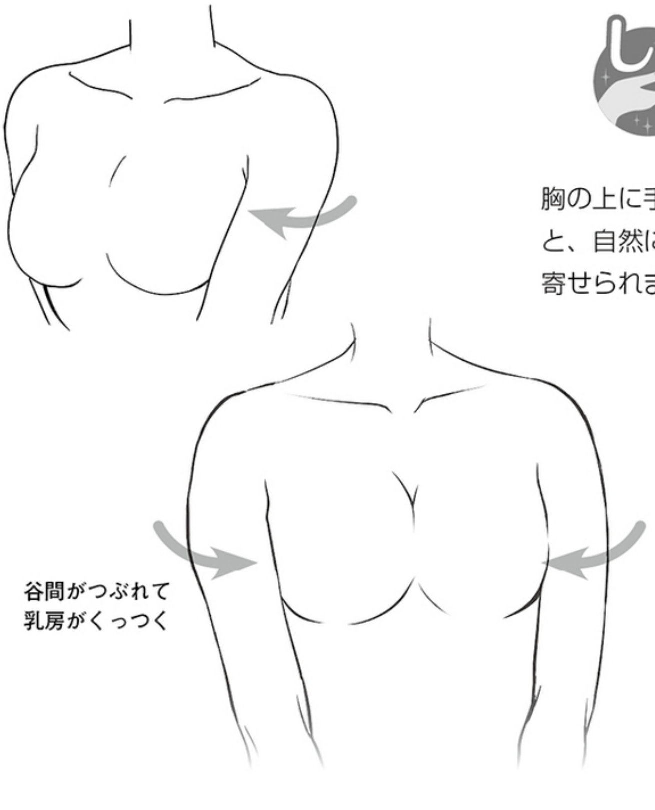
肩と乳房の間にある脂肪をプニッとさせるように線を入れると、よりかわいい胸になります。



❖ 肩や腕によって寄る乳房

肩や腕を内側に向けることで、乳房は自然と寄ります。故意にギュッと寄せるのはセクシーな印象が強く*、本書のコンセプト「かわいい女の子」には適さないので、取り上げません。

＊本書姉妹編『女の子の人体パーツの描き方』を参照。



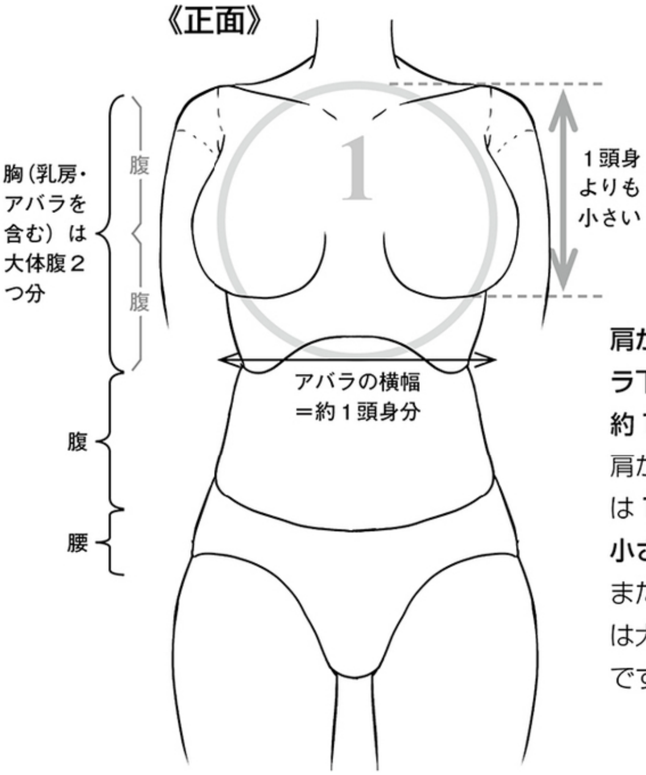
しぐさ

胸の上に手を置くと、自然に乳房が寄せられます。

すべすべで柔らかなお腹（胸から腰までの流れ）

体の構造を考えるうえではアバラや腹筋も把握しておく必要がありますが、線は省きカゲのみでの表現でかわいいを演出します。

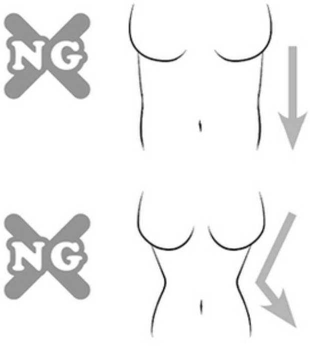
《正面》



腹筋をあまりつけず、柔らかさとすべすべ感のあるお腹＋ヘソのくぼみがポイントです。体幹は胸（アバラまで）・腹・腰の３分割で考えます。

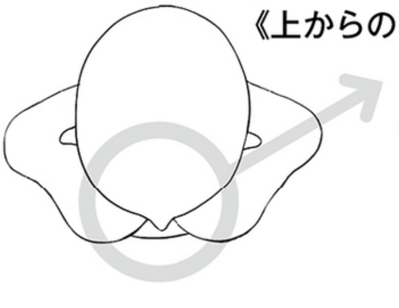
肩から胸（アバラ下部まで）＝約１頭身分で、肩から乳房までは**１頭身分より小さく**なります。また、胸の縦幅は大体腹２つ分です。

チェック！



くびれのない寸胴なお腹・急激にくびれてアバラが入らないお腹のラインは、曲線の魅力がなくなります。

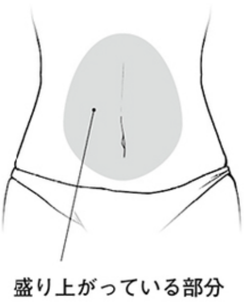
《上からの図》



上から見ると、乳房の間からお腹が見えます。

❖ 陰影がポイントに！

線のみで描くより、陰影をつけたほうがお腹の柔らかさ・丸みを表現できます。脂肪がなさすぎてガリガリのお腹だと、柔らかさが感じられず、かわいさが減少してしまいます。



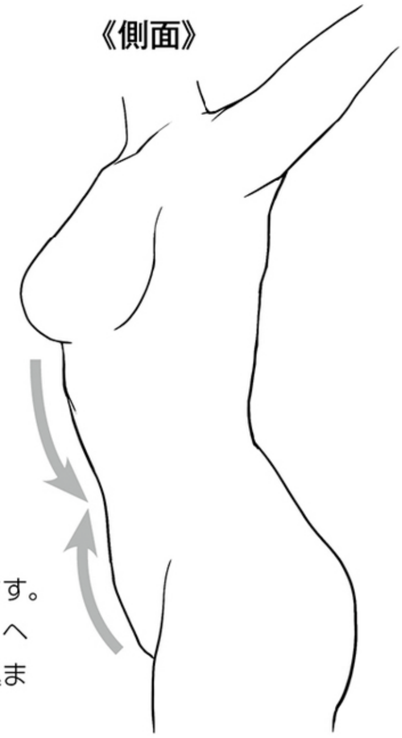
お腹の盛り上がっている部分を中心に、ヘソにつづく縦ラインの凹みを入れます。

《前面》

体型にもよりますが、背を反らしたり腕を大きく上げたりすることで肋骨が浮き出ます。この線を入れると、華奢な体型を表現できます。

アバラ下部の線（左図は陰影で表現）は、肩から約１頭身分付近に浮き出ます（前ページ参照）。

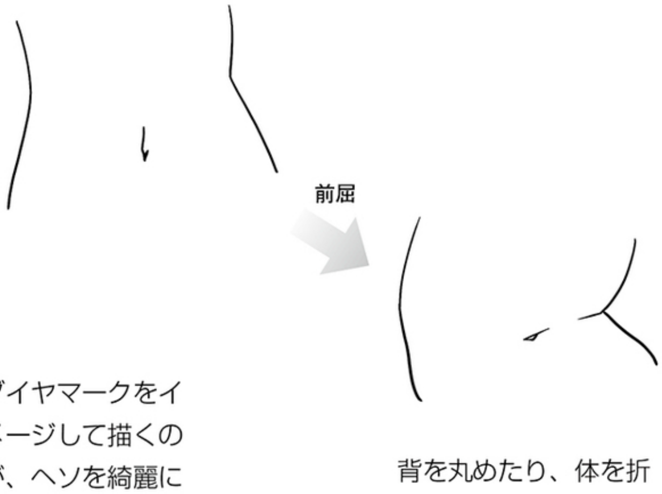
《側面》

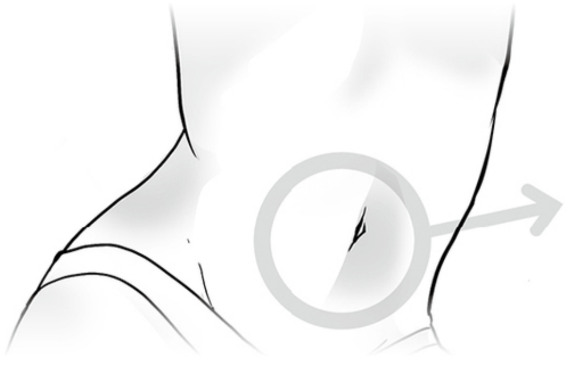


ヘソの部分が凹みます。アリ地獄のように、ヘソに向かって吸い込まれるイメージです。

ヘソについて

お腹は線で表現できる箇所がかなり少ない部位です。そのため、ヘソでお腹の大部分が決まるといっても過言ではありません。





ダイヤマークをイメージして描くのが、ヘソを綺麗に描くコツです。

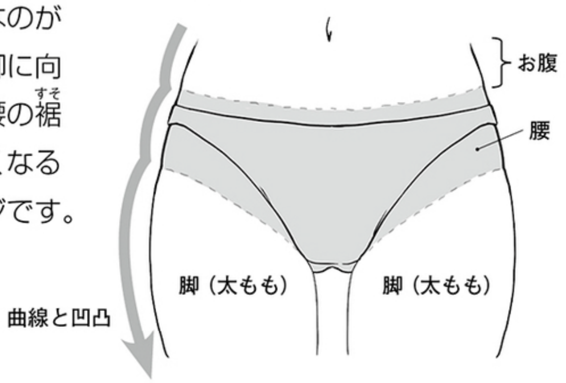
背を丸めたり、体を折り曲げたりすると、ヘソの線は縦でなく横に伸びます。

骨盤の存在を意識する（お腹から腰、脚までの流れ）

くびれた腰はキュッと上に引っぱり上げられるような意識をもって描くと、少女と大人の間にある「かわいらしさ」を表現できます。

女の子の骨盤は広めなのが特徴。脚に向かって腰の裾（すそ）野（の）が広くなるイメージです。

《正面》

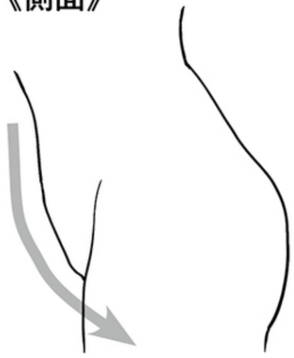


腰をかわいくアピールしたいときは、腰に手をあてる、腰を横に突き出す……などのポーズがオススメ！

チェック！

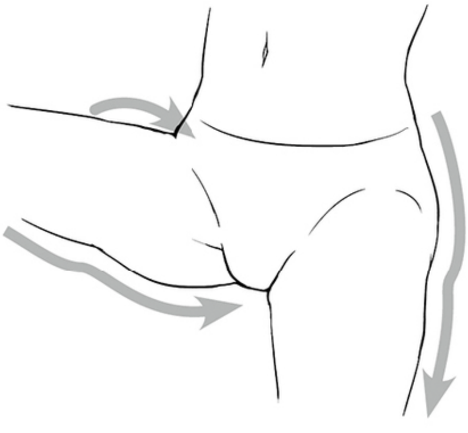
お腹と腰の境目にある段差を描かず、凹凸のない腰はＮＧです。

《側面》



下腹部が少しふくらみ、そこから股間へと流れます。

❖ 脚を上げる



隠れている部分をきちんとアタリで描いておくとわかりやすくなります。お尻の存在を意識し、なめらかな線でつなげましょう。

Cute Point

お尻へ向かう部分のプニッとした柔らかさがポイントです。

03 体の流れをとらえて描く

作例❸ 杉谷エコ

体の動きには、流れがあります。その流れをうまくとらえて描くと、動きのある魅力的な絵が描けるようになります。また、流れがつかめれば、手の動きも簡単に描けるようになります。

作例❸は、ビーチバレーで遊ぶ女の子のイラストです。大きく反る背中と、お尻の曲線が印象的なポーズになります。

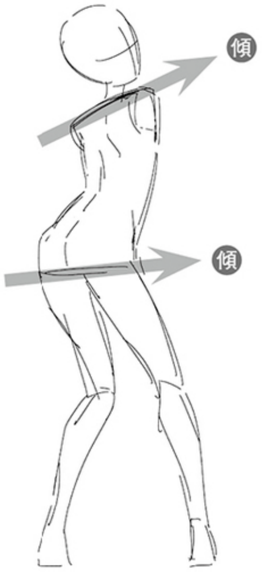
❖作例❸メイキング——体の流れ（軸）から描く

01. 体の流れ（軸）を１本の曲線に

女性的な体のラインを描きたい場合は、まず体の流れ（軸）を曲線１本で表して、大まかに頭部や体部分のアタリ線を引きます。

02. 傾きを意識しながら体を描く

体の流れ（軸）の曲線を活かしつつ、体を描いていきます。肩と腰の傾きを意識してポーズをとるのがポイントです。



03. キャラクターづけをする

大まかなポーズを先に決めたあと、女の子のキャラを考えて描いていきます。今回は活発な女の子キャラに決めました。それにともない、ポーズの調整を行います。

足の向きを、あえて内側に突っ張る形へと変えました。

04. 人体構造の確認・描き込み＋着彩のアタリ

Cute Point 女の子の性格を考え、この子がとりそうなポーズへ微調整しました。キャラの性格を見た目や行動に反映するのが、女の子をより魅力的に見せるためのポイントです。

背中はS字ラインで魅せる！（首から背中、腰までの流れ）

女の子の体は曲線がたくさんあって柔らかい印象です。その曲線をアルファベットの「S」に見立てたラインで、体の大きな流れを作っていきます。

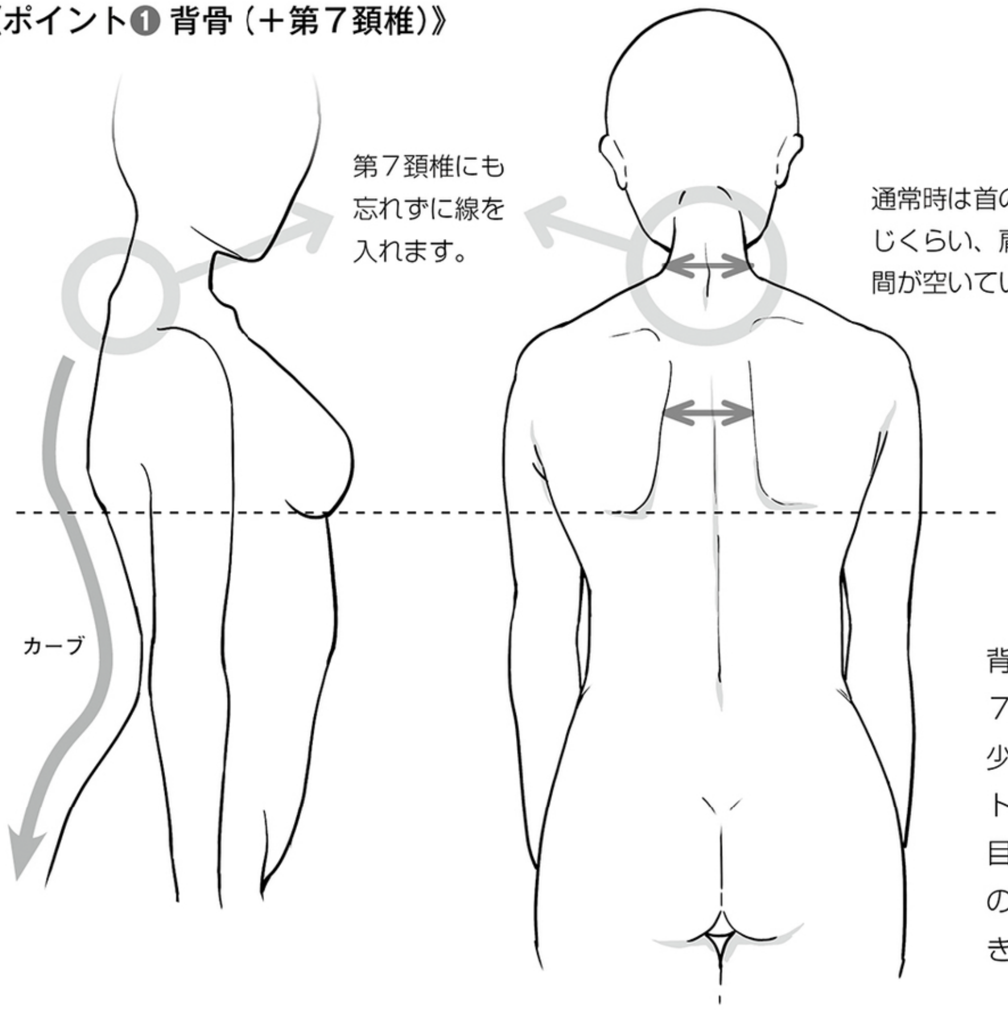
❖ 背中の基本ポイント

S字ラインの前に、まずは背中の基本ポイントを見ていきます。大きく３つに分けられます。

Cute Point
作例❸ の場合、腕を後ろに引くことでS字ラインを作りつつ（くわしくは 56 ページ参照）、肩甲骨の凹凸を強調しているのがポイントです。

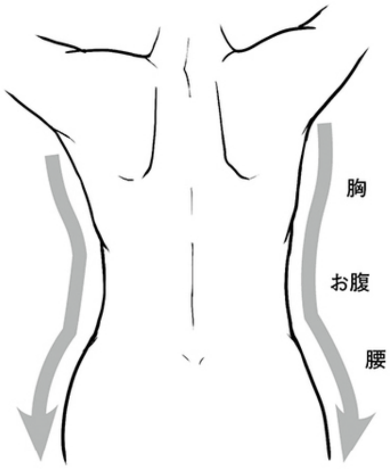
◀ 作例❸ の背面の流れ

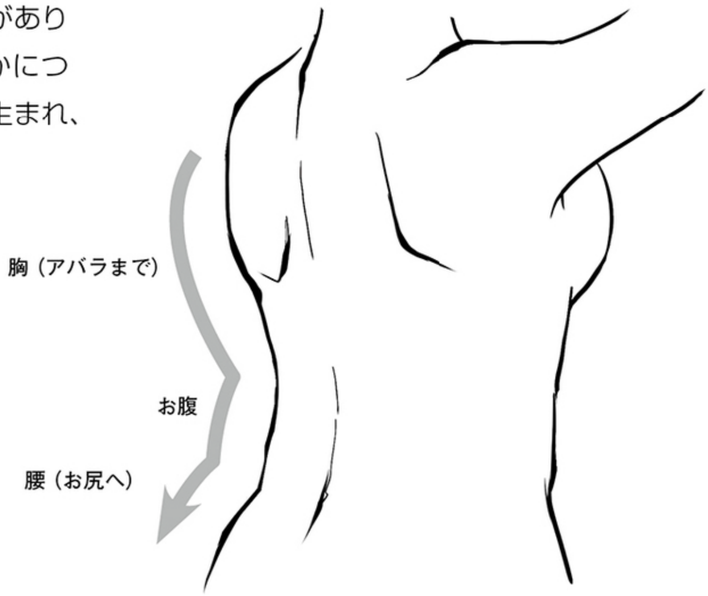
《ポイント❶ 背骨（＋第７頸椎）》



《ポイント❷ 胸・お腹・腰の凹凸》

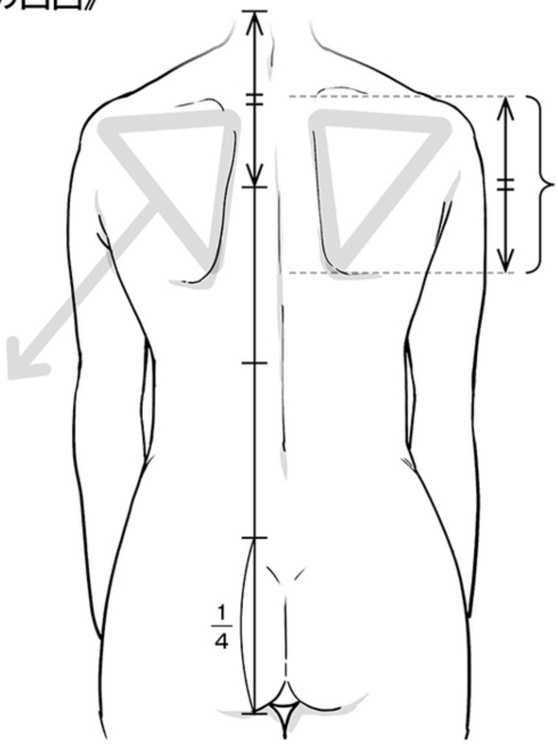
背面から見ても胸・お腹・腰の境目には段差があります（49 ページ参照）。この段差をなだらかにつなげると凹凸が曲線になり、柔らかな流れが生まれ、背中がよりなめらかなラインになります。





《ポイント❸ 肩甲骨の凹凸》

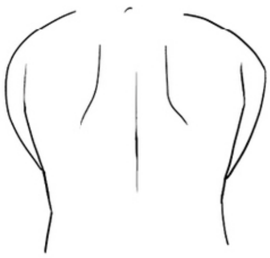
肩甲骨の骨ばった感じと、背中の柔らかな曲線のギャップが、背中をより魅力的にします。



肩甲骨の縦幅は、**首からお尻までの長さの約４分の１**になります。

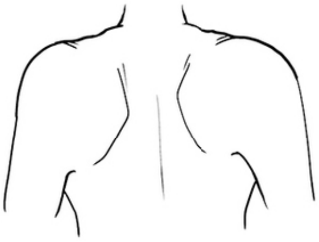
肩甲骨は逆三角形を意識して線を入れましょう。

〈背を丸めたとき〉



背を丸めると肩甲骨が外側に動き、肩甲骨の間が広くなります。

〈肩甲骨を寄せたとき〉



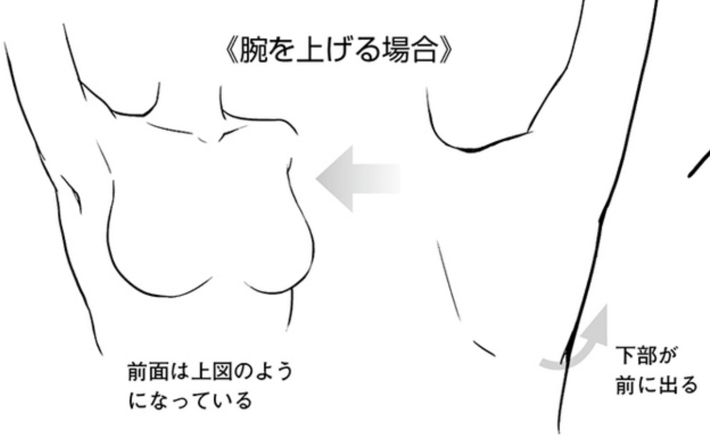
腕を後ろに引いたり背を反らしたりして肩甲骨を寄せると、肩甲骨の間がかなり狭まります。

肩甲骨がギュッと寄って、背中の溝が深くなるのがポイント！

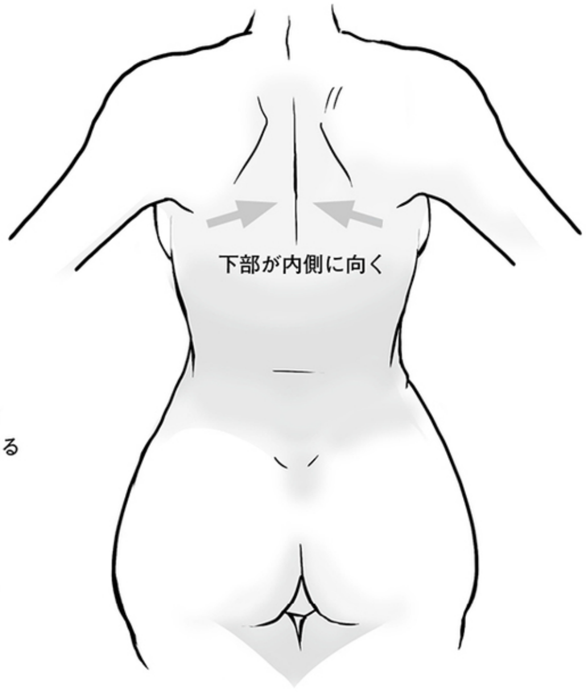
❖ 腕から肩甲骨へのつながり

ここで、腕から肩甲骨へのつながり方を見てみましょう。

《腕を上げる場合》

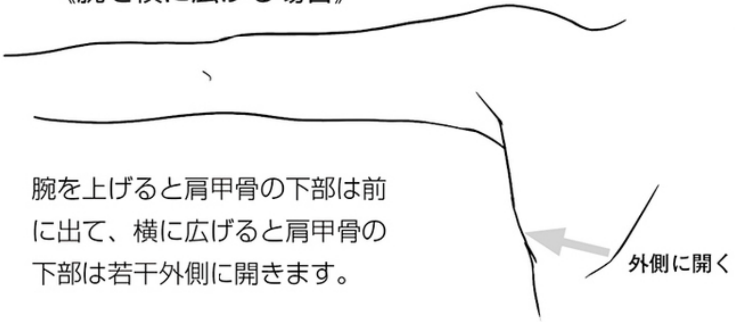


《腕を下に広げる場合》



腕を下に広げると、肩甲骨の下部は内側に向きます。

《腕を横に広げる場合》



腕を上げると肩甲骨の下部は前に出て、横に広げると肩甲骨の下部は若干外側に開きます。

しぐさ

腕を後ろに回すことで、胸を張る＆背を反らすことができます。

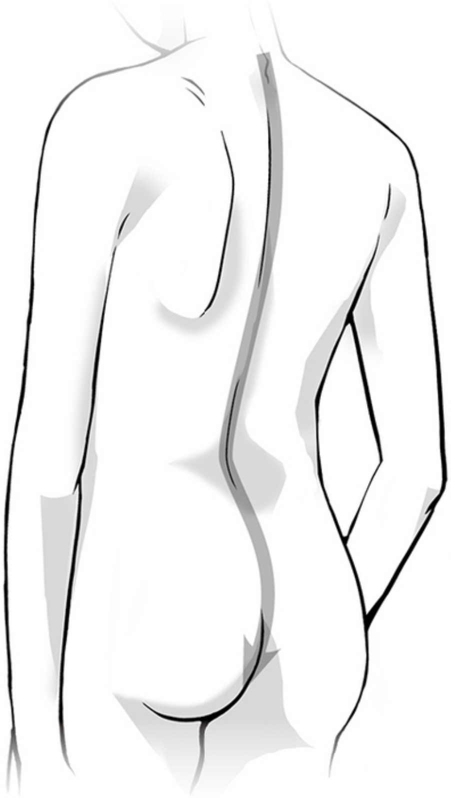
❖ S字ラインを作る

基本ポイントを押さえたら、S字ラインを作ります。背骨の正中線がS字になるようなポージングは、女性のしなやかさをよりいっそう引き出し、背中を魅力的に描けます。

Cute Point S字ラインによって深まる腰のくびれは、背中のワンポイントになります。

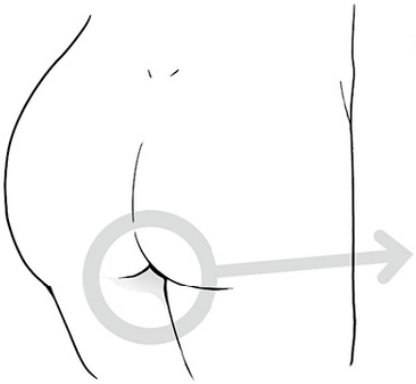
肩甲骨からヘソの真裏あたりへと凹んでいき、そこからお尻へとふくらんでいくようにＳ字のラインを作ります。

腕を後ろに引いたり腰を傾かせたりして、Ｓ字ラインが美しく見えるポーズを描きましょう。

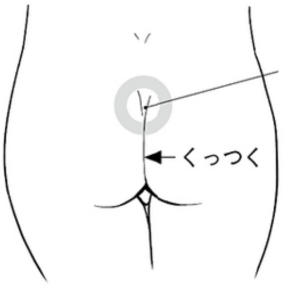


かわいいお尻には「弾力と丸み」が最重要！

お尻は脚や腰とはっきり分かれた部位ではないので、描くのが難しいところです。そこで簡単に描ける方法を説明します。

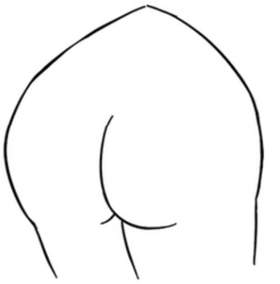


線を入れるのでなく、陰影で奥側のお尻の丸みを表現するのも◎。

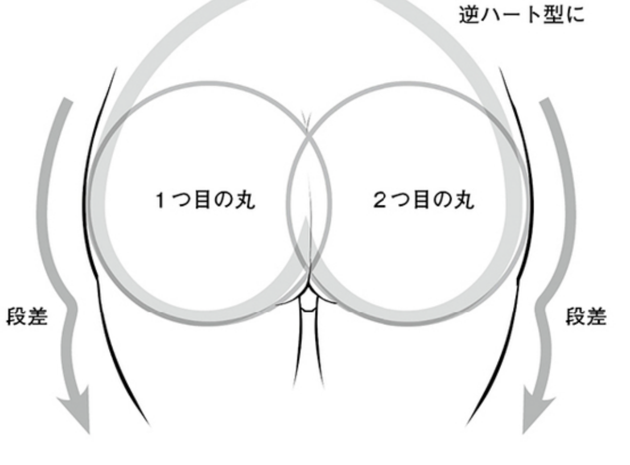


❖ お尻のよりかわいい描き方

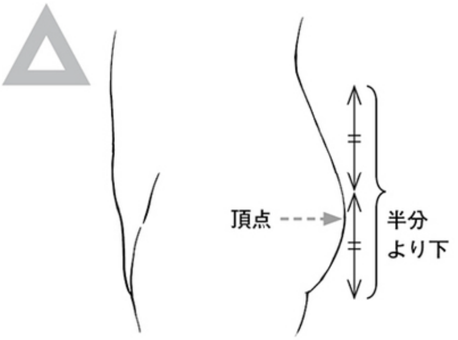
お尻を２つの丸で描き、逆ハート型を作ります。そのあと、太ももにつなげる際に段差を少し入れてお尻の丸みをわかりやすくすると、かわいさがアップします。

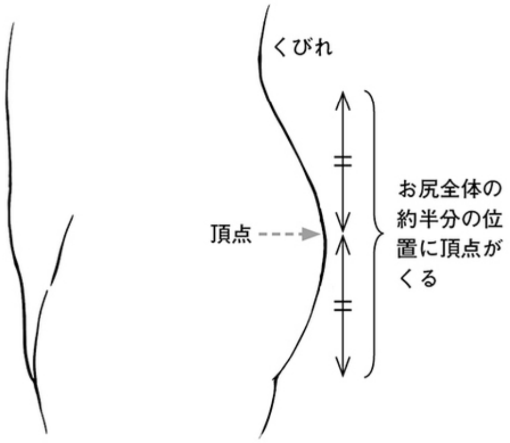


逆ハート型の桃をイメージ。



《横から見た図》

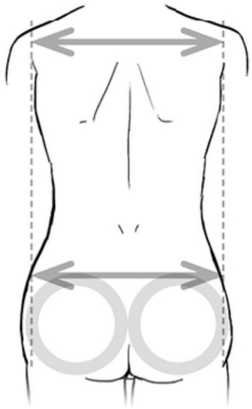




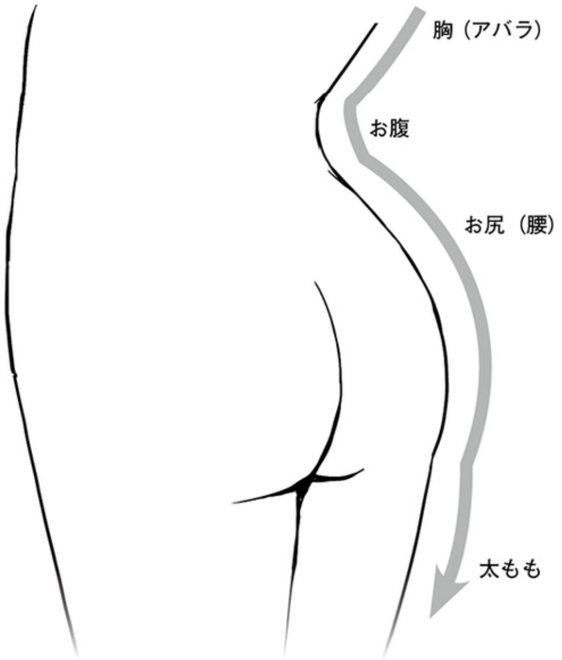
横から見ると栗のような形です。

通常のお尻は上図のように、丸みの頂点が下のほうにきますが、よりかわいくするために頂点を少し上に設定します。

チェック！



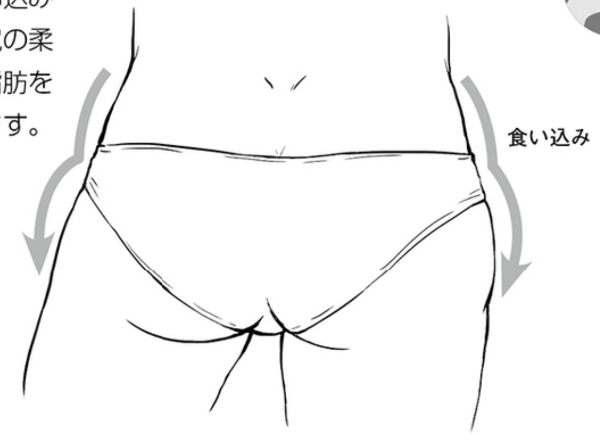
肩と腰の幅はほぼ同じです。必然的にお尻の幅も大体同じになるので、2つの丸の大きさの指標にしましょう。

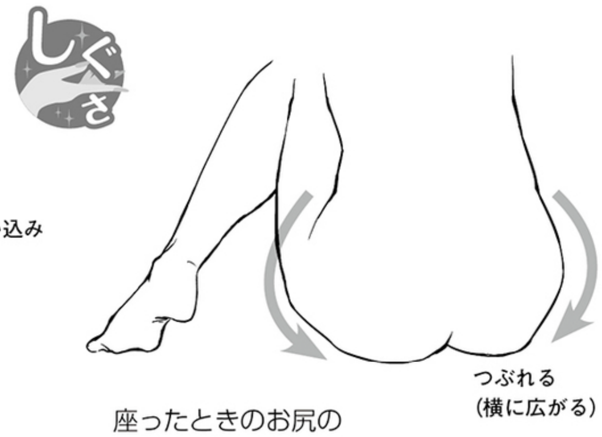


お腹からお尻、お尻から脚へとつながるラインにも段差があります。曲線になるよう、なだらかにつなげていきます。

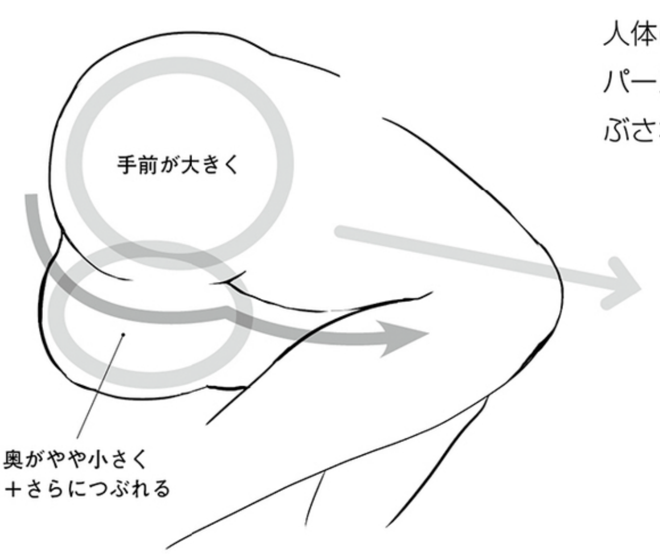
❖弾力・柔らかさを強調する

水着・下着などの食い込みで、お尻の柔らかい脂肪を表現します。





座ったときのお尻のつぶれ感はかわいいポイントです！



人体は左右対称です。しかし、パースがついたり重みで押しつぶされたりして変形します。

重力でつぶれるお尻は、丸が少しつぶれた形になります。また、太ももを曲げたことでお尻の脂肪が太ももへと流れていきます。しかし、どんなにつぶれても基本は左右対称であることがわかるように作画してください。

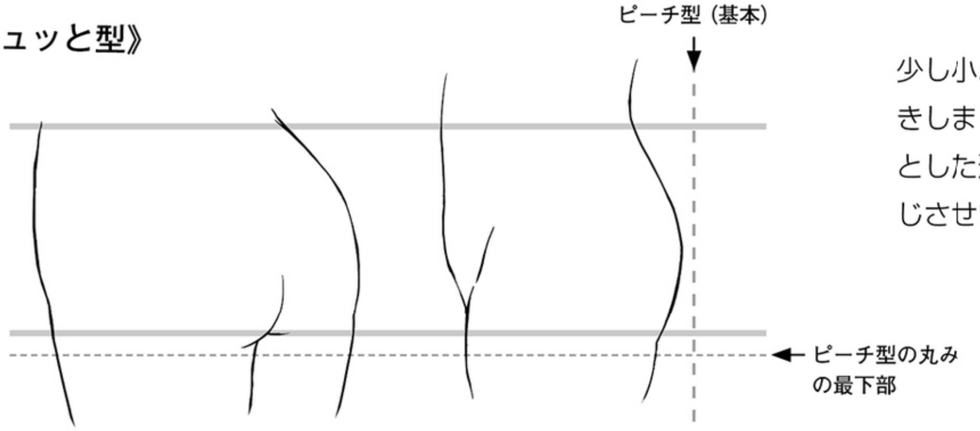
おもなかわいいお尻のタイプ

《ピーチ型（基本）》

お尻（腰）の横幅は肩幅とほぼ同じなので、お尻のボリュームは横幅でなく、おもに厚み・双丘の丸みで表現します。
好みが分かれるお尻の形の中でも、ピーチ型はベーシックなかわいい形です。ほどほどに肉づきがあります。

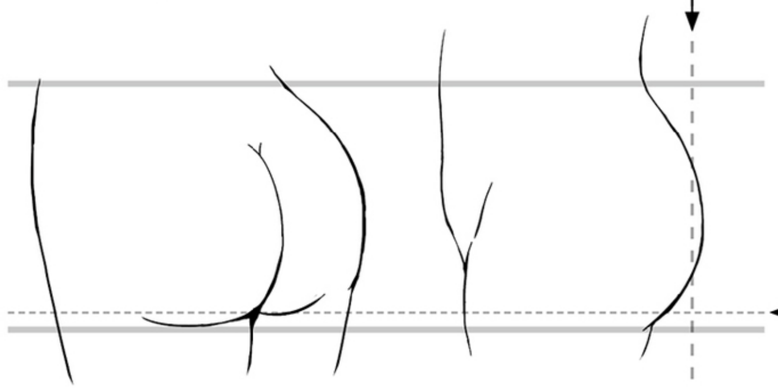
基本型などの肉づきのあるお尻は、双丘のぶつかりによって割れ目が二股に分かれます。キュッと型の小ぶりなお尻にはできません。

《キュッと型》



少し小ぶりでキュッと引きしまったお尻。プリッとした形がかわいさを感じさせます。

《まんまる型》



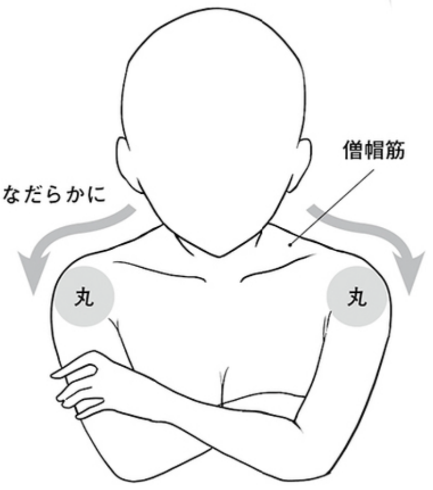
丸くて弾力がある、パツパツとしたお尻の形。ピーチ型よりもボリューム感があります。

肩はなだらか&すくめ気味に（肩・ワキについて）

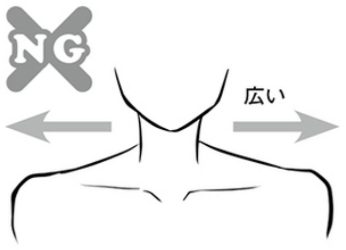
肩を若干すくめ気味に描くと、かわいらしさがアップ！　腕を肩よりも下にしているポーズを描くときに使うとよいテクニックです。

チェック！

「かわいい女の子」の肩幅は少し狭めがオススメ。頭部＋拳２個分くらいの幅がベストです。



僧帽筋はあまり盛り上げず、線を肩へなだらかにつなげます。肩のラインも丸くなだらかに、腕へとつなげましょう。

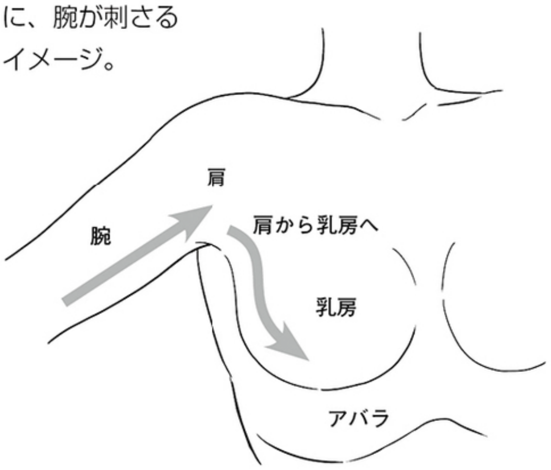


肩幅が広いと、いかつくなってしまいます。

❖ 魅惑のワキ

腕を広げたり上げたりすると見えるワキ。描くのが難しい部位ですが、魅力的に描くコツは胸と腕と肩の関係を把握することです。

乳房よりも後ろに、腕が刺さるイメージ。



腕は肩まわりの筋肉に突き刺さります。そうしてできるのがワキです。カゲを入れると、ワキがより綺麗に見えます。

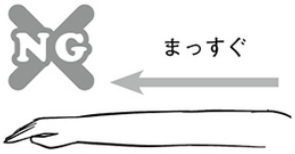
左図のように、肩がほとんど見えないようなポーズは腕や乳房から描くと形をとらえやすいです。

腕は微妙な曲線でなめらかに

腕はよく棒や円柱にたとえられがちです。そのほうが簡単には描けますが、まっすぐな腕では女の子のかわいさを表現しきれません。腕の凹凸を曲線で表し、しなやかにメリハリをつけるのが「よりかわいい」腕を描く秘訣です。

▲作例③の腕

チェック！



まっすぐに描くと、ロボットのように硬く、女の子のかわいさが感じられない腕になってしまいます。

❖ 腕のよりかわいい描き方

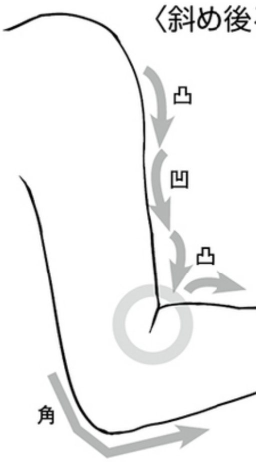
《ポイント❶ 微妙な凹凸を曲線で表現する》

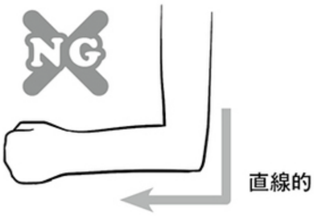
腕の微妙な凹凸を描くには、肩と上腕、前腕、手をなめらかにつなげるのがオススメです。かといって、凹凸をつけすぎると筋肉質でムキムキの腕になってしまうので加減が必要です。

〈斜め前〉

ヒジの角ばり以外は、微妙に凹凸をつけていくとよりかわいい腕に。

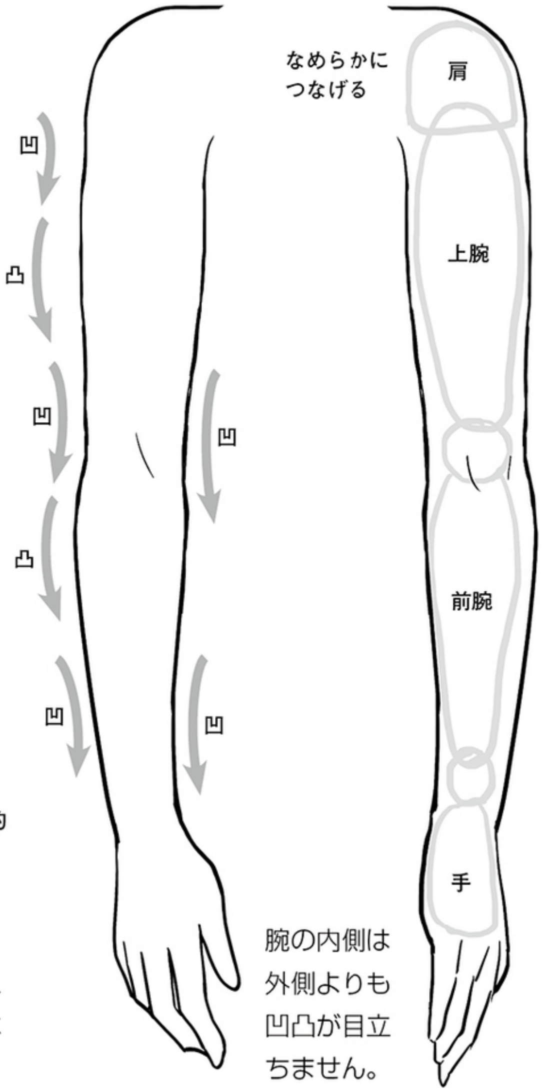
〈斜め後ろ〉



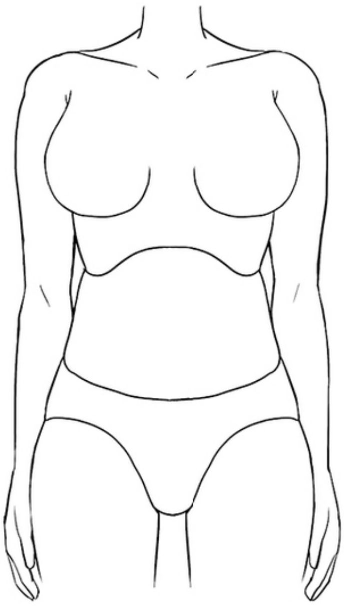


腕を曲げたとき表れるプニッと柔らかな線がポイント。

〈正面図〉　〈背面図〉



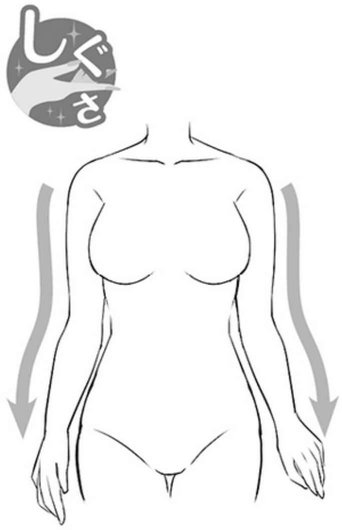
腕の内側は外側よりも凹凸が目立ちません。



肩は乳房よりも後ろにあるため、腕を普通に下ろすと乳房より後ろにきます。

〈側面図〉

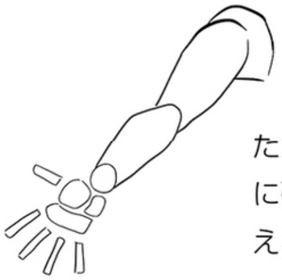
乳房よりも後ろにあります。



ヒジを胴体に寄せ、前腕を少し外側に向けるとかわいらしいポーズに。

Cute Point 腕の線は輪郭以外、あまり描き込まないように気をつけましょう。

〈腕を前に伸ばす〉

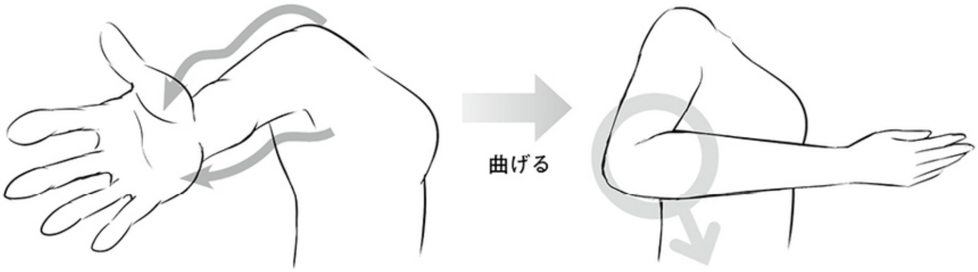


ただの棒や円柱ではなく、太さに強弱のついた図形としてとらえると描きやすくなります。

《ポイント❷ 腕につく脂肪の柔らかさ》

前腕のヒジ側、二の腕の脂肪は、女の子の腕の柔らかさを表現するうえで大切です。凹凸をなだらかに描くことは忘れずに、脂肪の柔らかさを表現します。

〈腕を横に広げる・曲げる〉

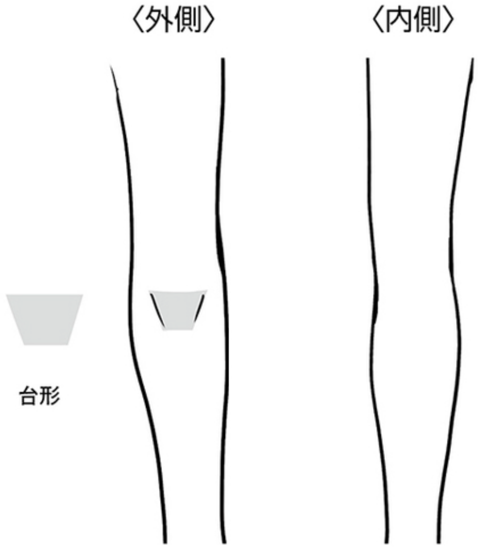


腕を曲げたときに脂肪が集まります。

頬杖をつくなどのポーズ時は、ヒジ側の前腕・二の腕が横に広がります。

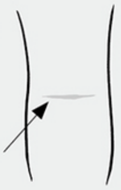
ボウリングのピンの形をイメージ。

《ポイント❸ ヒジはあまり描き込まない》



ヒジは最小限の線で表現します。ヒザと同じで描き込みすぎるとゴツゴツしてしまうためです。下辺が狭い台形をアタリとして描くと、ヒジの線がうまく描けます。

Cute Point



ヒジ裏は線を入れずにカゲで表現するか、もしくは横に1本だけ線を入れます。

脂肪が寄って線が強めに入ります。

横から見ると、あまりヒジは出っぱりません。

手——しなやかさと柔らかさの相乗効果がカギになる

大きなジェスチャーがとれて、顔だけではなく手で感情表現をすると、絵が華やかになります。

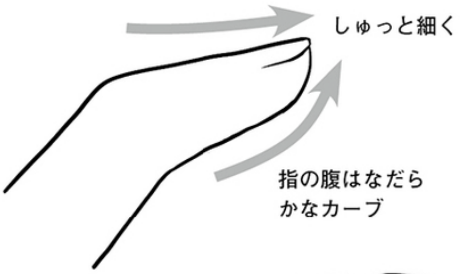
❖手のよりかわいい描き方

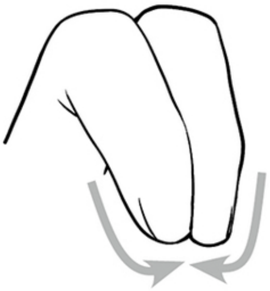
手の甲のスジや指の関節、手のひらのシワ、ツメといった部分を描き込みすぎず、適度に省略するのが基本のポイントになります。

チェック！

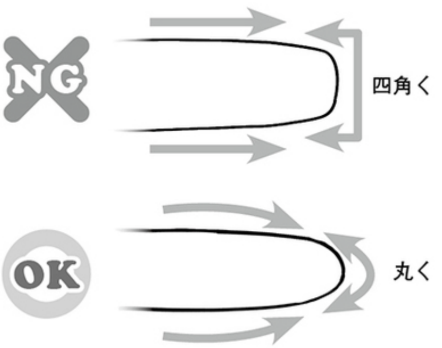
指が太く四角く、描き込みが多い手は、ゴツゴツした印象を与えてしまいます。

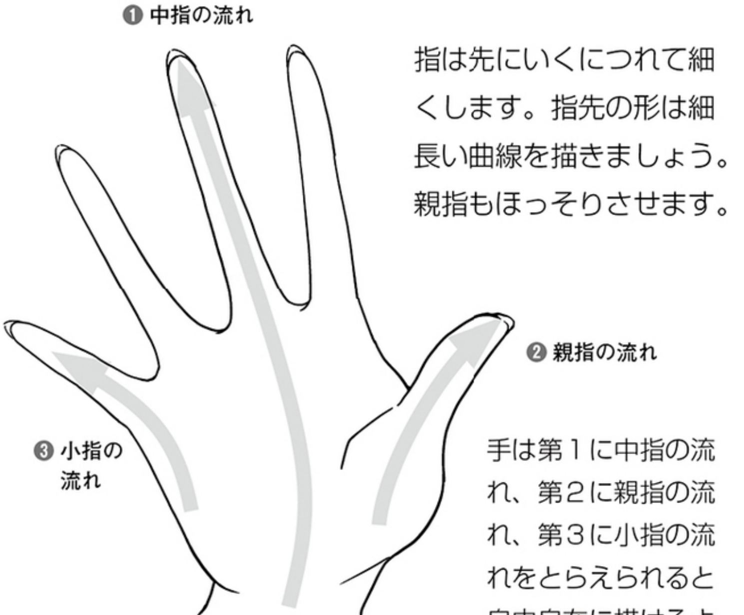
《ポイント❶ 指先は細く丸く》





ツメは簡単に描くのがポイント。





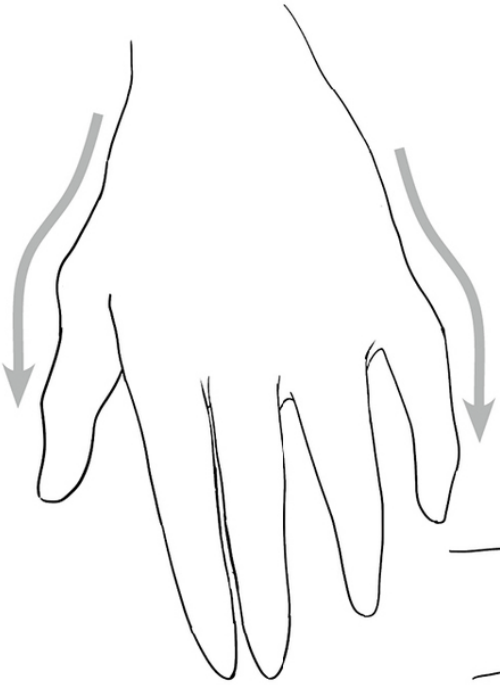
指は先にいくにつれて細くします。指先の形は細長い曲線を描きましょう。親指もほっそりさせます。

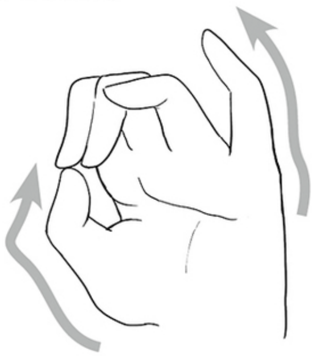
手は第１に中指の流れ、第２に親指の流れ、第３に小指の流れをとらえられると自由自在に描けるようになります。

まめ知識

人差し指が薬指よりも長いと、女性的な手だといわれています。

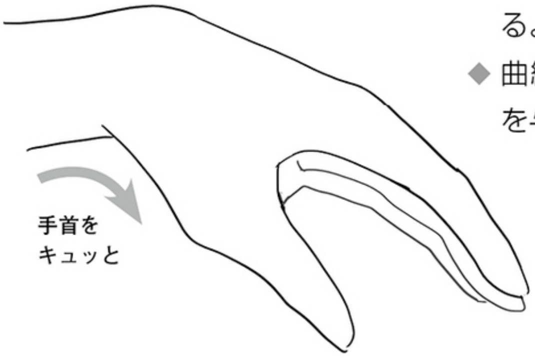
《ポイント❷ しなやかに美しい曲線で表現》





手をしなやかに、美しい曲線で表現すると、より女の子らしくなります。以下の点に注意して線を引きましょう。

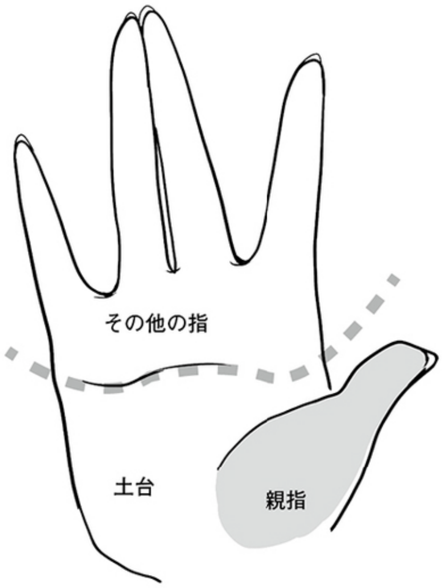
◆ すらっと細い指にする。手首もキュッと細く。
◆ 手の甲をあまり広く大きくしない（ほっそりさせる）。手のひらのふくらみはふっくらさせる。
◆ ２～３本の指をくっつける。
◆ 曲線で柔らかそうな印象を与える。



❖ 手を３つのパーツに分けて考える

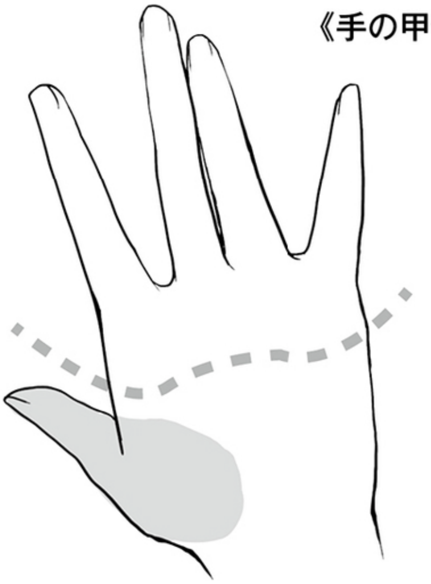
手を「親指・その他の指・土台」の３つのパーツに分けて考えて描くことで構造の複雑さを整理できます。

《手のひら側》



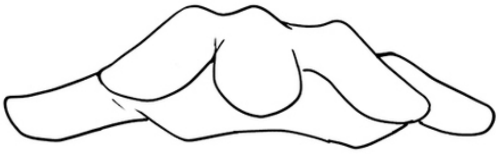
描きたい手のポーズを先にざっくり描き、親指・その他の指を描き込んだら、それをつなげるように土台を描きます。

《手の甲側》

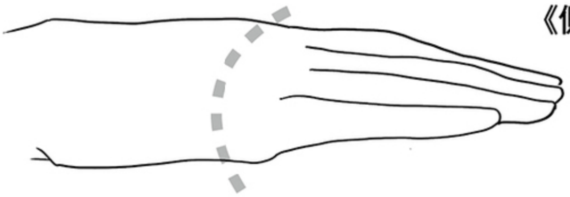


手の甲側の指のつけ根にできるスジや出っぱりは、あまり描写しすぎないほうがかわいくなります。

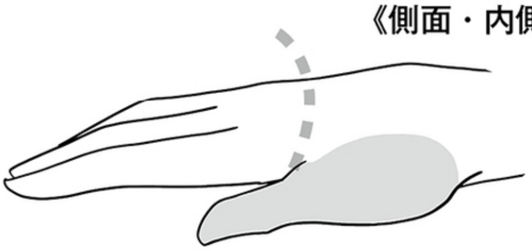
《指先側》

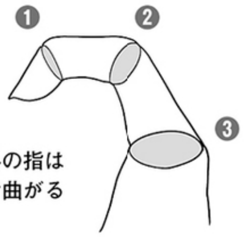


《側面・外側》



《側面・内側》





親指以外の指は
３箇所で曲がる

指はつけ根とそのほかに２つある関節で曲がります。親指だけは特殊なので要注意！

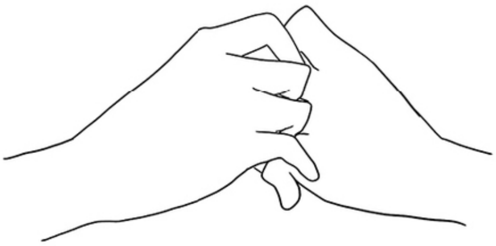
❖ かわいく見せる手の表情

以下の点を取り入れて、手の表情を工夫してみると、グッと女の子らしい手になります。

◆ 力を抜く。ギュッと握るよりも握りきっていない指のほうが◎。
◆ 手を広げるときは指を反らす。
◆ 指をばらけさせる（特に小指を別で動かす）。
◆ 手首をかえす。

《手を合わせる》

《手をモジモジさせる》



しぐさ

《物をつまむ》

手の中に空間が生まれることに注意。

《小指を立てる》

使っていない指を遊ばせると、かわいいしぐさに。

《軽く握る》

指を少し立てます。

《ほっぺをつねる》

上図のように、手をセーターに半分隠すことで小さく見せ、かわいらしさを演出します。

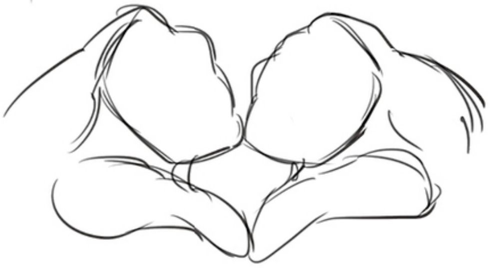
《指で口をすぼませる》

かわいらしさを優先させれば、リアルさにこだわる必要はありません。左手にわざとおぼつかない手の表情を入れて、華奢なかわいらしさを演出しています。

❖手でハートマークを作る

《こぶしハート》

01. ３つのパーツに分けて描く



手を３つのパーツ（親指・その他の指・土台）に分けて、アタリを描きます。まずはざっくり形をとればＯＫです。

02. ４本の指のアタリを入れる

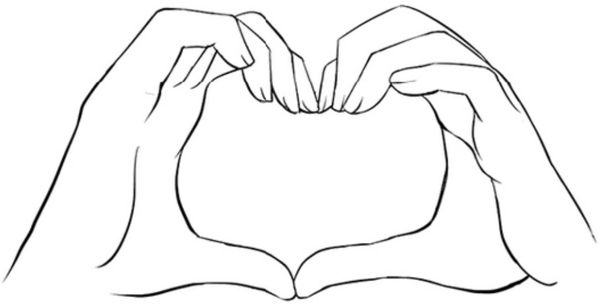
親指以外の４本指のアタリを入れます。ここでもまず形をとることが大切なので、ひとまず大まかに線を入れます。

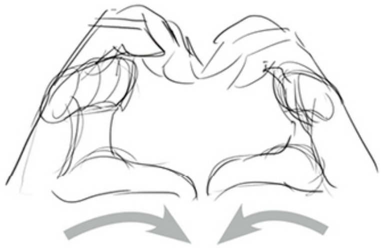
03. 手の形を整える

女性らしい手のライン・表情を意識して、形をしなやかに整えていきます。**指の曲げ具合に差**を出したり、**４本指のラインをなめらかな凹凸**にしたり、**親指のカーブを強調**したりするのがポイントです。

作例イラストは人差し指を少しだけ曲げています。これも女性らしい手のポイントです。

《親指と人差し指でハート》

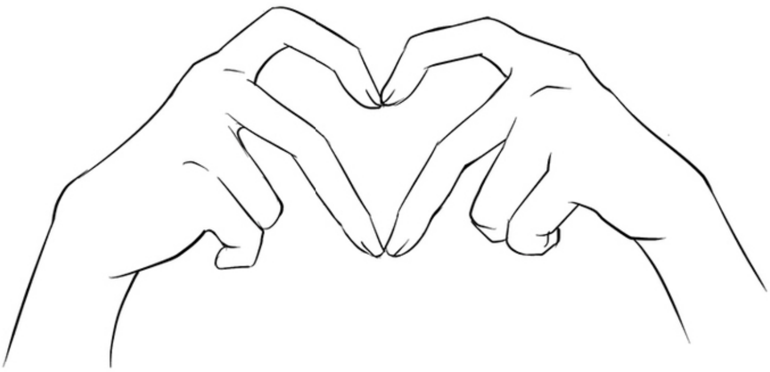




このポーズの場合は、親指と人差し指のハートをアタリでとり、そこから指を増やしたり土台を作画したりするのがオススメです。

中指・薬指・小指を広げるのもGood ！

《人差し指と中指でハート》



人差し指と中指の間の水かき部分を忘れずに作画するのがポイントです。このポーズは人差し指と中指を描いてから、４本指のつけ根のアタリを入れましょう。

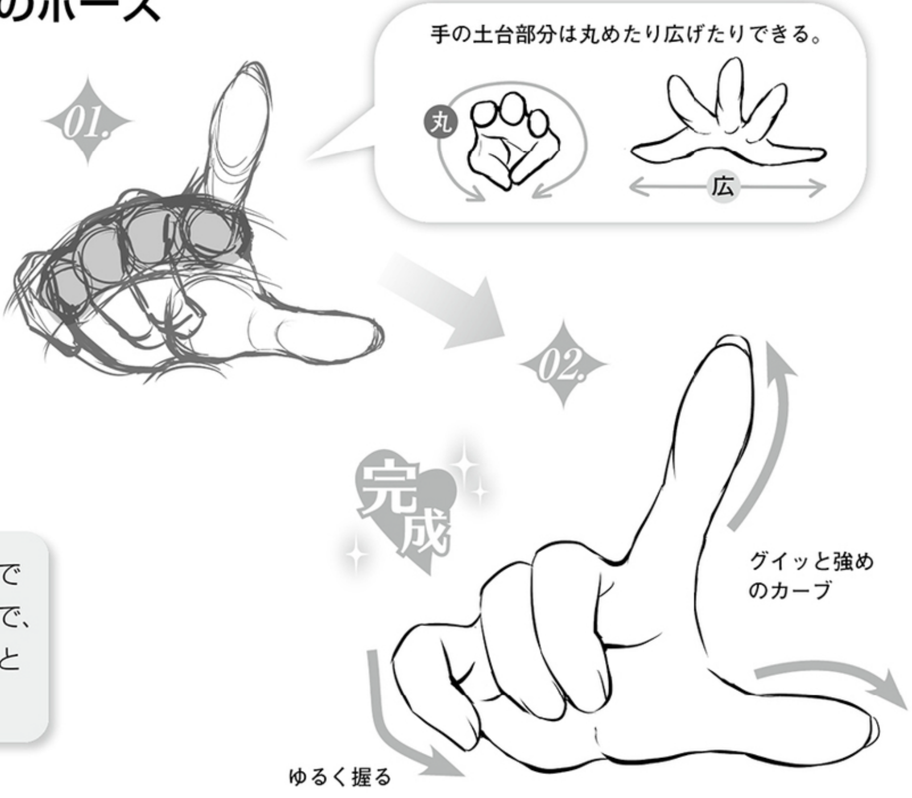
《指ハート》

拳を握るポーズのアタリをとって、親指と人差し指をクロスさせるように伸ばします。きちんと親指と人差し指の腹側どうしがぶつかるように注意。

Cute Point 手首をクイッと返すのが、よりかわいいしぐさになります。

❖いろいろな手のポーズ

《指差し》



手の土台部分がアーチ型になります。親指と人差し指を基準にして土台を描いたあと、その他の指を描き込みます。

Cute Point 小指にはそこまで力が入らないので、ゆるく握らせると形がよりよくなります。

《ガオーポーズ》

指の曲がり具合が肝(きも)になるポーズです。中途半端に曲げているので、どの関節でどのくらい曲げるかを考えながら、指を描写します。

Cute Point

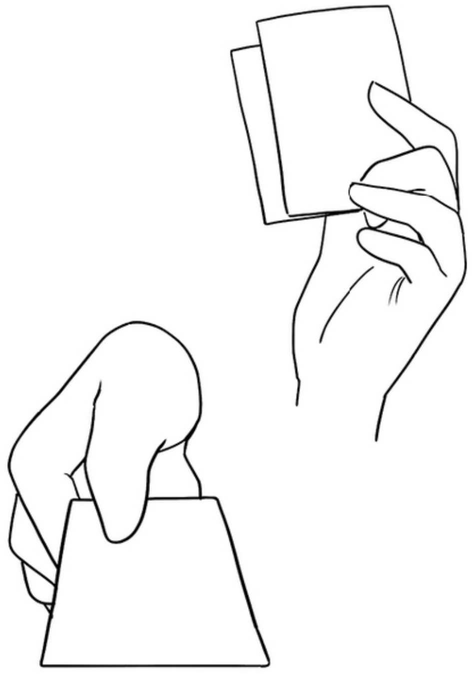
小指を少し立てて、かわいい手の表情を作りましょう。

《手を組む》

まずは奥側になる手を、ガオーポーズのように描き、そこに手前側の手の指を組み込んでいくようにすると描きやすくなります。手のひらの手首側に少しすき間ができるのがポイントです。

《カードをもつ＋差し出す》

カードのように軽いものは親指＋人差し指（＋中指）でもつのが基本です。薬指や小指はほとんどそえるだけなので、力を抜いた表現や指を別に動かすことを心がけます。



Cute Point

薬指・小指を遊ばせましょう。

❖ 手首の骨（尺骨茎状突起）を描いて「よりかわいく」！

小指側の手首付近にある出っぱりは尺骨茎状突起といいます。腕と手の境目になるポイントで、この出っぱりを描くと手首に華奢な印象を与え、女性らしく魅力的な手になります。

この出っぱりは手のひら側からまっすぐのアングルではほとんど見えません。手の甲側や少しでも斜めのアングルにすると、よく見えます。

《髪を後ろへなびかせる》

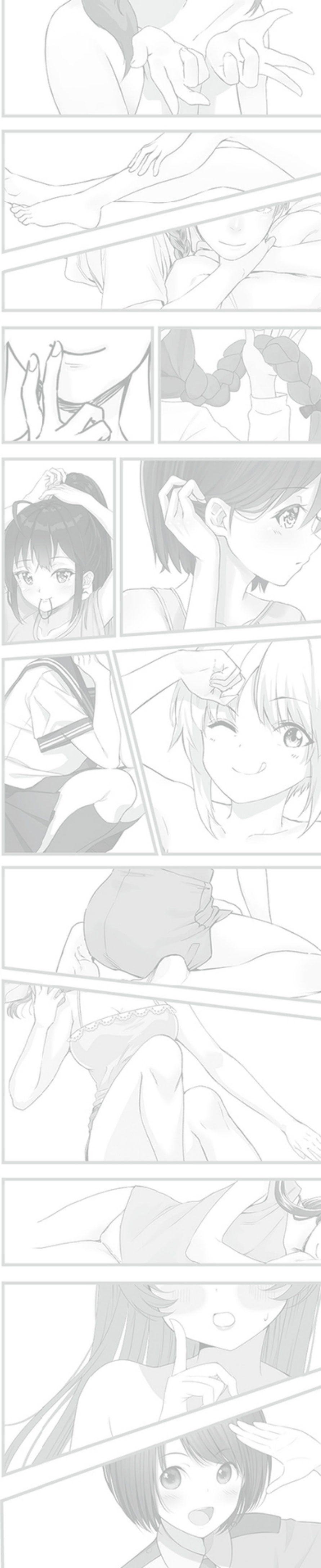
尺骨茎状突起は手と腕との境目の目印にもなります。腕・手を中心にしたしぐさを描く際に大切なポイントです。

Chapter 2

女の子の
かわいさを引き出す

表情・しぐさ

女の子をよりかわいく魅せるためには、
表情やしぐさの表現が欠かせません。
本章では、それらをひと工夫するポイントを中心に見ていきます。



04

作例④ うめ丸

より魅力的な表情・しぐさ

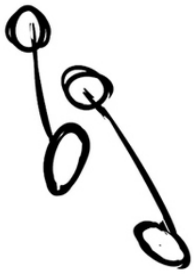
絵として、女の子をかわいく描くためには、構造の正しい「素」を描くだけではものたりません。演出された表情・しぐさを計算に入れ、そのシチュエーションを作って描きます。

作例④は、朝起きてスマホを見て驚く女の子のイラストです。表情や、太ももから足先へのラインなどがポイントになっています。

❖ 作例④メイキング――脚・足から簡略図を描く

01. 脚・足から簡略図を描く

描きたいアングルを設定して、手前側にくる足とスネ、ヒザを、簡略図で描き込みます。



02. 腰→太もも→上半身とつなげていく

腰の位置を描き込んだら、腰につながるように太ももを、腰の位置から上半身を設計します。腰を起点に、どんどん部位をつなげていくのがコツです。

03. 簡略図から立体的なアタリへ

簡略図をもとにして、立体感をつけていきます。

腰の位置は大切なので(脚や上半身をつなげていく起点になったため)、消さずに描き込みます。

04. 肉づけ＋衣装の描き込み

肉づけをして服を着せます。今回は脚・足がメインなので、ふくらはぎや太ももの柔らかな丸みを特に意識して描きます。

05. ペン入れ→着彩・仕上げ

下描きからペン入れを進めたのが右図になります。

右足の角度やスマホをもつ右手の角度、髪の広がり方を調整・修正しました。女の子をよりかわいくするために、ポーズの細部を試行錯誤しつづけることが大切です。

チェック！

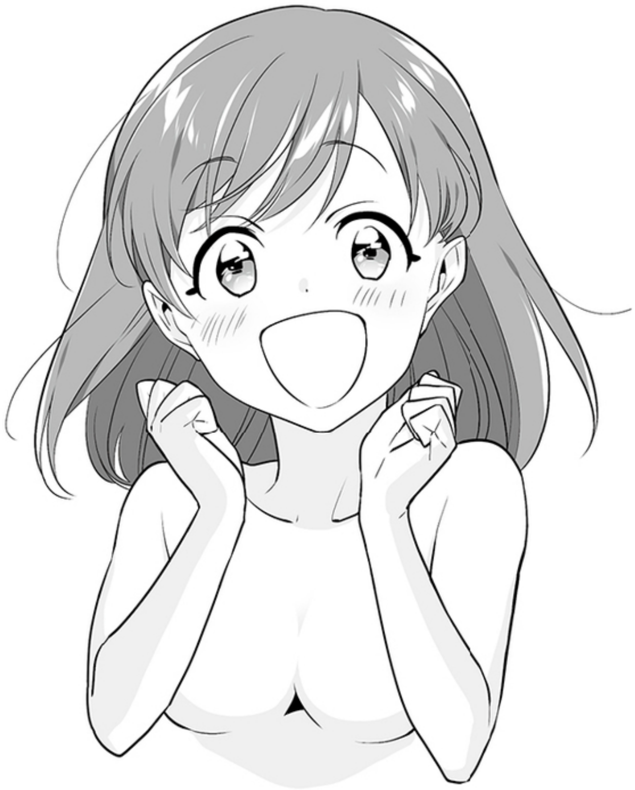
肉づけの際に左足の向きを、足首を少し伸ばす角度へ修正しました。足首からの曲線がより女性らしく見えるためです。

表情で魅せる❶ 表情の基本「喜怒哀＋驚」をかわいく！

女の子のかわいいを構成する重要要素に、「明るくハイテンション」「表情がコロコロ変わる」などがあります。漫画的デフォルメ表現を駆使し、演出する術を見ていきます。

❖ 喜びの表情

瞳を丸くして、ハイライトを多めにキラキラさせると、喜び・期待の感情をかわいく表現できます。感情をより強く出すには、髪や肩を跳ねさせるのがポイントです。

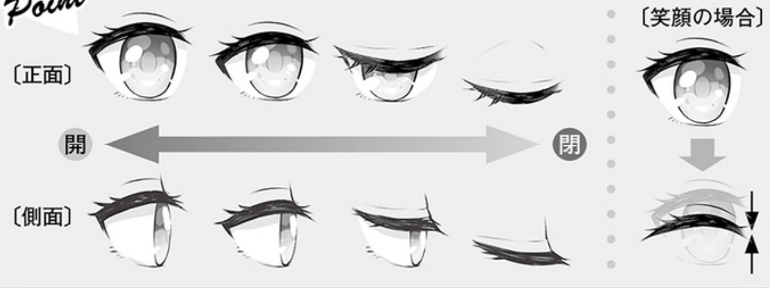


《笑う》

目尻と眉を下げると、安心しているような雰囲気の、柔らかな笑顔になります。笑顔を描く際は、そのキャラに「幸せになってほしい」と念じることで、よりよい表情を作画できるのでオススメ！

Cute Point

《目の閉じ具合で表情の幅を広げる》



目の閉じ具合を自由に描写できれば、おのずと表情の幅も広がります。また、通常は上まぶたのみが目を覆い隠すように下がりますが、笑顔の場合は**上まぶたが下がる＋下まぶたが上がる**ので、目の位置に注意！

怒りの表情

上目づかいでにらみつけるように作画しました。怒りの感情を出しながらも、女の子キャラの背の低さ・かわいさを表せる魅力的な表情です。

目と眉頭を極力近づけ、斜めに線を引いてつり上がる眉を描くのがポイントです。

悲しみ（哀）の表情

まつ毛を下向きに描くことで悲しむ表情に儚さが生まれます。瞳の下部に、涙になる前の水分を溜めているようなキラキラを描写すると、庇護欲をかきたてられる表情に。

瞳の下部にキラキラを描き込みます。

《泣く》

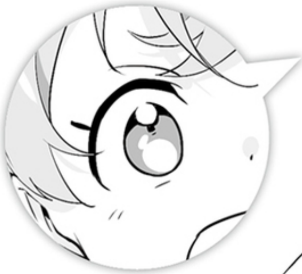
眉は八の字にグッと寄せ、瞳を最大限にうるませて、口もとの線を波状に引くのが、かわいいポイントです。

チェック！

涙を拭う手つきにはキャラクターの性格が出やすいので、自分が描きたい女の子キャラがどんなふうに拭うのか、探究して描いてみるのがよいでしょう。

❖ 驚きの表情

「驚き」は無意識に素が出てしまう感情表現です。指を中途半端に曲げると、ビビり感が出て「守りたいかわいさ」をかもし出せます。



目の瞳（中央の黒い部分）を小さく、通常よりも白目の割合を多くして、大きく見開いた目を表現します。

❖ その他のさまざまな表情

《照れる》

困ったような眉、緊張して力の入る口も「照れ」を表現していますが、人差し指をモジモジとくっつけるしぐさでよりかわいさを演出しています。

Cute Point

やや上目づかいの場合、つり目気味に描くとかわいく見えます。

《恐怖》

恐怖で見開く目、引きつる下まぶた、思わず開いた口に手をやるしぐさがポイントになっています。

《うっかりお茶目な表情》

ぺろっと舌をのぞかせ、笑顔のウインクでお茶目さを表しています。コツンとおでこに拳を当てているのも、かわいいしぐさです。

舌を少しだけのぞかせるのがポイント！　舌が大きすぎると、なまめかしい印象に……。

《いたずらな表情》

いたずらっぽい笑顔でも、目もとに嬉しそう＋優しそうな印象を与えるとかわいい表情になります。瞳にハイライトを増やし、目と眉の間を広めにとりました。

《困る》

目と眉の間を少し狭め、いじらしさを演出しています。

困り顔はやや上を見上げ、考えている印象を与えるために、目を丸く描きました。

表情で魅せる❷ 感情表現のバリエーションを増やすコツ

たとえば、同じ「喜ぶ」感情でも、その表現の仕方はさまざまです。感情表現豊かに女の子を描けるようになれば、そのぶん女の子キャラに個性を出すことができます。感情表現のバリエーションを増やして、より魅力的な女の子を描きましょう。

❖ コツ❶ 感情の大きさを設定する

1つ目のコツは、表現したい感情をどのくらいの大きさにするか、設定することです。ここでは喜ぶ表現を例に見ていきます。

一番左の図は無邪気に腕を振り上げ、全身で喜びを表現しています。腕と一緒に髪や乳房も動き、大きく口を開けているのがポイントです。

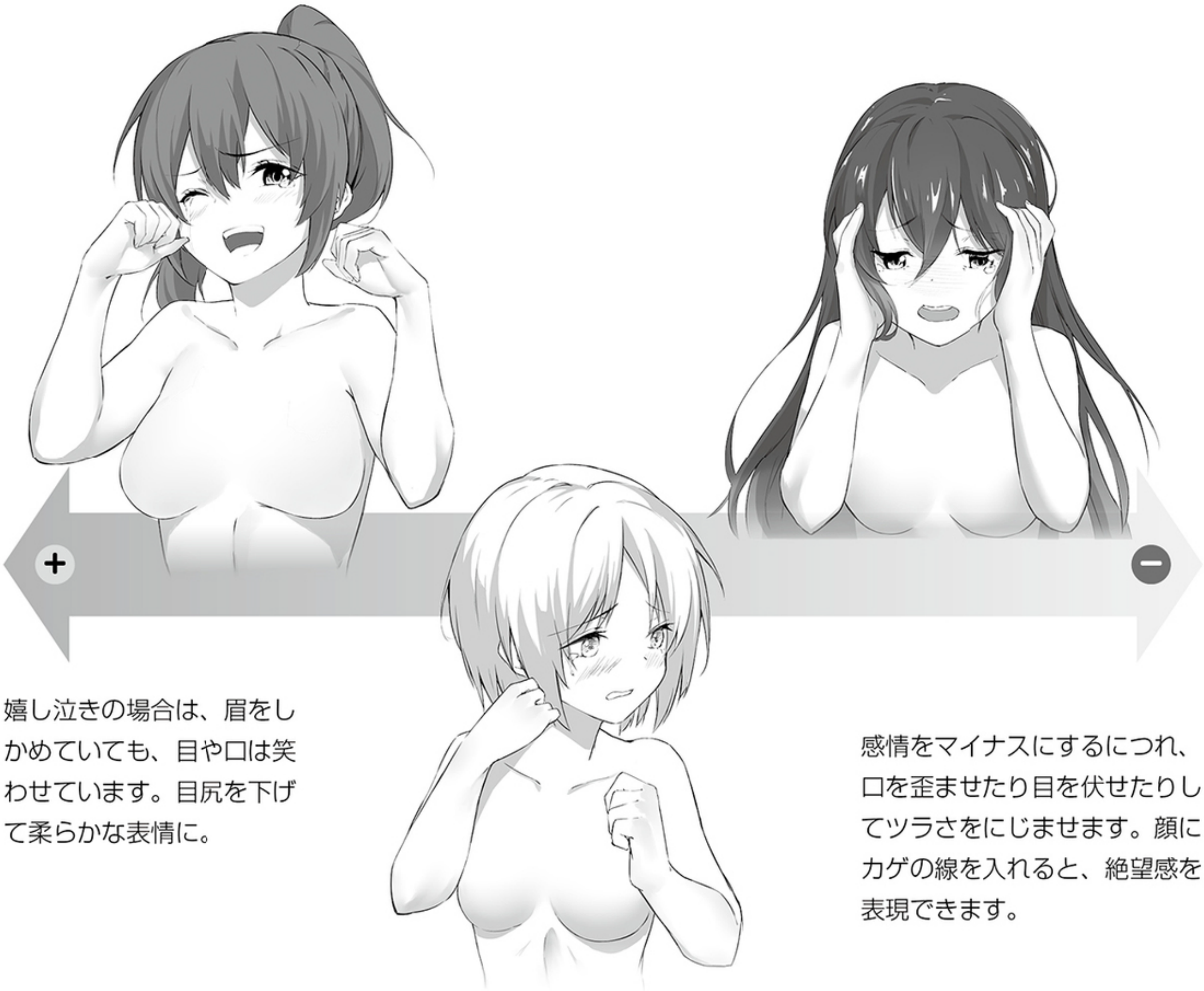
中央の図は拳をギュッと握り、髪を少し広げています。また、一番右の図は軽く拳を握り、口角を少し上げて、抑えめな喜びの表現に。

舌や歯列がハッキリと見えるまで大きく開けています。

感情が大きくなるほど、**通常時の顔とのギャップも大きく**なります。それにともなうしぐさも、**体を大きく動かす**ものへと変化します。逆に感情が小さい場合は、**動きを小さく**したり**目もと・口もとだけ変化**させるなどの**「感情を抑える」表現を取り入れる**と、うまく描写できます。

❖ コツ❷ 感情のプラスマイナスを考える

２つ目は、表現したい感情がプラスなのかマイナスなのかを考えることです。たとえば、女の子キャラが泣くところを作画したい場合、それが嬉しくて泣く（プラス）のか、それとも悲しくて泣く（マイナス）のかで、表現が違ってくるのです。



嬉し泣きの場合は、眉をしかめていても、目や口は笑わせています。目尻を下げて柔らかな表情に。

感情をマイナスにするにつれ、口を歪ませたり目を伏せたりしてツラさをにじませます。顔にカゲの線を入れると、絶望感を表現できます。

❖ コツ❸ 複数の感情を混ぜる

最後のコツは、複数の感情を混ぜて感情を複雑にすることです。人が一度に抱く感情は、必ずしもひとつではありません。

《怒り＋悲しみ》

眉を下げつつも、眉尻を少し上げることで、悲しみの中にも怒りを感じさせます。

《驚き＋困惑》

目を丸く、瞳を点で表現して驚きを、困ったように引きつる口角と、寄せた眉で困惑の表情を描きました。

両手を思わず胸の前に出すことで、より「どうしたらいいかわからない」かわいさが出ています。

❖ 欲求を表現してみよう

感情表現として、心にわき上がる人間の欲求を表現してみるのもGood！　作例では、睡眠欲や食欲、愛情を表現してみました。

《眠たい》

あくびで出る涙や、閉じた目、口もとを隠そうとする手がポイントです。

《大好き》

投げキッスで愛を振りまいています。小さく尖らせた唇や、ニッコリ笑う目がかわいい表現。

《お腹ペコペコ》

目にキラキラしたダイヤを、口にはわずかによだれを垂らし、今にも食べたい感情をコミカルに描きました。

よりかわいいしぐさ❶ 髪にまつわるしぐさ

髪の毛に手をそえるしぐさは、女の子の定番のしぐさです。「丁寧に」または、「ぞんざいに」「うるさげに」するしぐさの瞬間をとらえて、演出を加えます。

❖髪をむすぶ

髪をなでつける手やまとめる手に表情をつけることで、しぐさのかわいさをアップします。力を入れない指（特に小指）を描き加えましょう。

ヘアゴムを口にくわえると、より女の子らしいしぐさに。

うなじや髪の生えぎわが見えるアングルで描くのも◎。

❖髪をほどく

ヘアゴムをすべらせる手の中指から小指の、ゆるめ加減に注目。パラパラほどけかけている髪の広がりもポイントです。

❖ 髪を耳にかける

髪を耳にかけるしぐさは王道のかわいいしぐさです。よりかわいく魅せるためには、**手の表情**と**あらわになる耳**、その付近の**髪のたるみ・生えぎわ**が大切です。

《前から》

少しだけ見える髪の生えぎわにドキッ！

《横から》

ばらけた指の動きがポイントです。

《腕を交差する》

腕を交差させて、手と反対側の耳に髪をかけることで、しなやかな腕の曲線美をさりげなく見せることができ、より女の子らしいしぐさに感じさせるのです。

浮き出る尺骨茎状突起が、腕をより魅力的にしています。

耳にかかりきっていない髪が顔にかかります。

❖ 髪をかき上げる

男っぽくなりがちなしぐさでも、手首を返す・手に表情をつける・髪の生えぎわを見せすぎない（チラ見せにする）などの工夫をすれば、よりかわいく魅せることができます。

胸もとに置いた手が女の子らしさをアップしています。

❖ 髪をもてあそぶ

長い髪をもてあました女の子が、自分の髪をもって遊ぶしぐさは、無邪気さやお茶目なかわいさを感じさせます。

軽く握り、小指をピンと立てています。

よりかわいいしぐさ❷ 手が中心のしぐさ

しぐさの基本は「顔」と「手」。さまざまな組み合わせを試して、絵になるしぐさを導き出しましょう。

ムニっと手に押しつぶされるほっぺが、かわいいポイント。

❖ 頬杖をつく

《片手でつく》

暇をもてあましている女の子キャラに似合うしぐさです。小指側の手のひらの柔らかなふくらみを忘れずに描きます。

《両手でつく》

前ページと違い、両手で頬杖をついた女の子の作例です。両手が前に出るので前傾姿勢になり、乳房のふくらみが少し強調されます。

指を軽く曲げたままで頬杖をつくのが、より女性らしいしぐさに。

手のすき間からもれた一筋の髪を描くと、さりげないワンポイントになります。

❖ 考えるポーズ

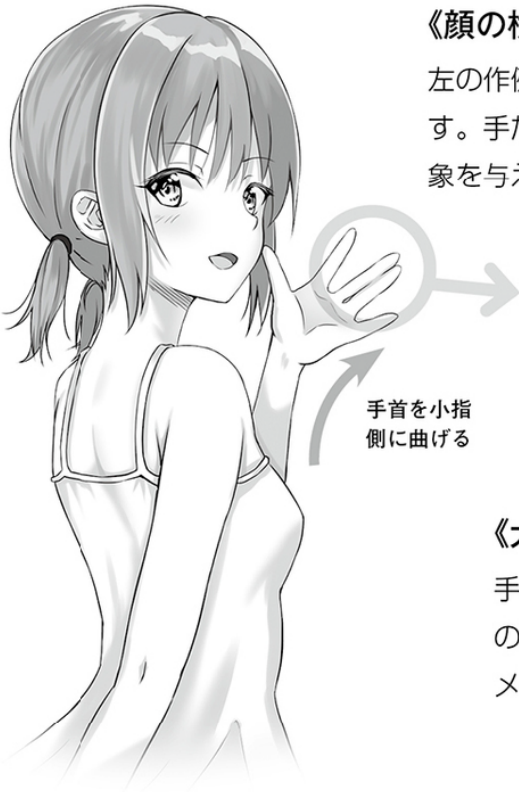
アゴの近くに手を置き、小首をかしげるポースです。あまり首を曲げすぎるのはＮＧ。角度は１０～20°くらいを目安にして曲げるのが、よりかわいく魅せるポイントです。

薬指を微妙に反らし、女の子のしなやかな指にします。

❖ 手を振る

《小さく手を振る》

前かがみの体勢で手を開ききらずに小指を曲げ、ひかえめ感を演出します。



《顔の横で手を振る》

左の作例は、振り向きざまに顔の横で手を振る女の子です。手だけでなくおのずと顔に注目がいき、かわいい印象を与えます。

中指と薬指をくっつけて描き、女性的な手にしましょう。

《大きく手を振る》

手を上げて大きく振る場合、本来のヒジ関節とは逆方向に曲げるイメージで描きます。

気づき！

腕は外側に向かって、カーブを描かせるのがポイント！

❖頭上で手を組む

71 ページの「手を組む」を応用して、指の半分くらいまでを組ませています。描き方は同じように、奥側の手から描いていきます。腕を上げているためチラ見える二の腕やお腹が、このポーズを引き立てます。

❖ 女の子の敬礼風ポーズ

おでこに４本指、鼻のあたりに親指がくるくらいに手を開きます。手のひらを見せてはいけない本当の敬礼とは異なります。よりかわいく描くポーズとして参考にしてください。

反らし気味に描いた手の指が、このポーズをよりかわいく見せます。

❖ うさ耳ポーズ

頭の上でなく、顔の横あたりに手をつけます。こうすると曲がったヒジまわりの脂肪が広がり、腕の柔らかさが強調できます。

❖ 手で口を隠す

恥じらいのしぐさでかわいらしさをアップ！　ワキを締めて、腕を内側へ向けます。

Cute Point 腕・手や脚・足などを体の中心へと向けることで、しぐさの印象が女の子らしくなります。

両手で隠すと息を飲むような表現ができます。

❖ 口もとに指をそえる

唇の中心に指先を向けると、あざとくなってしまうので、あえて少しずらした方向へ向けるのがポイントです。それ以外の指は軽く曲げ、ばらけさせましょう。

２本指をそえるのも◎。一番ぷっくりする唇の中央が見えるよう描くと、唇のつやをアピールできます。

❖ 口に人差し指をあてる（内緒ポーズ）

よく描かれる人気のポーズです。ポイントは、親指と人差し指を反らすこと、その他の指を軽く曲げることです。小指側の手のひらのふくらみを見せると、手の柔らかさを印象づけられます。

２本の指でバツを作り、いたずらな表情の女の子キャラにするのも Good！

❖口もとに手をあてるポーズ

手を開いて指のすき間から口を見せたり、手首を返して握り拳をアゴにあてたりして、上品かつ女の子らしいしぐさにしましょう。

《手を開く》

《拳を握る》

拳に力を入れすぎると、完全なぶりっ子ポーズになってしまうので、指を軽く立てて描きます。

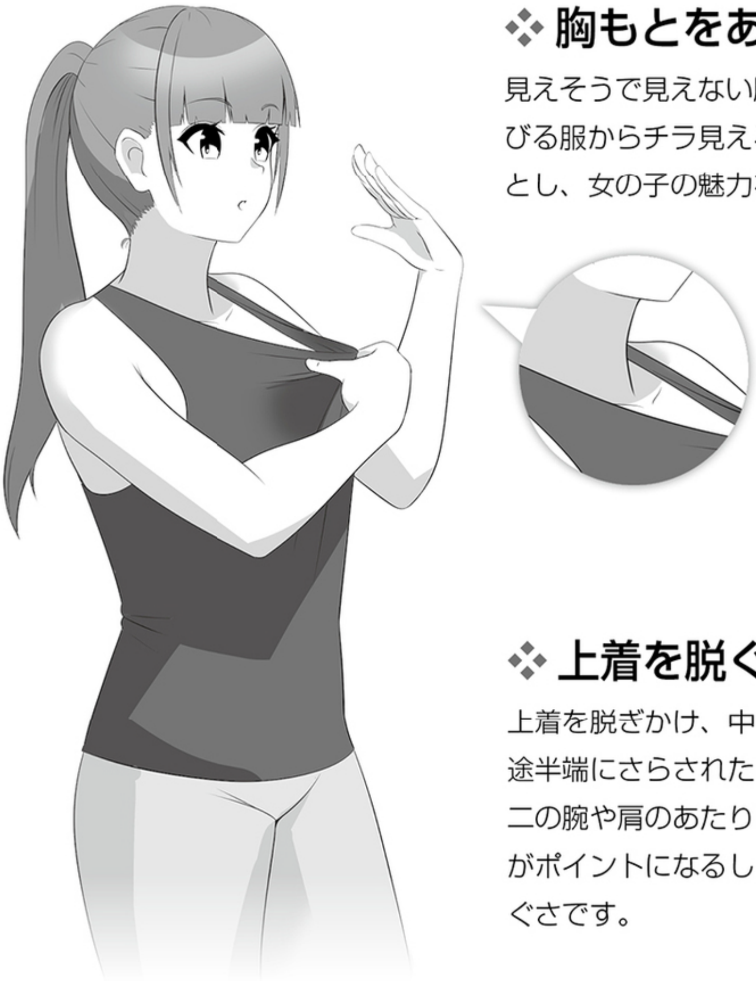
指同士にすき間を空けるのが、拳をゆるく握らせるコツです。

よりかわいいしぐさ❸ 季節にまつわるしぐさ

キャラにまつわる絵のテーマを選択するうえで、キャラのおかれている状況や場面、さらには季節なども要素のひとつです。

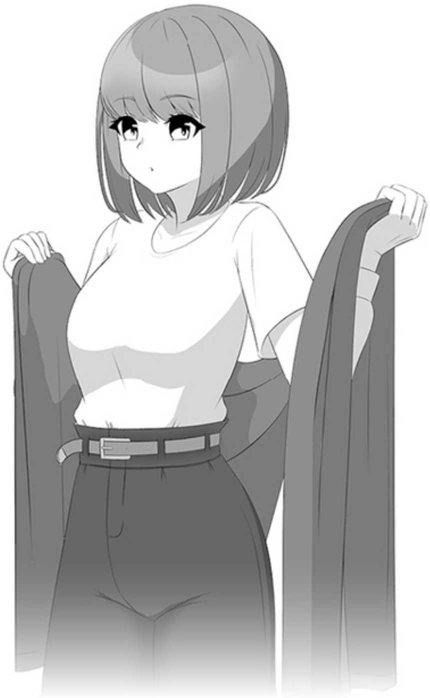
❖タオルで汗を拭う（頬ずり）

タオルをあてている側の目を気持ちよさそうに細めました。タオルをもつ手は優しくつかむように指を軽く曲げます。薬指と小指だけくっつけるのがポイントです。



❖ 胸もとをあおぐ

見えそうで見えない胸もとと、引っぱられて伸びる服からチラ見えるデコルテラインがドキッとし、女の子の魅力を助長します。



❖ 上着を脱ぐ

上着を脱ぎかけ、中途半端にさらされた二の腕や肩のあたりがポイントになるしぐさです。

Cute Point

ちょこんと押さえる手が健気でかわいらしく見えます。

❖ 手に息を吹きかける

かじかんだ指先を温めようと息を吹きかける作例です。

口もとへ近づけた両手のひらをつけず、指先を合わせて空間を作ることで、ふんわり優しい印象にします。

作例❺ Hiroe

05 しぐさ・動作をよりかわいく

ここまで紹介してきたしぐさは、「よりかわいく」描くためのテクニックにすぎません。構造の「気づき」としぐさの「気づき」をヒントに、よりかわいい絵の描写にチャレンジしてみてください。次の章でもさらなる「気づき」を提示していきます。

作例❺は、カーディガンを羽織った制服姿の女の子が体育座りをしているイラストです。

❖ 作例❺メイキング――顔から描く

01. 輪郭から顔を描いていく

輪郭は頬の丸みを、柔らかくおいしそうに、ふっくらさせて描きます。目は人物を描くうえで重要なパーツなので、少しでも魅力的になるよう注力します。

02. 髪の毛を描く

髪の毛はつむじの位置を決めて、そこから流れるように描いていきます。

03. 全身の線を入れていく

髪を描いたら全身を作画します。上図で薄く見える下描きの間違いを正すように、ペン入れを進めていくのが大切です。

チェック！

完成間近まで進めたら、1日ほど放置すると客観的に絵が見られ、抜けている部分が見えてきます。完成度を上げたい場合にオススメです。

04. 着彩・仕上げ作業

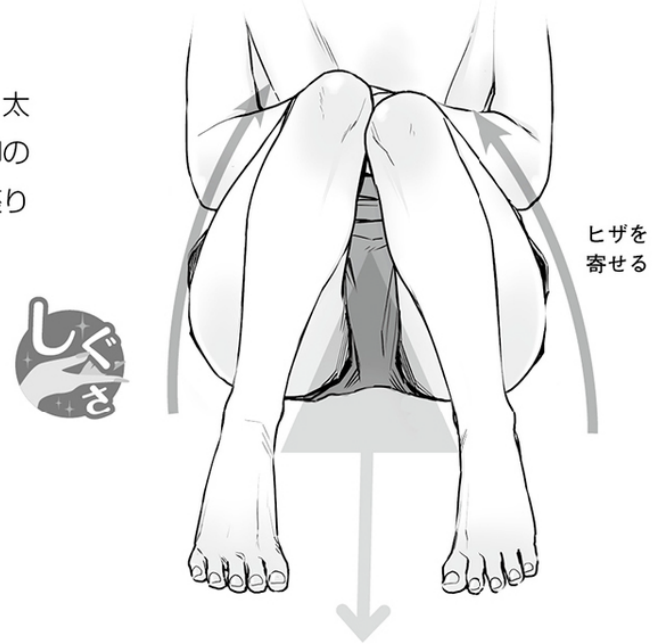
グレーの濃度と全体のバランスを考えて着彩します。加筆修正をし、ハイライトなどを加えたら完成（前ページ図を参照）です。

しぐさ・動作をよりかわいく❶ 座る

女の子を描く場合、立ち居振る舞いの中にも、もちろんよりかわいくする演出があります。

❖ 体育座り

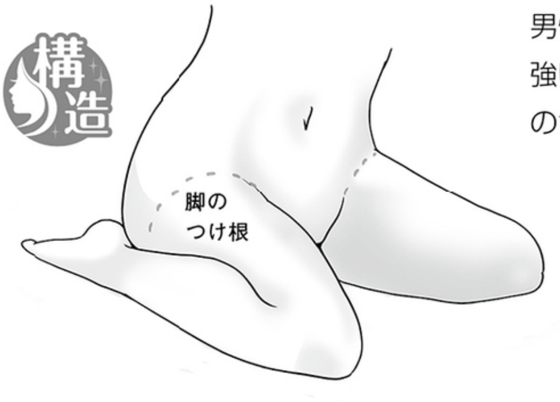
ヒザを抱えたりくっつけたりする体育座りは、太ももからお尻にかけての丸み・柔らかさや、脚のすき間からのぞく股間によってドキッとする座り方です。



脚を曲げることでできる三角形のすき間から、股間が見えます。

Cute Point 女の子が座るポーズを描く場合は、どんな座り方でも**内股を意識**して描きましょう。それだけで格段に女の子らしくなります。

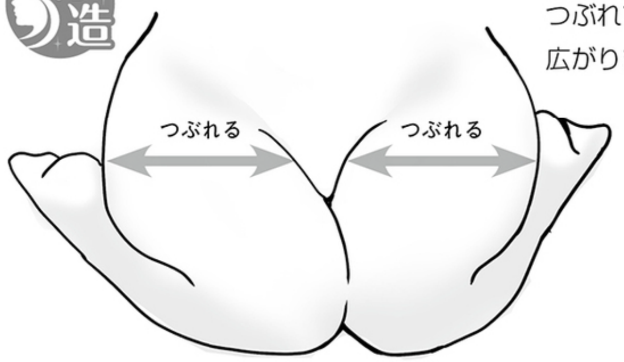
❖ 女の子座り（割座）



男性にはとりづらい体勢なので、女性らしい印象が強い座り方です。先に腰を描き、そこからお尻→脚のつけ根→太もも……と足先まで描き進めます。

脚のつけ根の位置をアタリで入れると形をとりやすくなります。

《正面》



太ももは床でつぶれて横に広がります。

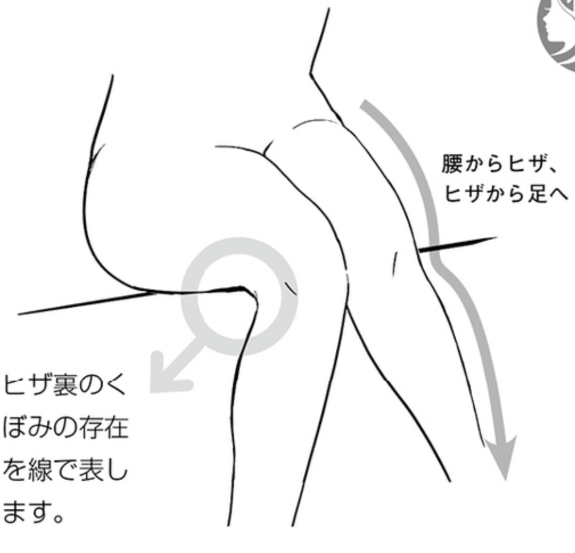
女の子座りを背面で描く場合、S字ライン（56ページ参照）を作ると、より女の子らしくかわいい座り方になります。

太ももとぶつかって押しつぶされる、ふくらはぎの曲線を描きます。

無防備な足の裏が庇護欲をくすぐります。

❖ 椅子などに座る

まず腰を描いたら、次はヒザの位置を決め、腰からつなげるように太ももの線を描き入れましょう。



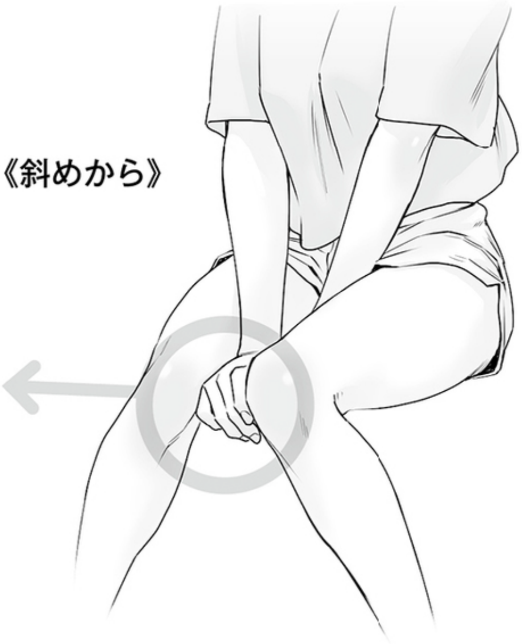
ヒザ裏のくぼみの存在を線で表します。

《片脚を上げる》

上げた太ももの曲線・チラリズム感が◎。

ヒザを寄せつつ、その間に手を入れるしぐさは、自然と乳房が寄せられます。肩が内側へ入り、腕・手が体の中心へと向かう、女の子らしい体勢です。

《斜めから》



ヒザの間から、ちょこんとのぞく手がかわいらしさを増しています。

しぐさ

《前から》

足先をさらに内側へ向け、スネから足先へカーブさせます。

構造

腕を先に描くと股間付近が隠れて描きにくいため、体幹と脚を描いてから腕を描きましょう。

Cute Point

ヒザの間に入れた手に表情をつけると、さらにかわいく！

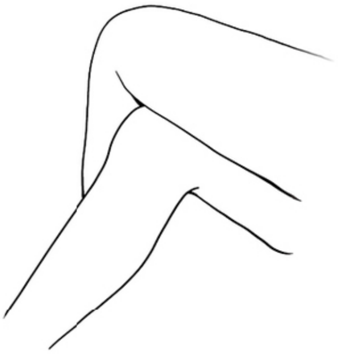
❖ 脚を組んで座る

脚を組むポーズはエレガントな印象を与えます。太ももの柔らかな曲線美や、ヒザ下から足の甲までのすらっとしたラインが特徴です。

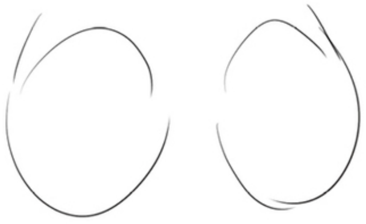
脚をクロスさせるのもGood！

お互いにぶつかり合ってつぶれる、柔らかそうな脚がかわいいポイント。

《横から》

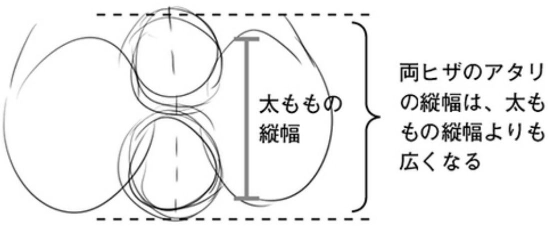


01. 太もものつけ根のアタリを入れる



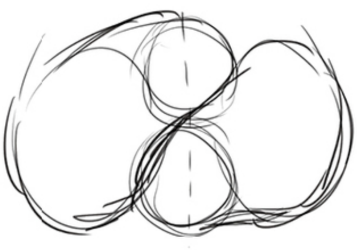
腰を描き、太もものつけ根の位置のアタリを丸で入れます。

02. その中間にヒザのアタリを入れる



両太ももの間に縦に2つ、ヒザのアタリを入れます。

03. 太ももからヒザへと線をつなげる



柔らかくつぶれる脂肪をイメージしながら、曲線で太ももからヒザのラインをつなげます。

04. ヒザから先を描いていく

❖ 脚を伸ばして座る

ただ脚を投げ出すのではなく、片脚を曲げて曲線を生み出すのがポイントです。

脚にそわせた手のしなやかなラインが、脚のラインをより強調しています。

脚を投げ出すポーズでも、手を脚の間へ入れ、足先を内側へ向けるだけで女の子らしさがグッと上がります。

❖ 座りながら足を浮かせる

実際このポーズをとるのは難しい（イラストならではのポーズ）ですが、作例では右足を浮かせる代わりに、左足と左腕に体重をかけてバランスをとっています。

Cute Point 足を浮かせながらも、内股に描くことを忘れないようにしましょう。

しぐさ・動作をよりかわいく❷ 寝る

アングルによっては極端にパースがついてしまい、形をとるだけで難しいポーズです。そのうえでよりかわいく演出できるポイントを探っていきましょう。

❖ あお向け

作例❹ の女の子です。寝るポーズは、体と地面の角度を合わせて描くのが大切です。この作例は頭部を枕にのせているので、頭部と体で角度を少し変えています。

広がる長い髪が寝姿をより女の子らしく魅せます。

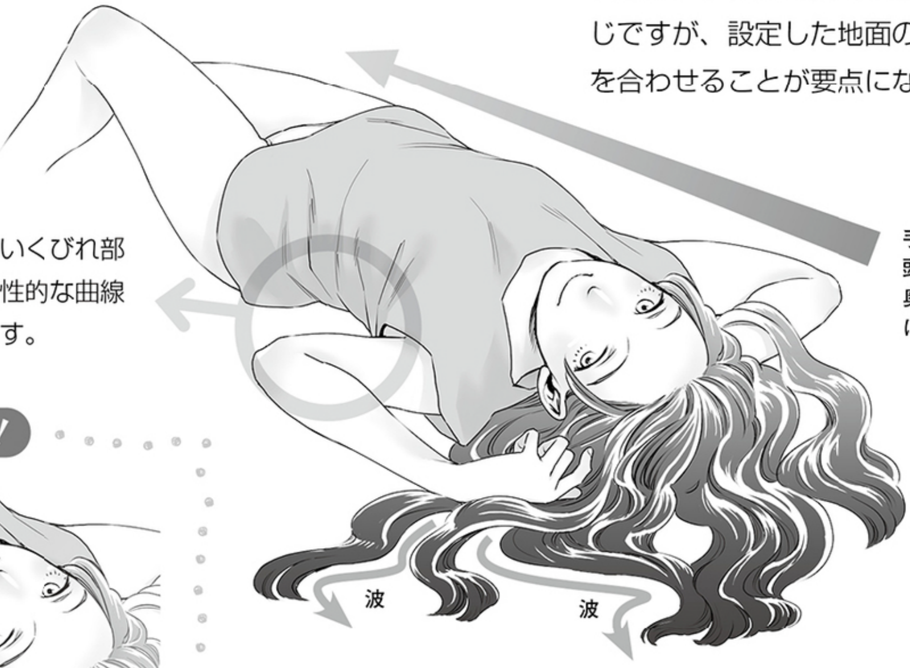
あえて右足で股間を隠しています。股を思い切り開くのは品がなく、女の子らしさが半減してしまうためです。

気づき！

ヒザを内側に寄せたり（内股）、左足の先を内側に向けたりしています。

《頭からのアングル》

フカンアングルで描くのと要領は同じですが、設定した地面の角度に体を合わせることが要点になります。



地面につかないくびれ部分の空間が女性的な曲線美を強調します。

広がる長い髪は地面の角度に合わせ、波打つように広げていくと綺麗なラインが描けます。

チェック！

フカンと同様に、首は頭部に隠れてほとんど見えません。

《足からのアングル＋脚を横にひねる》

下の作例は手足の脱力感、無防備な寝姿がかわいさの秘訣です。脚を横に倒すことで下半身をひねり、ポーズにひと工夫しています。こういった工夫が女の子を「よりかわいく」するのです。

脚を倒したことで太もも大部分があらわになり、柔らかな丸みをアピールできます。

お腹のチラ見せで無防備感をアップ！　ヘソまで見せるのが、かわいいポイントです。

Cute Point

脚の細さと曲線美を演出するため、脚にすき間を作ります。

❖ うつぶせ

うつぶせになって脚をパタパタ動かす女の子は、その無邪気さや幼さがかわいく感じられます。

しぐさ

スネから足先へのラインをゆるやかなカーブで描き、女の子らしい脚を表現します。

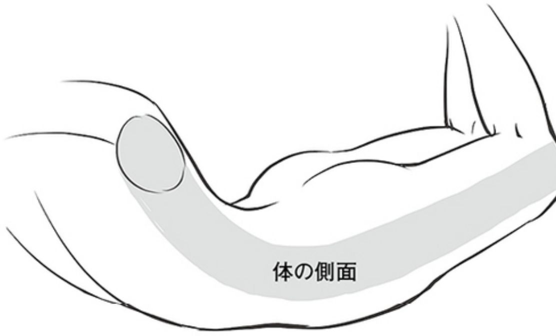
左ヒジを右へ寄せると左肩も内側に入ります。

つぶれる二の腕の柔らかさを描くのがポイントです。

Cute Point

つぶれるふくらはぎの柔らかさと、ヒザ裏の骨ばった部分のギャップが魅力的に映るしぐさです。

構造



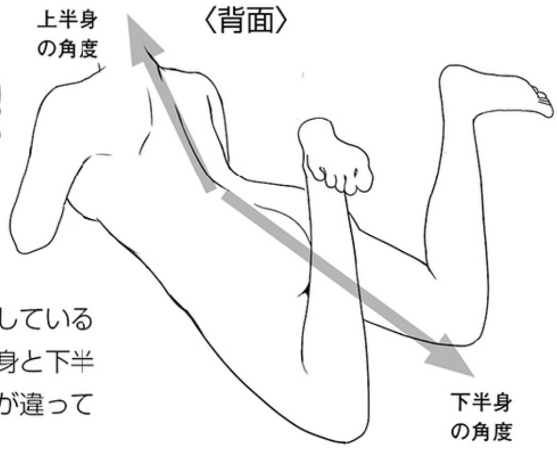
正中線と体の側面をとらえて、上半身から下半身へのつながりを描きます。

しぐさ

《フカン気味のアングル》

枕を抱えアゴをのせているのがポイントです。物憂(ものう)げに見えるうつむきがちの頭部も、守りたくなるようなかわいさを助長しています。

構造



背面の場合は背中のくびれやお尻が目立ちます。見せたい部分を決め、それに一番適したアングルで描きましょう。

上体を起こしているため、上半身と下半身とで角度が違ってきます。

しぐさ

《前から＋アオリアングル》

頬杖をつく片手を広げ、あえてアゴから離して遊ばせています。うつぶせ＋ヒジを内側へ寄せることで、乳房のふくらみが強調されます。

通常の頬杖ポーズよりも、ゆるっとした印象に。

アキレス腱の線を入れ、足首の華奢な感じを表現します。

太ももの一部のチラ見せで、ドキッとさせます。

❖ 横向き

横向きの寝姿を描く際は、腕の位置を工夫するのが「よりかわいく」魅せるコツです。上側になる腕は地面に向けます。

NG

何も工夫をせず横たえてしまうと、かわいさが表現できません。

乳房が重力によって下がり、シワができます。

下側になる腕を曲げて、手を顔の近くに置くとかわいいポーズになります。

《上からのアングル》

横向きの寝姿を真上から見た作例です。縮こまって丸まる背中がハッキリと見え、庇護欲をかき立てられます。

Cute Point

前髪が重力で、生えぎわを起点に流れ落ちます。

脚はピッタリとそろえずに、ずらすのがポイントです。

しぐさ・動作をよりかわいく③ しゃがむ

しゃがむポーズは体を折りたたみ、通常の姿よりも小さく見えるのが特徴です。こじんまりとした姿が女の子をかわいく見せています。

しぐさ

片ヒザをつく、片足を後ろにずらす……など、さまざまなしゃがみ方がありますが、前傾姿勢になり両足だけでバランスをとるタイプが一番女性的でかわいらしく見えます。

ヒザの上にヒジをのせて頬杖をつくと、さらにかわいく！

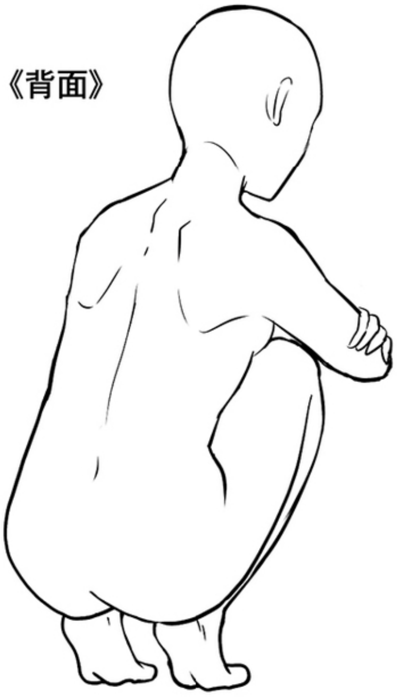
構造

《正面》

手を片方の頬に寄せるのも◎。

Cute Point ヒザをそろえるのがポイント。ガニ股は女の子らしさが失われるのでNGです。

《背面》



足の裏を地面に全部つけるか、つま先だけでバランスをとるかで、しゃがむポーズにバリエーションが生まれます。つま先だけで体を支える場合は、かなり不安定な体勢になります。

チェック！

つま先だけを地面につける場合、お尻とかかとの距離がグッと近づきます。

しぐさ・動作をよりかわいく④ 振り向く

体をひねることにより、さまざまな部位が定型とは違ったアングルで混在していきます。変化の意外性に、さらにかわいい要素をつけ加えます。

《顔だけ振り向く》

左図は、髪を奥側へ流して背中を見せ、肩をすくめてアゴまわりを隠しているのがポイントです。

シンプルなしぐさですが、振り向いてこちらを見つめる女の子はとても魅力的です。

《上半身ごと振り向く》

振り向く動作は、おもに首・腰のひねりによるものです。左の作例は腰をひねって振り向いています。

腰のひねりで乳房やお尻が強調されます。

チェック！

腰を支点に振り向く姿を描く際は、アタリに正中線を補助線として引くと描きやすくなります。

振り向きざまになびく髪が女の子をよりかわいく魅せます。

《全身で振り向く》

左足を後ろへ踏み出し、振り向こうとしている女の子です。

見えそうで見えないチラリズムが見る人をドキッとさせます。

足の裏のぷくぷくした柔らかさをカゲで表現します。

しぐさ・動作をよりかわいく⑤ 寄りかかる

自重をある程度、ほかにあずけてしまっているポーズです。その無防備なポーズでかわいさを演出します。

曲げた脚に指をそわせ、手と脚の曲線ラインを見せます。

《壁に寄りかかる》

背中を壁にあずけ、片脚を軽く曲げてよりかわいいポーズにしています。

《肩に寄りかかる》

肩に寄りかかるポーズは、肩同士のぶつかり具合がポイントになります。

相手の肩と寄りかかる体重に押され、二の腕の脂肪がつぶれます。

《一方に寄りかかる》

左右片側に上半身をあずけることで、押しつけられた乳房が強調されます。

Chapter

3

女の子の
かわいさを引き出す

アイテム・コスチューム

アイテム・コスチュームをただ追加するのではなく、それに付随するしぐさやワンポイントを織り交ぜることで、女の子をよりかわいく演出します。

作例❻ 岡谷

06 アイテム・コスチュームによる演出

女性は、装飾品や服で自らを演出する術を備えています。そのしぐさを、絵としてどうとらえていくと魅力的になるか、見ていきます。

作例❻は、下着姿の女の子がピアスをつけているイラストです。手の表情や腰のカーブがポイントになっています。

作例❻メイキング——シルエットで微調整する

01. ポーズのアタリを描く

描き出す前にどんな女の子を描くか、できるだけイメージしておくと早く描けます。

02. 全体のバランスを見てラフを作画

人体構造・若干のパースを考えながらラフを作画します。今回はラフをしっかりめに描いています。

03. シルエットで構図の収まりを見る

人物をシルエットにし、構図的な収まりを見て、細部の調整を検討します。ガイドになるパース線をざっくり入れてみると、角度や遠近感の調整がしやすくなります。

04. シルエットの修正

腰のカーブを強調し、脚をより内股に修正しました。

チェック！

腰のカーブを作り、脚を内股にして、女性らしさがきわ立つ「よりかわいい」女の子に！

アクセサリー（装身具）で女の子を引き立てよう

❖ 耳飾り・首飾り・腕輪

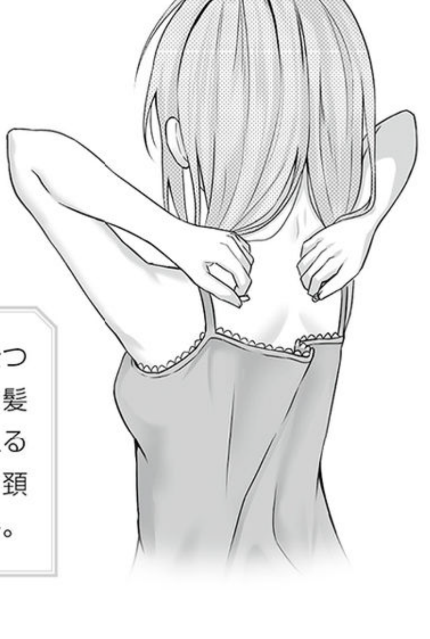
《ピアス・イヤリング》

ピアスやイヤリングがゆらゆら揺れたりキラリと光ったりすることで、耳に注目させることができます。また、ピアス・イヤリングをつけるしぐさは、女の子の飾り気のない、素のかわいさを表現できます。

▲
親指と人差し指によってできる輪とゆるく握った小指が、このしぐさのかわいいポイントのひとつ。

《ネックレス》

ネックレスは鎖骨（デコルテライン）・胸もとの美しさをアピールできます。



気づき！
ネックレスをつけるときに、髪の間から見えるうなじ＋第７頚椎もポイント。

《ブレスレット》

ブレスレットで手首の細さ・華奢な感じをきわ立たせます。ヘアゴムなども同じ効果を出せます。

❖ 髪飾り（ヘアアクセサリー）

《ヘアピン》

ヘアピンは片側だけにつけるのがポイントです。上図のように、アクセサリー的にクロスさせてつけると、よりかわいく見えます。

《カチューシャ》

カチューシャはガーリーな印象を与えます。幅が太めだとレトロガーリーな雰囲気に。

《リボン》

リボンは髪に限らず、コスチュームやカバンなどのアイテムにつけても◎。

❖ メガネ・サングラス

素顔とはまた一味違った印象を与えます。真面目でかたい印象をもたせるので、髪型を工夫するのもよいでしょう。

《サングラス》

《メガネ》

メガネをかける手の表情や上目づかい、サングラスを頭にかける姿が作例のかわいいポイントです。

❖ 帽子

《麦わら帽子》

夏の季節にピッタリな麦わら帽子は、軽やかでナチュラルな雰囲気が女の子の素朴なかわいさを引き立ててくれます。

ワキをキュッとしめるしぐさが女の子らしさを出しています。

《キャップ》

元気でボーイッシュなイメージのキャップでも、右図のようにツバをもつ手の表情でよりかわいくなります。

❖ マフラー

マフラーに口がうもれそうな姿がキュンとするポイントです。髪の毛がモフっとたゆんだり、口もとのマフラーを指で下げたりするしぐさが、よりいっそうかわいさを増しています。

ゆるく曲げた指の表情がしなやかで女性的です。

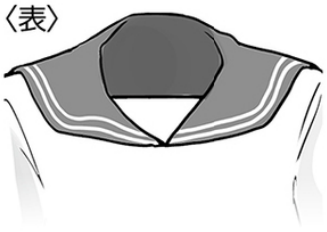
王道のかわいいコスチューム❶ 制服

❖ セーラー服

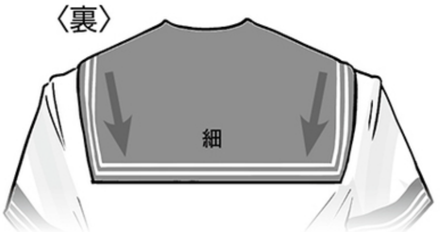
清涼感・ノスタルジーを感じさせる、制服の定番です。セーラー服の特徴をつかみ、よりかわいく描くために工夫をしてみましょう。

《特徴❶ えり》

〈表〉



〈裏〉



地域によっても形が違ってくる部分ですが、えりのフチに1～3本の線を入れるとセーラー感がグッと出て、よりかわいく見えます。また、後ろえりが四角の場合は、背中にいくにつれ細くするのがオススメです。

《特徴❷ スカーフ》

胸もとでヒラヒラ舞うスカーフも、セーラー服をかわいく魅せます。スカーフ留めがつくタイプ、スカーフを結んで留めるタイプなどがあります。

上図の長袖の作例は、スカーフ留めがついているタイプです。

紐リボンのタイプもあります。

《特徴❸ 上着のスソがひらっとする》

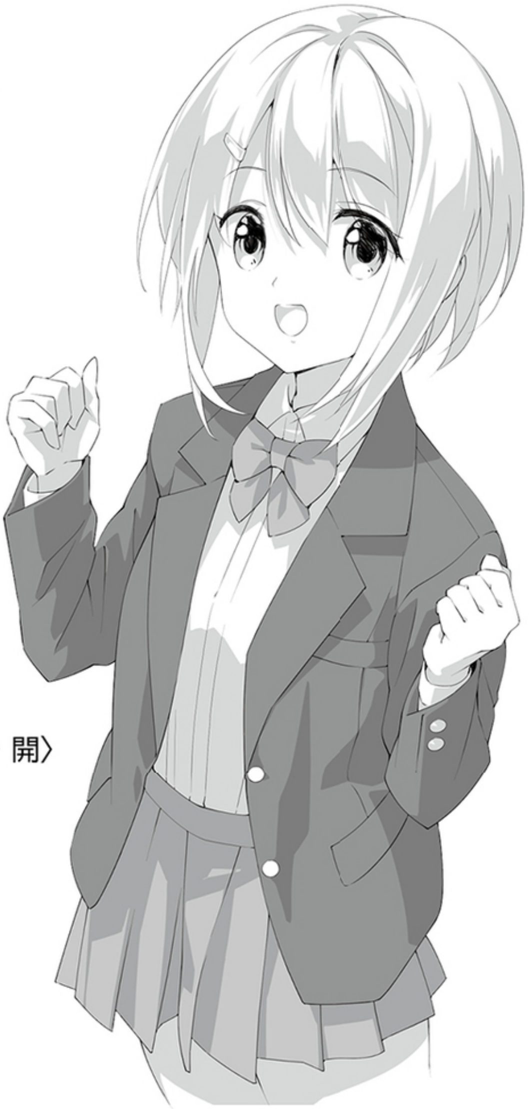
上着は胴体部分の布が筒状になります。スソが留まっていないので、ひらっと動くのがポイントになります。

❖ ブレザー

セーラー服とは反対に現代的で、フレッシュな印象を与えます。さまざまなアレンジがきくのも大きな特徴です。

《特徴❶ ジャケット》

えりの形やボタンの数、ポケットの有無、ラインの有無など、形状だけでもかなりデザインに幅をもたせられます。ジャケットのボタンをきっちり留めるか外すか、といった着こなしでも印象が変わります。



〈ボタン・開〉

〈ボタン・閉〉

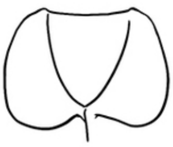
Cute Point ボタンを外すとシャツがスカートの中に入る、シワの縦ラインが見えます。留めると腰のラインがスッキリして見えます。

《特徴❷ ブラウス・リボン》

ブラウスのえりの形や色、リボンにも個性を出すことができます。

〔基本のえりの形〕

〔丸えり〕



リボンはゴム紐がついていて、自分で調整してつけるのが一般的です。

先がひし形のタイプ

ネクタイもありますが、ガーリーというよりクールな印象が強いです。

《特徴❸ パターンが豊富》

ブレザーの場合はとにかく着こなしのパターンが豊富です。ジャケットの着脱・カーディガンやセーター、ベスト、パーカー、ポロシャツの着用など、色やデザインだけでなく、さまざまなアレンジができます。女の子キャラに合ったかわいさを見つけましょう。

▲ 作例❷ は半袖シャツ＋リボン＋プリーツスカート。

▲ 作例❺ はカーディガン＋リボン＋シャツ＋プリーツスカート。

カーディガンを腰に巻きつける着こなしも Good！

❖ 制服＋アイテム

制服にアイテムを組み合わせることで、女の子キャラの日常感を演出できます。

《ほうき》

ほうきなどの直線的なアイテムをもたせると、女の子の体の曲線ラインがより引き立ち、魅力的に見えます。もたれかかるポーズがかわいさを助長しています。

視線や指先、体のラインを柔らかくするのがポイントです。

《スクールバッグ》

制服姿の女子学生らしさを高めるスクールバッグ。現在はナイロン製のものがオーソドックスです（スクールバッグをかわいく活かした 作例❷ は 36ページを参照）。

《スマートフォン（スマホ）》

大きなスマホを、小さな手でもつ女の子の姿はかわいく映ります。スマホをもつ手は手首の骨格を意識すると、しなやかさが増します。

ヘアピンを挟んだり、キーホルダーをつけたりして、女の子のキャラに合わせてアレンジするのも◎。

王道のかわいいコスチューム❷ 季節の衣装

❖ 夏のコスチューム

《水着》

水着の種類はおもにビキニとワンピースの２つに分けられます。ビキニは露出度高めで女の子の肌・体の部位をより強調できます。ワンピースはお腹部分が隠れるぶん、ボディーラインがハッキリします。

首の後ろで紐を結んでいるので、肩のラインが綺麗に見えます。

気づき！

ハラっとほどけたおくれ毛を描くことが、浴衣姿の女の子をより魅力的にします。

《浴衣》

品のある涼やかな浴衣姿は、女の子を可憐に見せます。大きくあいた首もとから見えるうなじは、艶っぽさを感じます。

❖ 冬のコスチューム

《コート+イヤーマフ》

コートにイヤーマフを合わせると、そのもこもこした素材が女の子の頭部をよりかわいく演出し、あたたかな冬の装いになります。

気づき！

ふわっと舞うコートや髪、スカートが右図の女の子をよりかわいくしています。

《サンタ服》

クリスマスの特別感が女の子をいろどります。白くふわふわした飾りがサンタ服の重要な部分です。スカートのスソや上着のスソにもつけましょう。

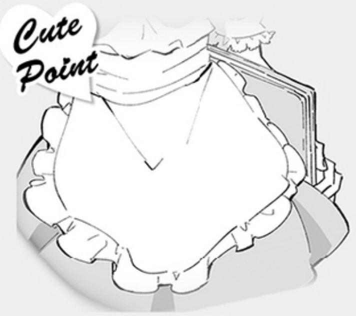
気づき！

フードのついたマントタイプは、マントの下からスカートや太ももがかわいく見えます。

王道のかわいいコスチューム③ メイド・ウエイトレス

❖ メイド服

フリルのついたエプロンやホワイトブリム（頭につける飾り）がガーリーな印象を与えます。スカートと靴下の間にできる絶対領域がポイントです。



フリルなどの細部にこだわることで、女の子のかわいさをより引き立たせます。

❖ ウエイトレス（エプロン）

背中でキュッとリボンを結んだ女の子のエプロン姿は、頑張っている感や家庭的なイメージを引き出します。

Cute Point 髪にヘアピンを追加してみると、髪の表情がより豊かになりました。

王道のかわいいコスチューム❹ ゆったりした衣装

❖ ルームウェア

のんびりくつろげる部屋着姿は、まったりした素のかわいさを見ることができます。無防備でゆるっとした感じが出るように、ゆったりしたルームウェアを着せたり、髪をおろしてふんわりさせたりしてみましょう。

上着の下に着ているキャミソールの肩紐をチラっと見せているのが、女の子をよりかわいく魅せる工夫です。

❖ 彼シャツ

体のサイズよりも大きなぶかぶかのシャツを着ているので、全体的にシャツがだぶつき、袖やスソが余ります。

シャツのスソからのぞく生足がドキッとするポイント。

❖ パーカー

だぼっとしたパーカーのシルエットには、パーカーに覆われていない部分（手や脚など）のラインをきわ立たせる効果があります。

ポケットに手を入れたときのふくらみもかわいいポイントです。

フードをかぶる女の子はこじんまりとして、守りたくなるかわいさを表現できます。

王道のかわいいコスチューム⑤ 動物の耳・しっぽ

❖ いぬ耳

動物の耳やしっぽをつけると、女の子の素のかわいさに、思わずなでたくなるような小動物的かわいさが加わります。

Cute Point 毛並みのもふもふ感を、線をふわふわと弾ませて描くことで、よりもふもふでかわいらしい女の子になります。

ねこ耳

ふわふわのねこ耳女子にワンピースを着せて清楚感を加えると、動物的なかわいさや幼さとはまた違った表現ができます。

うさ耳＋しっぽ

うさ耳の女の子は指先の表情をとびはねるイメージで遊ばせて描くと、より元気でかわいい印象に。

チェック！

《しっぽの出し方》

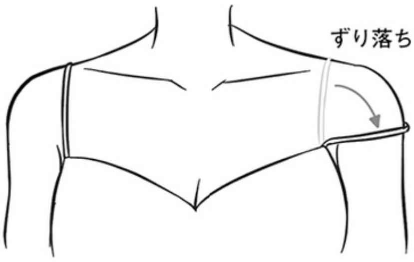
衣服を貫通するように出すと自然に見えます。

スカートの下から出すとお尻がチラ見えします。

コスチュームの「動き」で素のかわいさを引き出す

❖ ずり落ちる

肩紐がゆるむ、体を傾ける、サイズがぶかぶかで落ちそうになる……など、さまざまな表現方法がありますが、無防備で自然なかわいさを演出できます。



体と肩紐とのすき間が女の子をより華奢に感じさせるのです。

❖ めくれる

体を動かしたり風に吹かれたりすることでコスチュームの一部がめくれ、女の子特有の部位がチラッと見えます。このチラリズムが思わずドキッを喚起させる「よりかわいい」ポイントなのです。

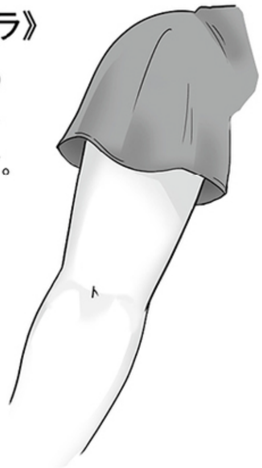
《腹チラ》

気づき！

ヘソが見える機会は日常生活でなかなかないため、絵の中でチラ見せしてみます。

《二の腕チラ》

柔らかな二の腕を袖からチラ見せします。



《脚チラ》

スカートが風になびき、太ももがチラッと見えた瞬間です。

❖ 萌え袖（覆い隠す）

萌え袖は袖が長く、指先しか出ないほどに手を覆い隠してしまっているシチュエーションです。

袖からちょこんと指先を出す姿にキュンとします。

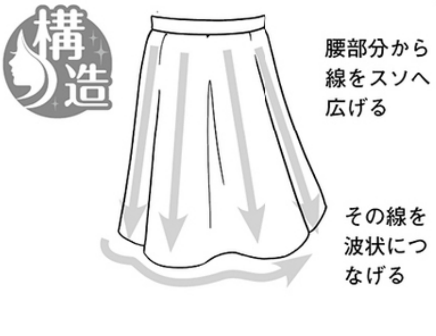
袖は重力で上部分が肌に張りつき、下部分に空間ができます。

ベーシックなコスチュームの魅力

❖ スカート・パンツ

《❶ フレアスカート》

フレアスカートは、朝顔のようにスソが広がるのが特徴で、波打つようにひだができるため、女性らしいふんわりとした印象を与えることができます。



ふんわり広がるスカートを抑えるしぐさが女の子らしく、かわいいです。

《❷ ワンピース》

清楚なイメージといえばワンピースです。通常のスカートと違い、上半身から下半身までひと続きになっているので、はためく範囲が広くなります。

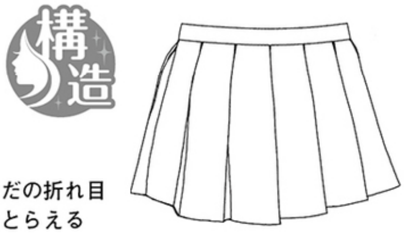
座っている女の子のワンピースからのぞく脚。見えそうで見えない感じが◎です。

ワンピースのスソをつまんで、あらわになったヒザ裏の華奢な感じがグッときます。

服の材質や形にもよるが、このあたりまで風ではためかせられる

《❸ プリーツスカート》

制服（113 ～116 ページ参照）のスカートは、プリーツスカートが主流です。セーラー服にもブレザーにも合わせられます。



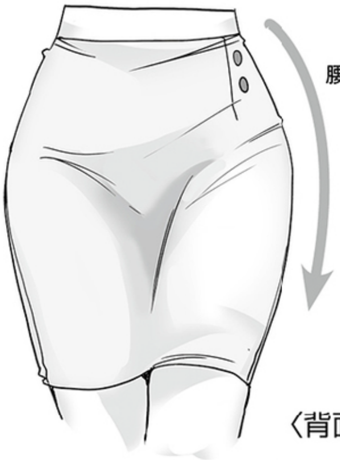
ひだの折れ目をとらえる

ひだのおかげで立体感が出ます。

《❹ タイトスカート》

腰まわりのシルエットがぴったりするのが特徴で、スタイリッシュなイメージです。

〈前面〉



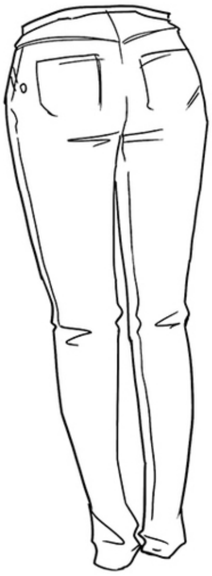
〈背面〉

動きが少ないとシワはあまり入りません。脚を少し動かすと、途端にシワができます。

《❺ スキニーパンツ》

脚全体に張りついた布によって、脚の曲線美がモロに出ます。

〈背面〉

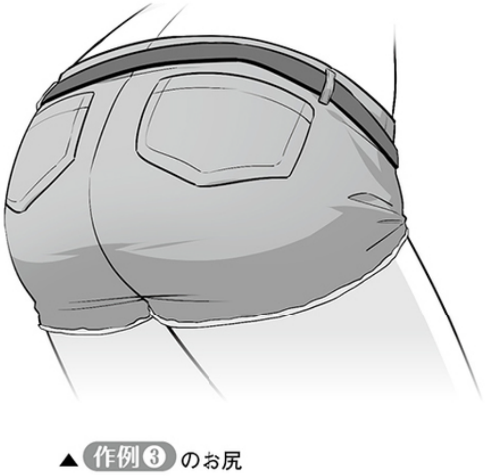


ヒザや足首のあたりにシワが寄ります。

〈前面〉

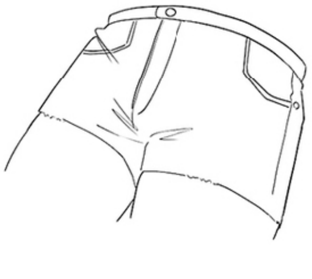
《❻ ショートパンツ》

太ももにピタッと張りつくピチピチ感がタイトスカートとの違いです。脚のほとんどが見える状態になります。



▲ 作例❸ のお尻

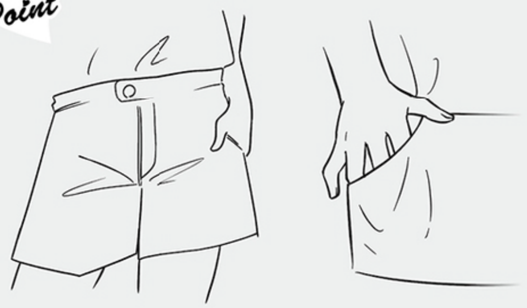
脚やお尻のラインが強調されます。



股間や側面部分にシワが入ることでピチピチ感が出ます。

Cute Point

《ポケットに手を入れる》



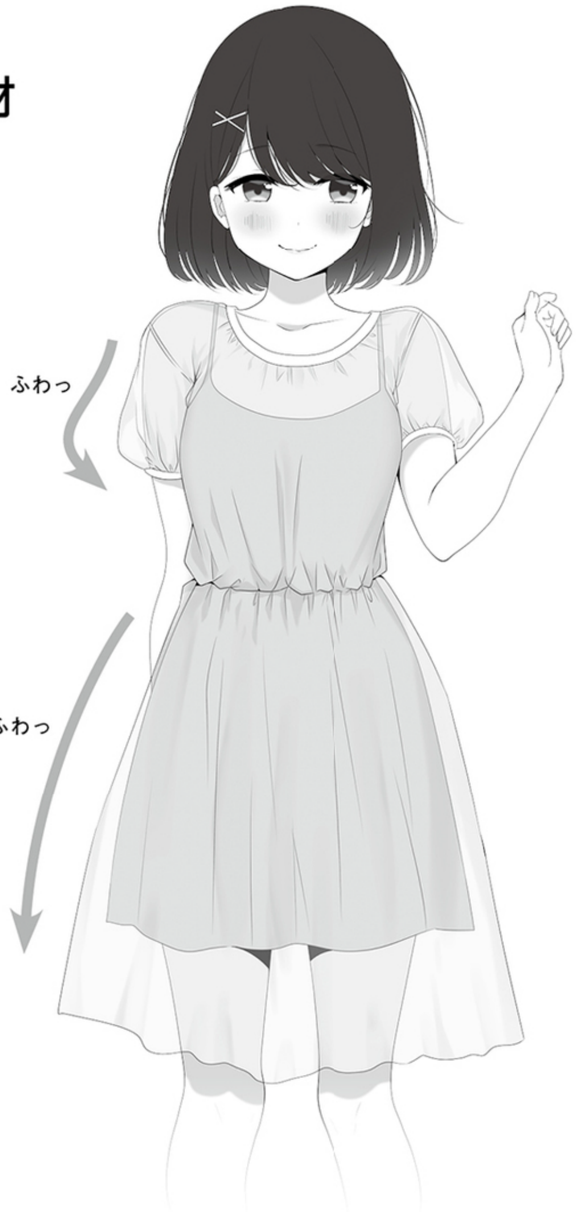
121 ページで少しふれた、ポケットに手を入れたふくらみのモゾモゾ感や、ポケットからはみ出す指のしぐさをワンポイントとして描くのもよいです。

❖ 女の子のかわいさを引き出す素材

《❶ シフォン素材》

薄く柔らかい素材で、透け感が出るのが特徴です。ふんわりした軽やかさを表現できます。おもにトップス（上衣）やスカート、ワンピースなどに使われます。

首・腰まわり、袖のあたりに布がクシュッと集まります。

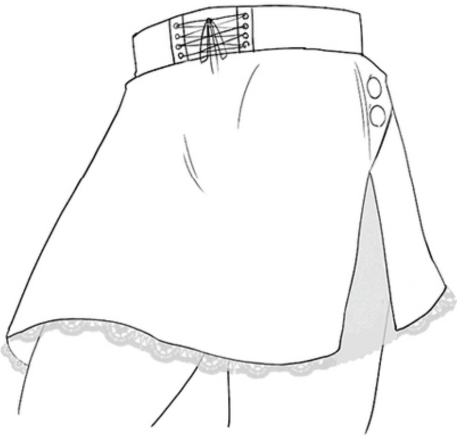


《❷ レース素材》

ファンシーな女の子らしさを演出できる素材です。ただし、レース素材を全面に押し出すと古臭く見えたり、あざとすぎたりするので、チラ見せ程度にとどめましょう。

119 ページのメイドがつけているホワイトブリムもレース素材です。

インナーにレースをあしらってチラ見せさせたり、スカートのスソだけに描き込んだりするのがオススメ。



《❸ ニット素材》

寒い季節の定番素材です。だぼだぼしたシルエットに設定すると、首や手足などがより華奢に見える効果があります。

首をうずめてもGood！

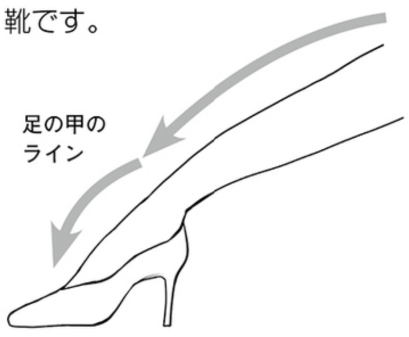
Cute Point
ニットによって暖かく見えるよう、頬には多めに色を入れます。

インナーをあえて薄着にして、ニット素材の上着のシルエットとのギャップを楽しみます。

❖靴・靴下にも、かわいさを盛り込める

《❶ハイヒール》

ハイヒールは脚のラインを綺麗に見せる靴です。

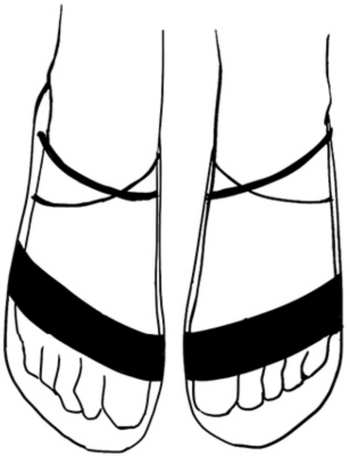


脚の曲線美のなめらかさがきわ立ちます。

ハイヒールの形自体が曲線でできているため、女性の曲線美を想起させます。

《❷サンダル》

足の素肌率が高いため、足の華奢な部分を存分にアピールできます。足指の表情が見えるのも特徴です。



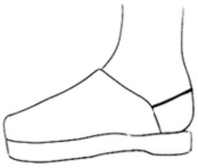
背面は、かかととアキレス腱のラインがむき出しに。

アンクルストラップは足首を引き立たせるワンポイントになります。サンダルに限らず、パンプスやヒール靴にも◎。

チェック！

《足の一部を見せる靴》

つま先を見せる、オープントゥ。



かかとを見せる、バックストラップ。

足の側面を見せる、サイドオープン。

ところどころ足の素肌を見せるのが見る人をドキッとさせます。

《❸ ブーツ》

寒い季節のコーディネートで重宝されるブーツは、ブーツ自体がゴツゴツしているぶん、覆われていない部分の脚を柔らかくなめらかに見せます。丈が長いほど脚は隠れますが、あらわになる箇所の貴重さ・ありがたみは増します。

〈ロングブーツ〉

〈ショートブーツ〉

足首まで覆われるのが特徴です。

Cute Point ヒザ近くまで脚が隠れるので、その代わりにあえて太ももを見せています。

チェック！

《ブーツの丈》

短 ↕ 長

ショート（足首上）

ミディアム（スネの半ば）

ロング（ヒザ下）

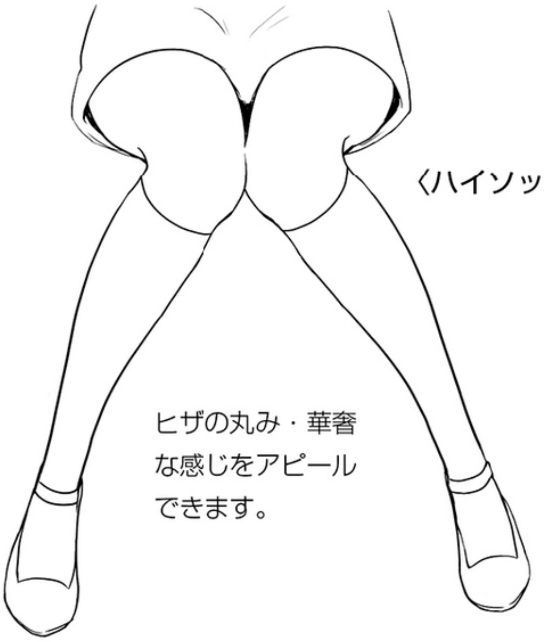
ニーハイ（ヒザ上）

《❹ 靴下いろいろ》

〈ニーハイソックス〉

太ももの絶対領域（119ページ参照）が最大のポイント。

少しのすき間から見える太ももの柔らかさ、つややかさに心ひかれます。



〈ハイソックス〉

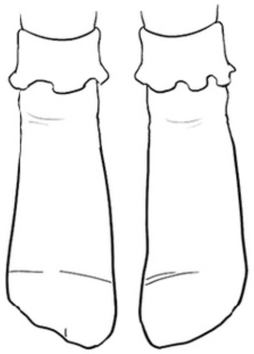
ヒザの丸み・華奢な感じをアピールできます。

〈メッシュソックス〉

布地がメッシュ素材になっていて、網目の隙間から素肌がのぞくのが特徴です。

〈ソックス＋α〉

ソックスに装飾をほどこすことで、ガーリー・ファンシーな印象に。

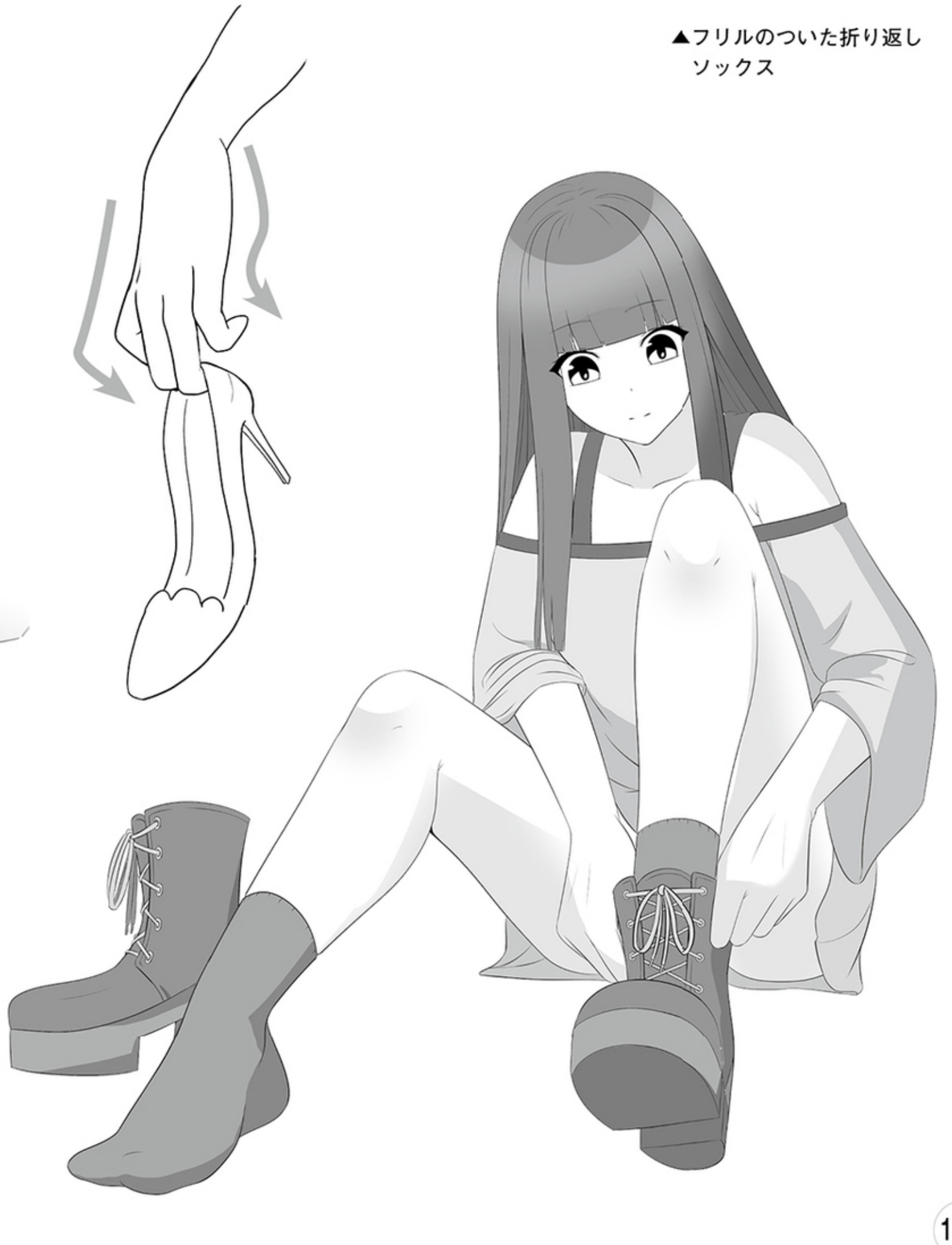


▲フリルのついた折り返しソックス

《❺ 靴の脱ぎ履き》

作例❷ のように靴を脱ぎ履きしている女の子には、日常の１コマ的なかわいさを感じます。脚の曲げ伸ばしや靴をさわる手の表情を工夫して、より魅力的なシーンを描きましょう。

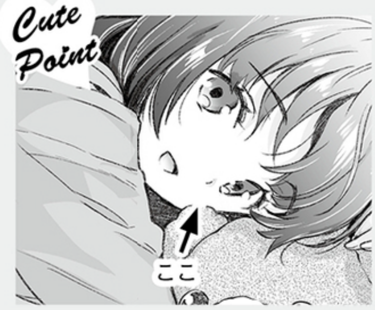
▲ 作例❷ の手もと



かわいさを意図的に演出するアイテム

❖ ぬいぐるみ

ぬいぐるみ自体の愛らしさと、それを抱きしめる女の子のかわいらしさが相乗効果を生み出します。



ほっぺとぬいぐるみのぶつかる部分は境界線をなくします。

全身を使って抱きしめると、ムギュッと愛くるしいポーズになります。作例はぬいぐるみが太ももに挟まれています。

ぬいぐるみを両腕いっぱいに抱える女の子の姿がほほえましい作例です。

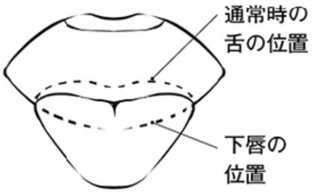
Cute Point ぬいぐるみを抱えきれずに腕からはみ出しているところが、女の子の体の小ささを表して庇護欲をかき立てます。

❖ 食べ物・飲み物＋しぐさ

《なめる》

舌を大きく出すとセクシーな印象が強まるため、小さくペロッと出すようにします。

〈舌の描き方〉



通常時の口を描いて、舌の位置を把握し、そこから外へ伸ばすようにすると、うまく描けます。

《かじる》

ハムッと小さくかじる口もとはどこか小動物的です。弧を描く上唇を作画しましょう。

《かぶりつく》

大きく口を開けてクレープにかぶりついた作例です。勢いあまって頬にクリームがついているお茶目さも魅力のひとつです。

《くわえる》

口で何かをくわえるしぐさは小動物的でかわいらしい魅力があります。

小さくのぞく歯、ふにっとした口の端が愛らしいポイントです。

《フーフーする》

熱いものに息を吹きかけると、口が小さくすぼまります。両手でもつ手の表情が◎。

《飲む❶ コップ》

上唇と下唇でコップのふちを挟み込むように描きます。左の作例のように唇を少し尖らせると、チビチビ少量ずつ飲んでいるような印象を与えます。

《飲む❷ 飲み口の狭いもの》

ビンやペットボトルなどの飲み口が狭いものから飲む際は、上唇が飲み口にくっつき、下唇は飲み口の下部を少し覆います。

上を向くので首が強調されます。

《すする》

麺類などをすするとき、唇は細くすぼまり縦に開きます。髪を耳にかけるしぐさを合わせると、さらに魅力的な女の子を描けます。

《ほっぺが落ちるポーズ》

ぷくっとふくらんだほっぺを押さえ、幸せそうな表情の女の子がほほえましい作例です。頬のふくらみを陰影で表現し、指の間に頬を挟みます。

❖リップ・口紅

メイクの中でも欠かせないリップ・口紅は、塗るしぐさが女の子らしく映るとともに、唇をアピールできます。

唇をなでる指先・手の表情がしなやかであればあるほど、魅力的なしぐさに見えます。

《リップを指で塗る》

薄く開いた唇に指をそえます。

《口紅を塗る》

筒状の口紅を親指＋人差し指（＋中指）でもたせます。斜めになった部分を唇にあてるように描きましょう。唇にはつやっとした着彩をします。

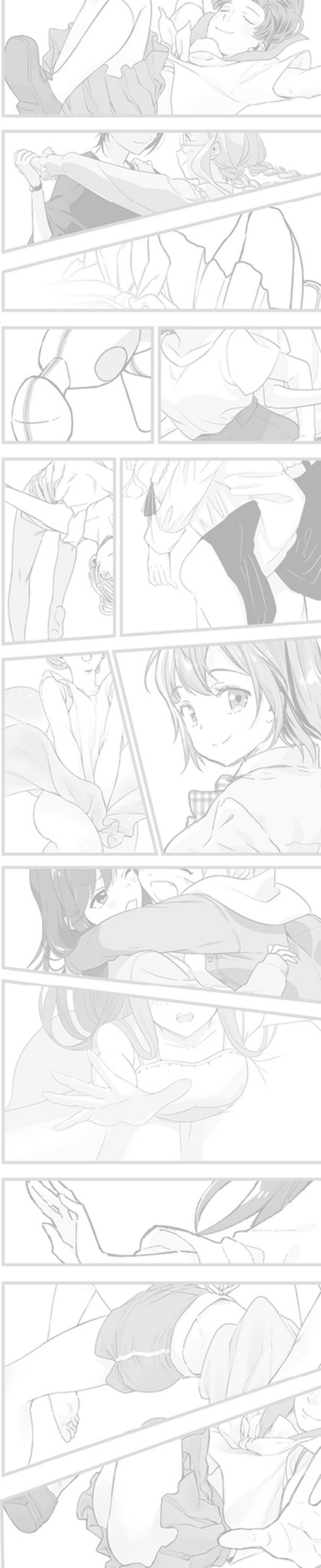
◀本書内のイラストのつややかな唇。唇の一番盛り上がる部分にハイライトを入れましょう。

Chapter

4

女の子の
かわいさを引き出す

アクション



女の子の魅せ絵をレベルアップさせるのに必要な「動き」。歩く・走る……いろいろなアクションの「かわいさ」を表現できるポイントを見ていきましょう。

07 動いているポーズ

作例 7 うめ丸

動いている女の子のかわいらしさを引き出せる工夫について見ていきます。清楚で少し恥じらう要素、屈託のない明るさ、女の子独特の部位や服・アイテム、それらを意識して取り入れていきます。

作例 7 は、くるっとターンする（まわる）制服姿の女の子のイラストです。元気で軽やかな動きが魅力の作例になっています。

❖ 作例❼ メイキング――人体の流れから描く

01. 人体の流れを意識して簡略図でポーズを描く

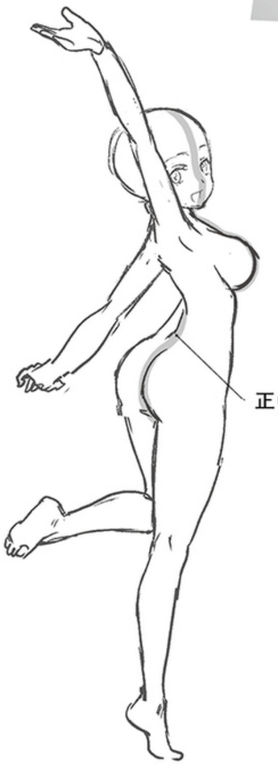
人体の流れ（右図の矢印）を意識し、簡略図で動きのあるポーズを描きます。背骨の曲線に合わせるイメージです。

02. 人体を立体にする

簡略図をもとに人体を立体にします。肉づけはこの次の段階で行うため、ざっくりとアタリをとる程度でＯＫです。

03. 肉づけをする

立体にした人体に肉づけしていきます。腰をひねっているので、正中線がどこにあるか、注目しながら描くとよいでしょう。



04. 衣服の描き込み→清書・着彩

服を着せ、まわる方向を設定して髪・スカートをはためかせます。髪は上図のように、まわる方向の矢印と同様にカーブを描きました。

基本アクションにかわいさをプラスしよう！

漫画系イラストは、写真を忠実に引き写すものではありません。基本的な構造をより魅せるものにするために、誇張を加え、現実の延長線上のものを表現していきます。

❖ 動きを魅力的に見せるコツ

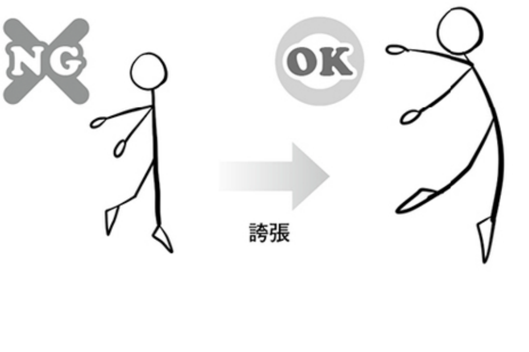
《コツ❶ 動きを誇張する》

動きを現実的に考えすぎず、ある程度誇張します。実際にはとりづらいポーズでもＯＫです。

脚を大きく曲げたり、着地する足を伸ばしたり。

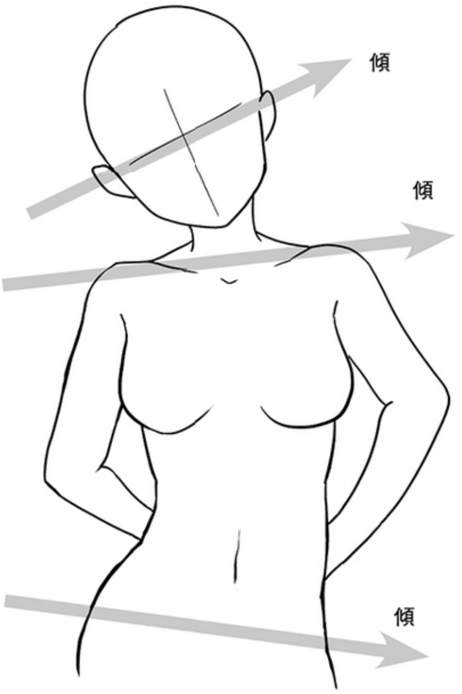
腕や背中を大きく反らしたり。

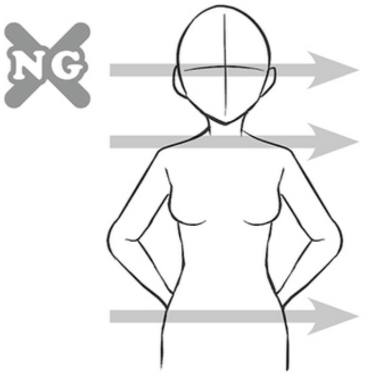
右図のように、同じポーズでも動きを誇張すると、よりいきいきとしたポーズに変えられます。



《コツ❷ 傾きを取り入れる（くねらせる）》

頭・肩・腰を基準にして傾かせます。傾かせることで左右対称でなくなる（バランスを崩すため、体が均衡を保とうとして、動き出しそうに見える）＋Ｓ字ラインを作るため、女の子らしく躍動感のあるポーズに描けます。また、手足はそろえず、ばらつかせるようにします。

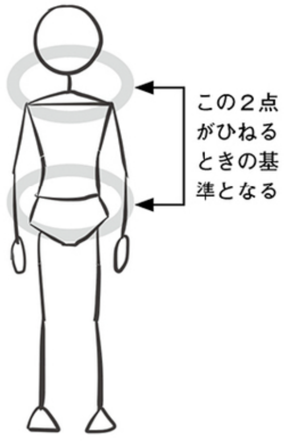


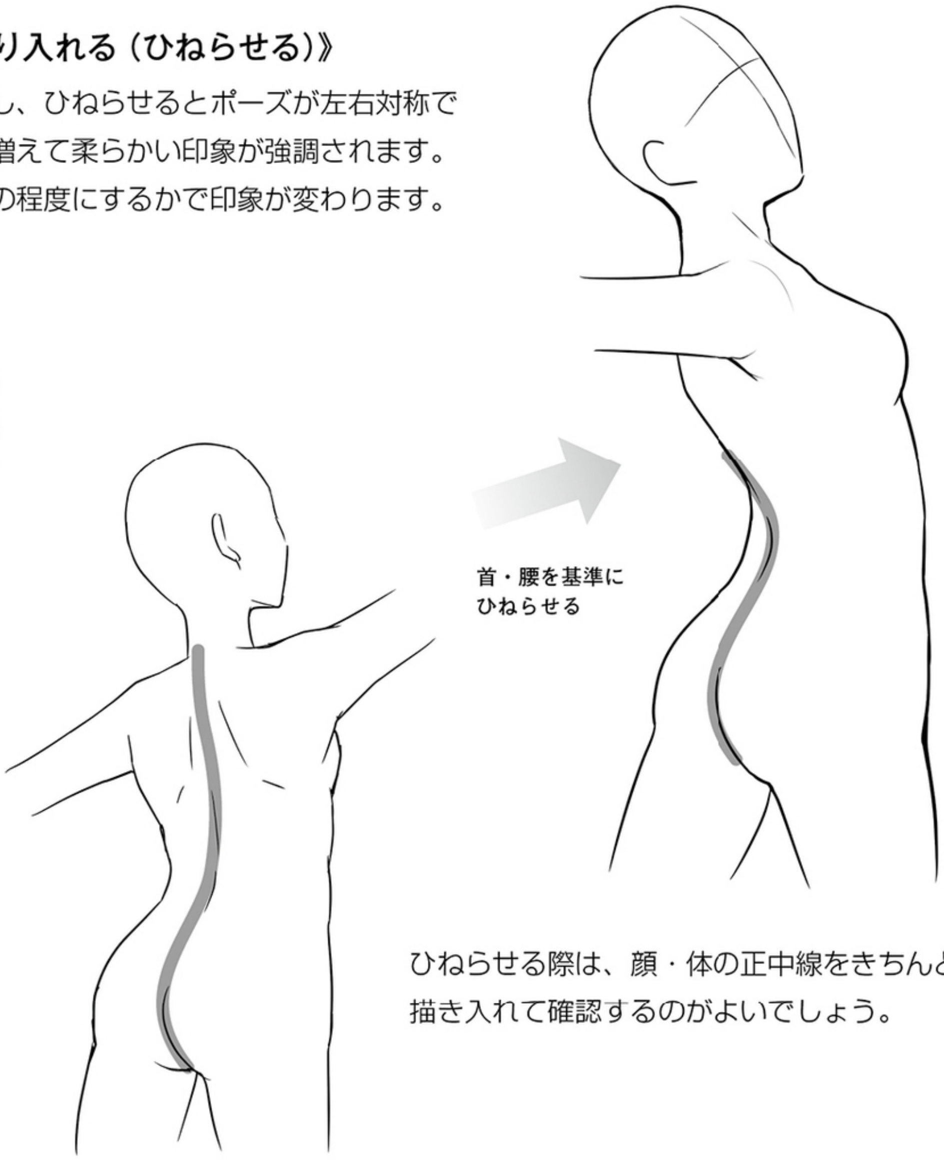


頭・肩・腰を傾かせないと、左右対称で絵としてはおもしろみのない安定したポーズになってしまいます。

《コツ❸ ひねりを取り入れる（ひねらせる）》

首・腰の２点を基準にし、ひねらせるとポーズが左右対称でなくなるうえ、曲線が増えて柔らかい印象が強調されます。また、ひねる角度をどの程度にするかで印象が変わります。





傾きを取り入れてポーズがよくなれば、必ずしもひねりを加える必要はありません。そのときどきで、臨機応変に選択していきましょう。

ひねらせる際は、顔・体の正中線をきちんと描き入れて確認するのがよいでしょう。

基本アクション❶ 歩く

もちろん、一般的な基本アクションを描くときにも、ひと工夫することで絵がガラッと変わります。

01.

女の子らしいしぐさ・動作をプラス！

工夫をせず、ただ歩く女の子を描きました。かわいさや躍動感はまだあまり感じません。

02.

このポーズに傾き・ひねりをプラス！

女の子らしいしぐさ・動きを加えてポーズを修正してみると、01.よりはかわいくなりました。ただ、躍動感がまだ足りません。

かわいさを減少させている左の点を、以下のように修正しました。

- ◆ 歩幅を狭く
- ◆ 動きによって舞うスカート
- ◆ 腕・手の力を抜き、柔らかく

完成

腰はあまりひねらず、左肩を少し後ろへ引くことで体全体をひねっています。

３点を基準に傾けます。

手の表情、ふくらはぎの柔らかさなどを表現します。

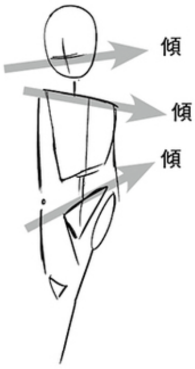
気づき！

本来はこの体勢だとつま先が地面につきますが、あえてかかとをつけて軽やかなポーズに。

02 に動きを魅力的に見せる工夫を加えます。また、さらに女の子をかわいく魅せるためにアングルを変えて、こちらを振り向くシチュエーションに。最初のポーズより格段に、かわいいアクションになりました。

《歩くポーズ・前からの場合》

正中線をまっすぐにしないよう、意識してひねらせます。



傾きを取り入れるのも忘れずに。

基本アクション❷ 走る

走るポーズも、歩くポーズと同様に工夫していきます。すべては「どうしたらもっとかわいく描けるのか」を追求しつづけて、細かい発想を積み重ねていくことが大切です。

走るポーズを描いてみます。体のラインは女性的ですが、ポーズ・動きは女の子のかわいさを表現できていません。

女の子らしいしぐさ・動作をプラス！

このポーズに傾きをプラス！

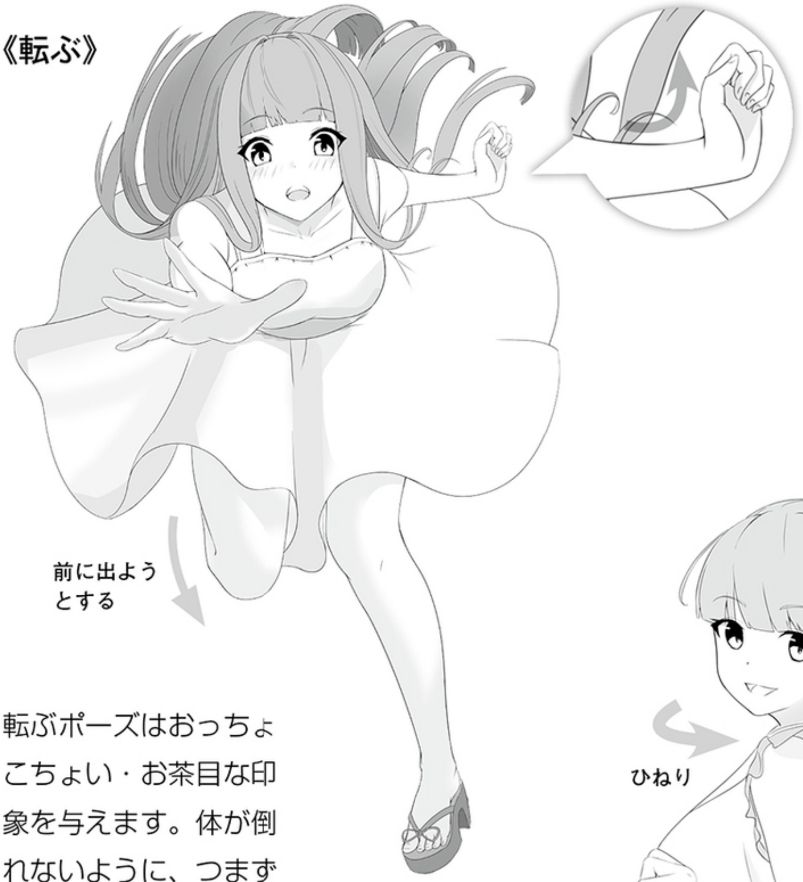
片手を上げ、こちらへ走ってくるイメージで、女の子らしいしぐさ・動きを加えました。また、左図の問題点を 01. から 02. で修正し、少しだけかわいさが出てきました。

下図のように傾きを追加し、さらに女の子らしいしぐさ・動作を加えました。走るポーズをかわいくするには、01.のような「本気走り感」を軽減させることが大切です。

基本アクション❸ 転ぶ・ジャンプする

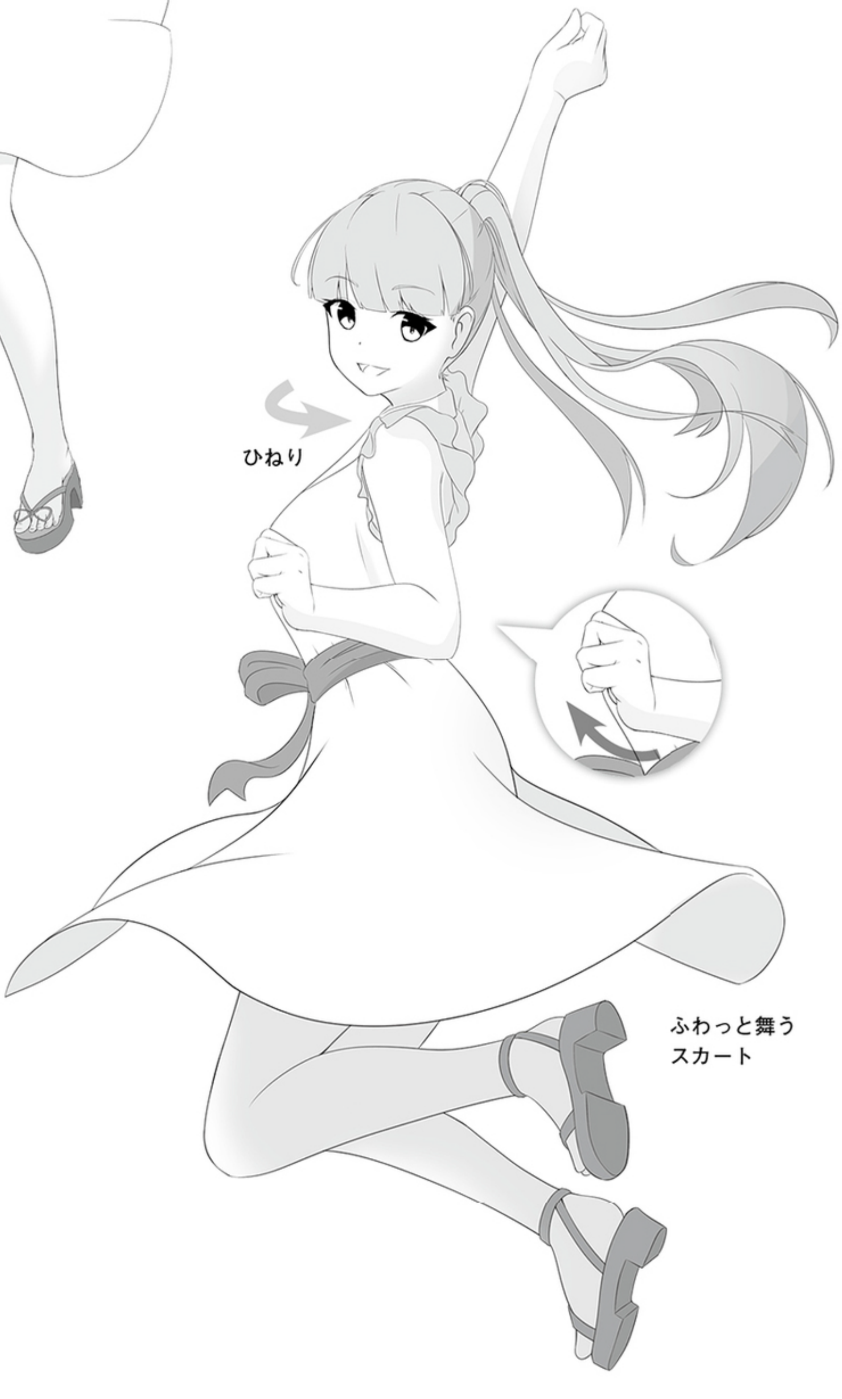
足を浮かせるポーズは明るく楽しげな印象を与える、かわいいアクションポーズです。体をまっすぐ一直線に描くのではなく、脚や腕を曲げてかわいさを演出します。

《転ぶ》



Cute Point
必死感が出やすい転ぶポーズでも、手首をかえす・内股気味にするなどの工夫でよりかわいく魅せます。

転ぶポーズはおっちょこちょい・お茶目な印象を与えます。体が倒れないように、つまずいた脚とは逆の右脚が前に出ようとします。



《振り向きジャンプ》

ジャンプに振り向きを組み合わせることでかわいさがアップします。はじけるような元気さが特徴のポーズです。

《アオリ気味ジャンプ》

ジャンプポーズをアオリ気味の構図で描くと、跳んだ瞬間の雰囲気・臨場感が出ます。

《前方へジャンプ》

前方へと跳んでいるため、上へ跳ぶのとは違い、前から風を受けて髪や衣服は後ろになびきます。

《両脚曲げジャンプ》

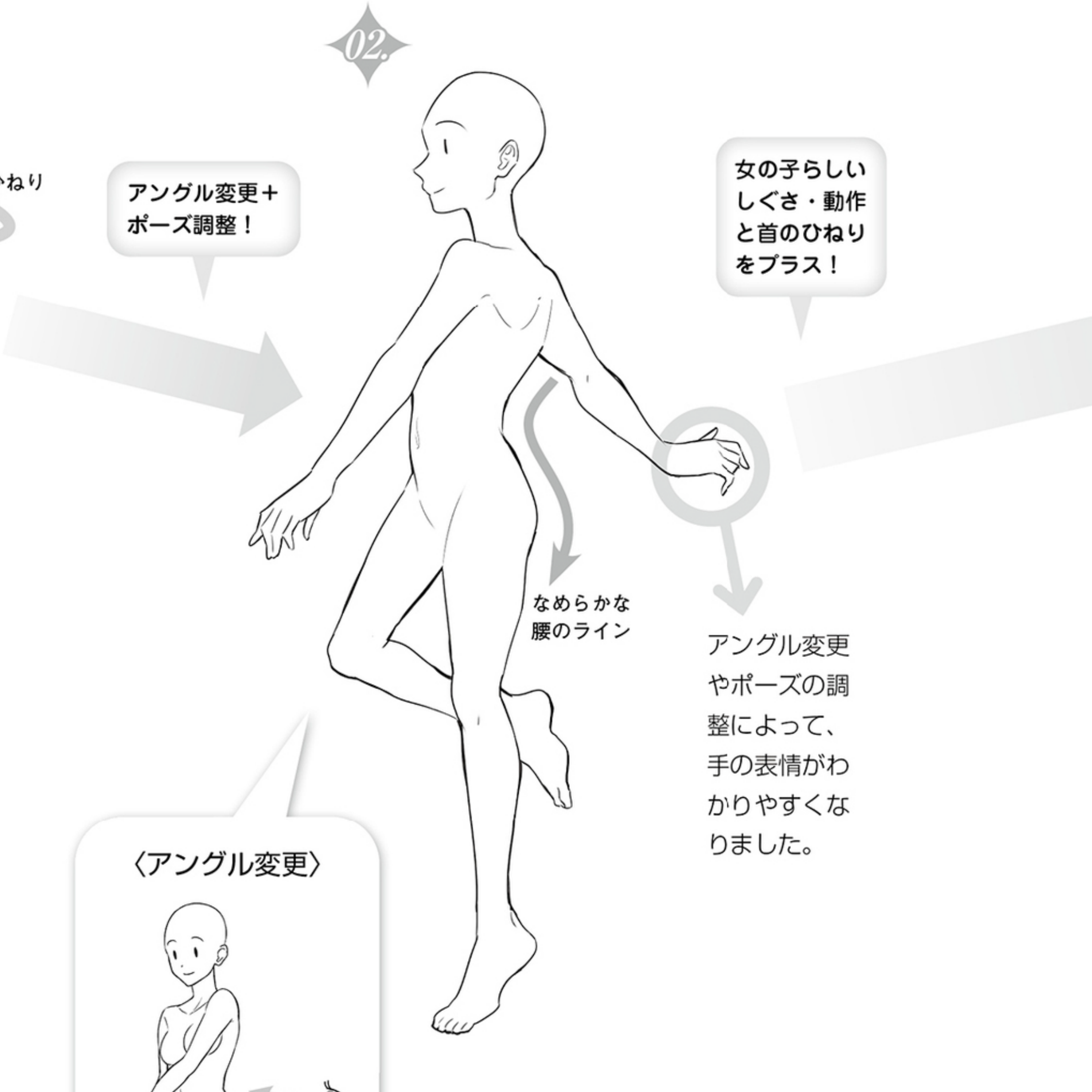
右腕を顔に寄せ、左腕は少し体から離し、左右非対称にするのがポイント。

両脚をかなり曲げてジャンプする作例です。それだけ力が入るため、エネルギッシュなポーズになります。

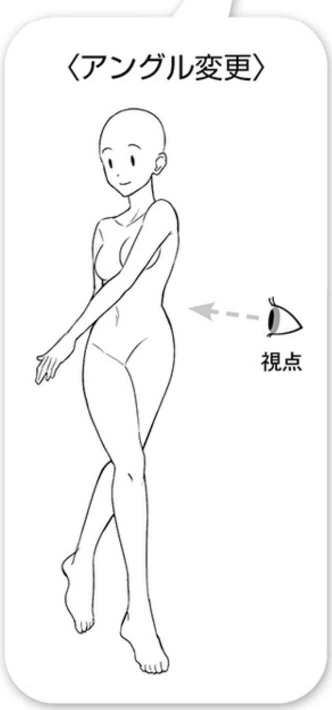
基本アクション❹ まわる（ターンする）

日常でよくあるポーズではありませんが、体がねじれてバランスを崩します。アンバランスで描きにくいポーズこそ、「絵」として成立するポーズです。そして、もうひと工夫を加えましょう。

ターンしようとする女の子のポーズを描きました。ひねりのあるポーズですが、アングルがよくないせいか、イマイチかわいらしさを感じられません。



アングル変更やポーズの調整によって、手の表情がわかりやすくなりました。



横からのアングルに変更し、右脚を曲げたり右腕を右後方へ伸ばしたりして 01. より脚や腰のラインが強調されるポーズに調整します。

左腕を上げてたことで見える、左手のひらのふくらみがポイントになります。

右脚をさらに曲げ、太ももとふくらはぎを密着させて、柔らかな脂肪を表現します。

02. のポーズをよりかわいくするために、左腕・右脚を少し上げ、首をひねります。こちらを振り向くポーズでかわいさを演出しました。

くるぶしの線を入れると、足首を華奢に見せることができます。

作例❽ 三原しらゆき

08 浮遊する／複数人のポーズ

描きにくいポーズに「いい絵」になる要素が隠されています。難しくて敬遠されがちなので、うまく描ければインパクトのある絵になります。そこに「かわいさ」を加えれば無敵です！

作例❽は、上空から地上へ落下している女の子のイラスト。はためく衣服やなびく髪、浮遊感がポイントとなります。

❖ 作例❽ メイキング——手前にある手から描く

01. 手と顔中心にアタリを描く

メインになる手と顔中心に、それに合わせて全身をイメージします。

02. 服のアタリづけ

下からの風をイメージして服のアタリをつけていきます。

03. 脚と右腕の角度を決める

バランスを見て、脚と右腕の角度を決めます。今回は右腕・右脚を曲げてみました。

04. ラフ全体の描き込み

浮遊感を意識して全体を描き込んでいきます。

05. ペン入れ

女の子の体の曲線を大切に、線を引きます。

奥側の手の人差し指・小指に表情をつけました。

手前に伸ばしている手は線を太くし、遠近感を演出します。

「絵になる」応用アクション❶ 落下する

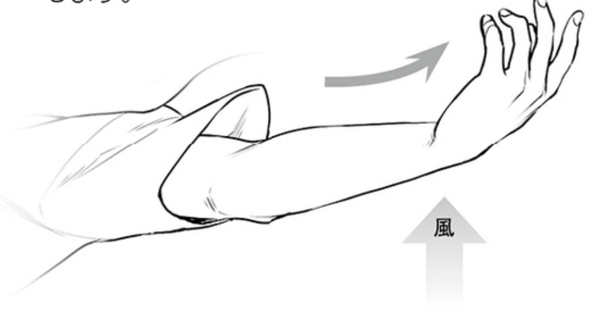
普段は見られないような角度になるため描くのは難しいですが、おもに２つのコツを押さえて、絵になるポーズにしましょう。

❖落下ポーズを描くコツ

《コツ❶ 手足の扱いに注意》

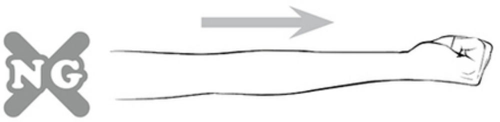
手足は投げ出し気味に描きます。あまり力を入れず、軽く曲げたり伸ばしたりする程度が理想です。また、手足はピシッとそろえると開放感・浮遊感が出ないため、ばらつかせることを意識します。

ピンとは伸ばさず、風を受けている感じを出します。



両脚を同じ方向には向けず、別々の方向に向けるのがGoodです。

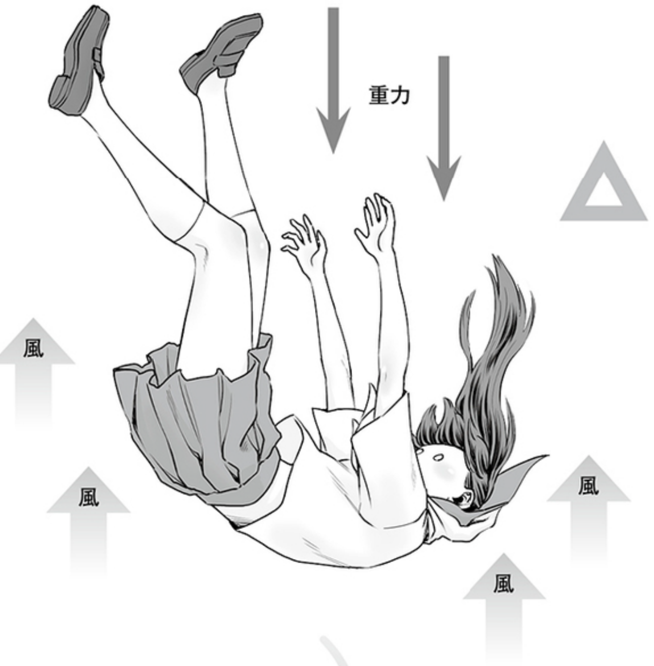
チェック！



まっすぐに伸ばしたりギュッと曲げたりそろえたりすると、開放感が出ません。

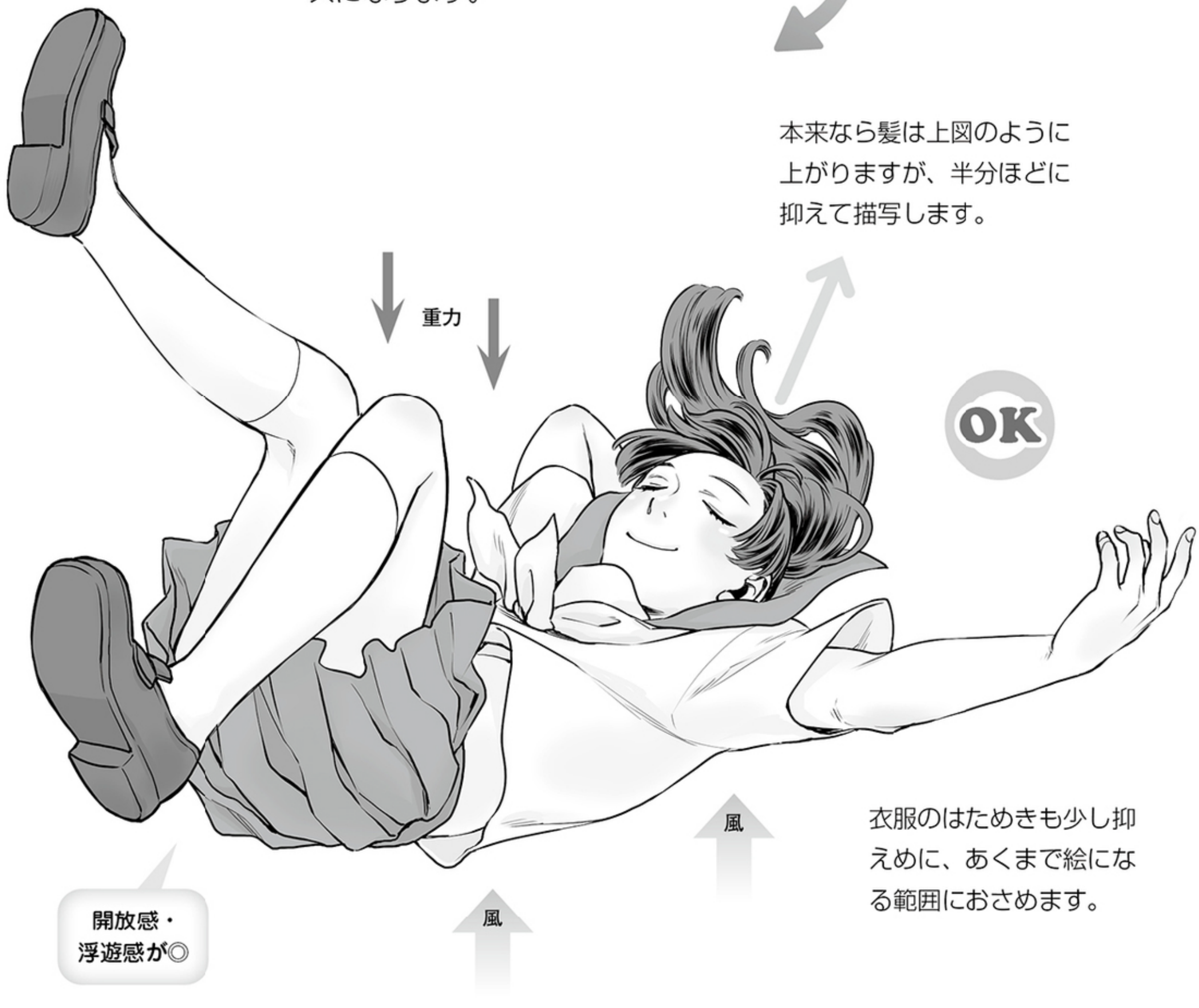
《コツ❷ 重力と風の表現》

重力に引っぱられて下へ落ちていきます。それに逆らうように、手足や髪は上がります。右図のように軽い手足は上へ投げ出され、髪はすべて上がりますが、これではリアリティーがありすぎて「かわいさ」はうまく表現できていません。



そこで、重力・風の表現を少し抑えてみました。適度に表現することで、優雅で絵になるポーズになります。

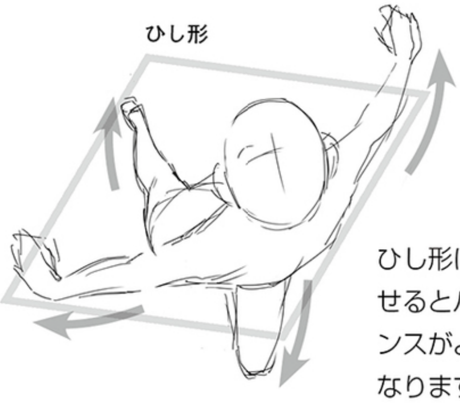
本来なら髪は上図のように上がりますが、半分ほどに抑えて描写します。



衣服のはためきも少し抑えめに、あくまで絵になる範囲におさめます。

お腹側から落下

01. 顔・両腕をメインにポーズを決める



ひし形に寄せるとバランスがよくなります。

一番手前にくる顔と、下から風を受けている両腕がメインに、バランスを見て下半身のポーズを決めます。

02. 開放感・風を表現

開放感を演出するため手の指を開き、髪・スカートをなびかせて風を表現します。

03. 細部のはためきを描き込み、清書・仕上げ

スカートだけでなく袖やえり、胸あてなどの細かい部分もはためかせました。手のひらを奥へ、脚を前後へ開脚させることで、こちらへ迫ってくるような演出をしています。

Cute Point

薬指だけを曲げ、中指の後ろに隠して表情をつけます。

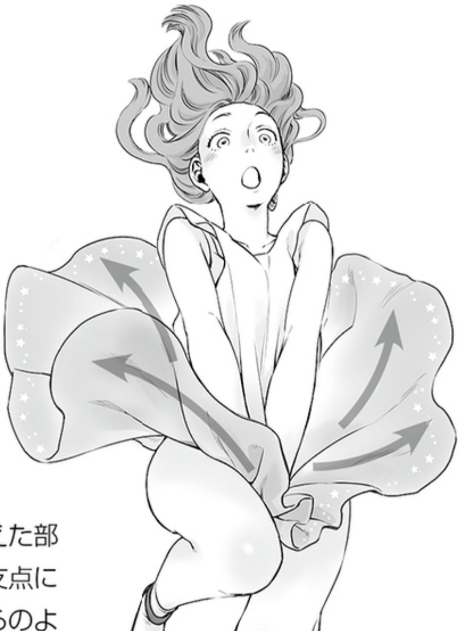
❖ 背中側から落下

背中側からの落下ポーズも、お腹側と同様にひし形に寄せてバランスをとります。

❖ 頭から落下

頭からただ垂直に落ちていくのではなく、手を伸ばしたり脚を奥へ投げ出したりするのがポイントです。

❖ 足から落下



押さえた部分を支点に花びらのように広がります。

スカートが完全にめくれ上がるので、押さえるしぐさで女の子らしさを加えました。

「絵になる」応用アクション❷ 後方宙返り的ポーズ

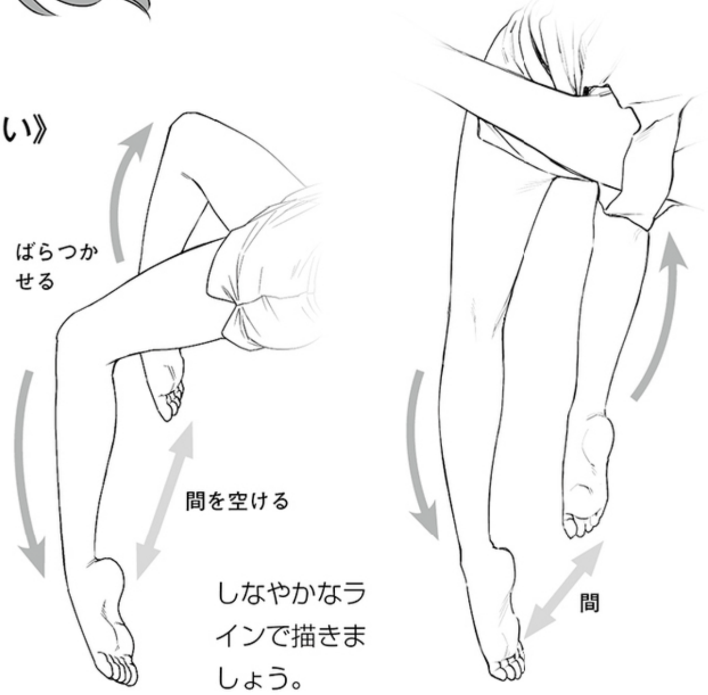
くるっと華麗に回転する浮遊感が、絵として魅力的なポーズです。無重力状態になってしまっても構わないので、現実的であることよりも絵としての魅力を優先しましょう。

《コツ❶ 体の反り》

頭の先から足先までが半円以上、正円未満になるくらい体を反らせます。この曲線が女の子の曲線美を引き立てます。

《コツ❷ 脚をくっつけない・そろえない》

脚の間は適度に空けます。また、脚をそろえずに少し上下してばらつかせると、ポーズに動きが出ます。



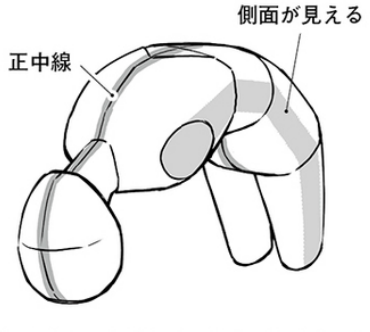
《コツ❸ 体の表裏を見せる》

体の片面しか見えない角度だと体の表裏（前面・背面）が見えず、このポーズの面白さを活かせません。また、片面しか見えない≒体の反りが足りません。表裏が見えるアングル・体の反り方を意識して描きましょう。

髪も背中と同じように円状になびかせると、体の流れを助長します。

表裏を見せることで立体感も出ます。

チェック！



体の前面と背面の境に注意します。人体は平面ではなく立体なので、側面が見えます。また、正中線を引いて確認するのもオススメです。

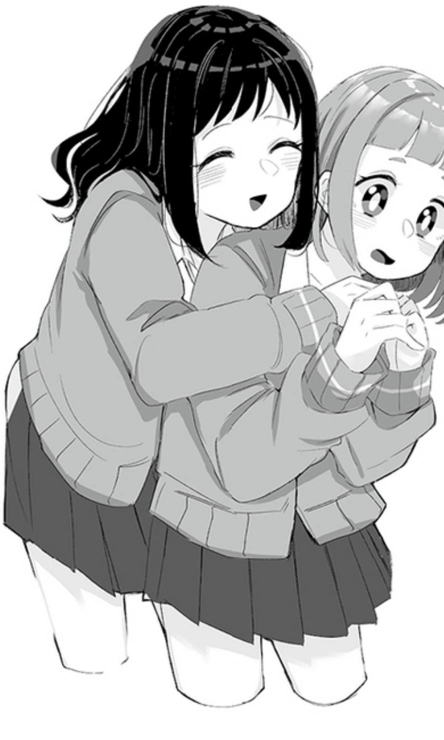
複数人のかわいさ満載アクション（絡みポーズ）

❖抱きつく

《正面から抱きつく》

勢いよく抱きついてくる女の子を、もう片方の女の子が全身で受け止める構図です。

相手の髪も一緒に抱きしめているため、腕の下から髪が出ます。



《背後から抱きつく》

覆いかぶさるように背後から腕をまわします。抱きつくポーズは基本的に腕で輪を作るイメージで描きましょう。

《横から抱きつく》

ある程度勢いをつけて抱きつかれるとバランスを崩してしまいます。抱きつかれるほうは重心を後ろへ移して、脚をふんばるように描くのがポイントです。

> **Cute Point** 抱きつかれる側の女の子の表情を工夫すると、女の子同士の関係性をうまく表現できます。

❖ おんぶ

相手に身を預ける、ほほえましいポーズです。背負われる女の子は体重をかけているため、のしかかる体勢になります。

《前から》

《横から》

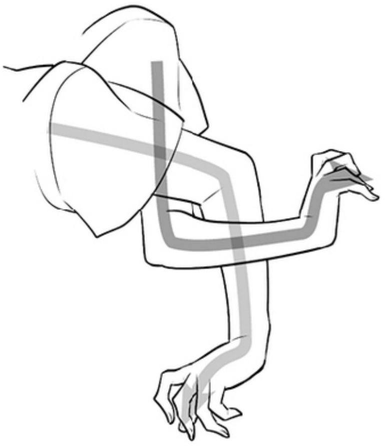
《後ろから》

おんぶされてだらんと垂れる足の無防備さ、お尻の丸みがポイントです。

❖ 背中合わせ

信頼できる相手に背中を預ける背中合わせポーズは、勢いをつける＋片方が体重をかけると、元気でかわいらしくなります。

背中に体重をかけられ、前屈姿勢になります。



腕を絡ませることでよりかわいいポーズになっています。ヒジ裏同士が組み合わさるように腕を描きましょう。

❖ ハイタッチ

腕を上げてお互いの手をタッチする姿は、喜ばしいシチュエーションにぴったりです。女の子の手同士がきちんとぶつかる高さで描くよう、気をつけましょう。

ハイタッチしないほうの腕をキュッと曲げ、かわいくするのも◎。

❖ ダンス

手を取り合ってステップを踏む女の子2人の作例です。肩や腰にまわした手の表情、見つめ合う目線、三つ編みがほどける様子を描いており、ロマンティックな雰囲気が出ています。

あえてボーイッシュな女の子とガーリーな女の子を組み合わせるのがGood！

Cute Point 140ページのコツ❶のように、現実にとりづらいポーズが動きを出しています。

イラストレーター紹介

岡谷（おかや）

@okaya_mrh

女の子を描くことが大好きなので、楽しく描かせていただきました！

あっちゅん

@attyuntyun915

細部までこだわり、自分の思う魅力的な女の子をとことん追究しました。少しバランスを変えただけでも印象が変わるので、改めてかわいく魅力的な女の子を描く難しさと楽しさを実感しました……！

うめ丸（まる）

@umemaru002

うめ丸と申します。女の子はしぐさの一つひとつがかわいらしいので、指の先足の先までかわいらしく描けたらいいなと思ってます。少しでもお役に立てましたら嬉しいです！

杉谷（すぎたに）エコ

@sge51

https://sugiecho.tumblr.com/

描きながらも勉強させていただきました。「自分の好きな女の子を描く」ためのお手伝いができていましたら幸いです。

くろ

@kuro_work

長いことゲーム会社でグラフィッカーをしていました、現在フリー。普段はＳＮＳなどで女の子の絵を描いています。モノクロは久しぶりなので緊張しました。

霜月汐（しもつきしお）

@monochrome_shio

https://www.pixiv.net/users/701425

かわいくなるように頑張って描きました！表情など改めて見つめ直す機会になりました！ とても楽しかったです。

スライム

@oTgjHkMpJpTIfVO

この度は、このような貴重な機会をいただき誠に感謝しております。私が描いた絵が、皆様の創作活動の手助けになれば幸いです。

きらら

@xkirara39x

可愛いは正義。

すずがえる＊

@suzugaeru_nin

女の子を楽しく描かせていただきました！
やっぱりかわいい女の子を描くのは楽しいです。少しでも参考になれば幸いです。

ななし

@7_4_nanashi

ポーズやしぐさ、装飾など、女の子のかわいらしい部分を考えるのが楽しかったです。少しでも参考になれば幸いです。

Hiroe（ひろえ）

@Ta_Bridge

この度はたくさんの女の子の絵を描かせていただきまして、誠にありがとうございました。とても勉強になり、楽しかったです。

三原（みはら）しらゆき

@kntm_sryk

女の子をたくさん描かせていただけて楽しかったです！ 少しでも皆さまの「よりかわいい」女の子を描くお役に立てると幸いです。ありがとうございました！

たく庵（あん）

@mo55ilst

今回はこのような書籍に関わらせていただくことが出来てとても嬉しいです。絵を始めて間もない人も見ているかと思いますので、是非この本でかわいい女の子を描く練習をしていただけたらと思います……！

長束（ながつか）モトヤ

@motoya401

いろいろなタイプの女の子を描かせていただけてとても楽しかったです！ 普段は制服ばかり描いているんですけど、さまざまな服を描かせていただけて、こういう服もいいなーと気づかせてもらえました!!

piyopoyo（ぴよぽよ）

@piyopoyo8

今回よりかわいい女の子の描き方という、かわいい女の子を描くための本に参加させていただけたことを光栄に思います。自分なりのかわいいを詰め込んだのでよろしくお願いいたします！

りんく

@__Rin9 / @vvRin9

普段、女の子をいかにかわいく魅せるかを常に意識して描いているので、今回まさにそれを主題とした本に寄稿させていただけたこと、心より嬉しく思います。参考になれば幸いです。

ユニバーサル・パブリシング株式会社

2008年、マンガ・デザイン制作会社、編集プロダクションとして設立。
代表取締役 長澤久。

http://www.u-publishing.com/

STAFF

企画・執筆・編集・デザイン
…………………………ユニバーサル・パブリシング株式会社

カバーイラスト………岡谷

本文・口絵イラスト…あっちゅん
うめ丸
岡谷
きらら
くろ
霜月汐
杉谷エコ
すずがえる＊
スライム
たく庵
長束モトヤ
ななし
piyopoyo
Hiroe
りんく
三原しらゆき
小野瑞香（ユニバーサル・パブリシング株式会社）
吉毛利綾乃（ユニバーサル・パブリシング株式会社）
宮崎七望（ユニバーサル・パブリシング株式会社）

COSMIC MOOK

よりかわいく描ける！女の子キャラデッサン

編著者　ユニバーサル・パブリシング株式会社

編集人　佐藤広野

発行人　杉原葉子

発行所　株式会社コスミック出版
〒154-0002
東京都世田谷区下馬6-15-4
代　表　TEL：03-5432-7081
営業部　TEL：03-5432-7084
FAX：03-5432-7088
編集部　TEL：03-5432-7086
FAX：03-5432-7090
振　替　00110-8-611382

http://www.cosmicpub.com/

©2020 Universal Publishing Co., Ltd., COSMIC PUBLISHING CO., LTD.
Printed in Japan.

定価はカバーに表示してあります。

本書の内容を、無断で転載・複製することは、著作権法上禁じられています。

ISBN978-4-7747-8879-1

9784774788791

雑誌63814-79